中能登町地域公共交通網形成計画

令和２年３月

中　能　登　町

目次

1. 地域の状況等 1

1－1. 地勢･地理 1

1－2. 社会状況･経済状況 2

（1） 世帯数・人口の推移 2

（2） 65 歳以上人口の推移 3

（3） 14 歳以下人口の推移 3

（4） 地域地区別人口 4

（5） 自家用車の保有台数 6

（6） 高齢者の免許返納 6

（7） 通勤通学時の利用交通手段 7

（8） 通勤通学先が中能登町による人口流入 8

（9） 中能登町から通勤通学による人口流出 9

（１０） 産業別就業者数 10

（１１） 工業別事業所数及び従業者、製造品出荷額等 11

（１２） 歴史・自然資源の分布 12

2. 上位計画の整理 13

2－1. 総合計画 13

（1） 計画の概要 13

（2） 中能登町の将来像 13

（3） 将来人口と産業規模 14

（4） 土地利用の基本方針 15

2－2. 中能登町まち･ひと･しごと創生総合戦略･人口ビジョン 17

（1） 計画の概要 17

（2） 目指すべき将来の方向 17

（3） 人口の将来展望 18

（4） 基本目標の達成に向けて取り組む横断的プロジェクト 19

2－3. 中能登町バリアフリーマスタープラン 20

（1） ビジョン 20

（2） 施策体系一覧 21

（3） バリアフリータウン実現に向けたバリアフリー「環境の構築」 22

3. 公共交通の状況等 23

3－1. 公共交通の整備状況 23

（1） 鉄道・バスの整備状況 23

（２）路線バス、コミュニティバスの運行本数 24
（３）路線バス、コミュニティバスの運行ルート 25
（４）施設分布 26
（５）鉄道・路線バスの運賃 27
（６）JR と路線バス、コミュニティバスの接続状況 30
（７）スクールバスの現況 34
（８）タクシー交通の現況 42
３－２. 公共交通の利用状況 43
（１）鉄道の 1 日平均利用者数 43
（２）路線バスの日別の利用者数 51
（３）路線バスのバス停別の利用者数 53
（４）コミュニティバスの年間の乗車人数の推移 55
（５）コミュニティバスの日別の利用者数（平成 30 年度利用者数より算出） 58
（６）コミュニティバスの便別の利用者数 60
（７）コミュニティバスのバス停別の利用者数 62
（８）コミュニティバスの乗継券の利用状況 64
（９）コミュニティバスとデマンドタクシーの収支状況 66
（１０）デマンドタクシー（瀬戸・花見月コース）の年間乗車人数 67
（１１）デマンドタクシー（上後山・下後山コース）の年間乗車人数 67
（１２）デマンドタクシー（瀬戸・花見月コース）の利用者数（平成 30 年 10 月分） 68
（１３）デマンドタクシー（上後山・下後山コース）の利用者数（平成 30 年 10 月分） 70
（１４）鹿西小学校のスクールバスの利用者数 72
（１５）鳥屋小学校と中能登中学校のスクールバスの乗車人数 74
（１６）鹿島小学校と中能登中学校の路線バスの乗車人数 81
（１７）鹿島小学校と中能登中学校のスクールバスの利用者数 86
３－３. GISによる現況分析 91
（１）バス停別 300m 勢圏人口 91
（２）バス停別の利用者数（平日） 92
（３）バス停別の利用率（平日） 93
（４）バス停別の利用者数（休日） 94
（５）バス停別の利用者率（休日） 95
３－４. 現況のまとめ 96
（１）社会状況・経済状況 96
（２）公共交通の利用状況 97
4. 中能登町公共交通に関するアンケート調査結果 100

４－１. アンケート概要 100
４－２. アンケート結果 110
（１）回答者の属性 110
（２）普段の移動 112
（３）公共交通の満足度 129
（４）再編に関する意向 143
（５）利用促進のための取組 146
（６）免許返納に対する考え 148
（７）自由記述 150
４－３. GIS によるアンケート分析 151
（１）JR に対する満足度（65 歳以上） 151
（２）路線バスに対する満足度（65 歳以上） 155
（３）おりひめバスに対する満足度（65 歳以上） 161
（４）再編に関する意向（公共交通利用者） 166
（参考）再編に関する意向（アンケート回答者全体） 170
４－４. アンケート結果とりまとめ 174
（１）全体の取りまとめ 174
（２）地区別の特徴 177
5. 地域公共交通の問題点・課題 178
6. 基本的な方針 179
６－１. 公共交通のあり方 179
６－２. 公共交通の手段別の役割 180
６－３. 公共交通が果たすべき役割 181
６－４. 計画の目標 182
６－５. 公共交通再編の基本的方向性 183
7. 目標達成のための施策・事業 184
方針1　地域住民の移動手段の確保 184
方針2　まちづくりと連携した公共交通網の構築 186
方針3　効果的かつ持続可能な交通手段の転換 187
方針4　地域とともに支える公共交通の推進 188
（別添）方針1. 取組施策⑥、及び⑦　とりやコースの徳田駅等JR駅への延伸の変更案 189
（１）変更案の概要 189
（２）変更案の詳細 190
（３）路線変更案 191
（４）各変更案における公共交通カバー人口、及びカバー率に与える影響 193
8. 計画の推進及び達成状況の評価 194

１．地域の状況等

１－１．地勢・地理

中能登町は、能登半島のほぼ中央に位置し、面積は 89.45k ㎡であり、北は七尾市、南は羽咋市、西は志賀町、東は富山県氷見市と接し、海岸線を持たない内陸都市である。

平成 17 年 3 月に、旧鹿島郡の鳥屋町、鹿島町、鹿西町が合併して誕生した。

地勢は、邑知地溝帯を中心に平野部が七尾市から羽咋市まで拡がり、東側が石動山、西側は眉丈山をそれぞれ中心とし、日本の原風景とも言える田園を取り巻く丘陵地の緑、潤いのある河川等の自然にも恵まれている。

中能登町には、4 世紀後半から 5 世紀初頭にかけて、小田中親王塚古墳や雨の宮古墳群といった大型古墳が築造されており、当時、能登の中心地であったことを物語っている。「能登」という地名の由来となったといわれる旧能登郡（七尾市を含む旧鹿島郡）には、古墳時代の豪族、「能登臣馬身龍」が拠点を置いていたと伝えられている。

道路は、羽咋市から七尾市を結ぶ国道 159 号が、邑知潟の東辺を通ることから「東往来」と呼ばれ、石動山系の山麓付近を通っている。古代より交通の要衝であり、能登街道および内浦街道を構成していた。藩政期には、加賀、能登、越中を結ぶ重要な道として利用され、沿線には二宮宿、高畠宿の２つの宿駅が発展し、主要な集落は旧街道沿いに細長く分布している。

一方、邑知潟の西辺を通る主要地方道七尾羽咋線は「西往来」と呼ばれ、「東往来」とほぼ並行に、眉丈山系の山麓付近を通っている。こちらも古来より、交通の主要なルートとして利用されており、主要な集落は旧街道沿いに細長く分布している。

鉄道は、「東往来」と「西往来」の間を通り、羽咋方面と七尾方面を結んでいる。町内には、金丸駅、能登部駅、良川駅、能登二宮駅の 4 駅があり、良川駅には往復 1 便ずつ特急列車が停車する。

１－２．社会状況・経済状況

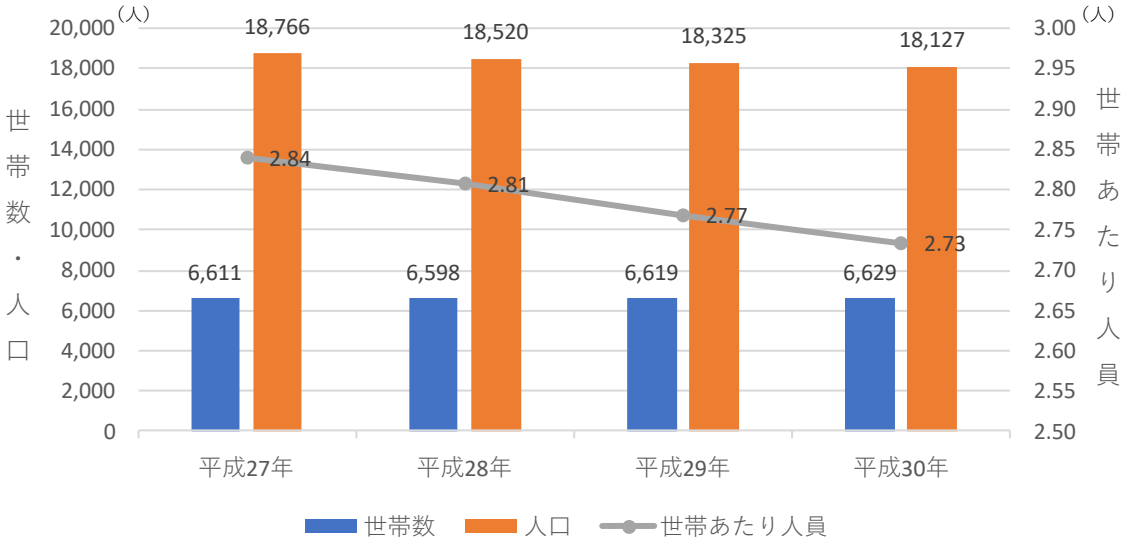
（１）世帯数・人口の推移

世帯数について着目すると、大きな変化は見られず、ほぼ横ばいで推移している。

人口について着目すると、平成 27 年から減少を続け、平成 30 年は 18, 127 人となっている。

世帯あたり人員数について着目すると、平成 27 年から減少を続け、平成 30 年は 2. 73 人となっている。

図表 1　世帯数・人口（各年 10 月 1 日現在）

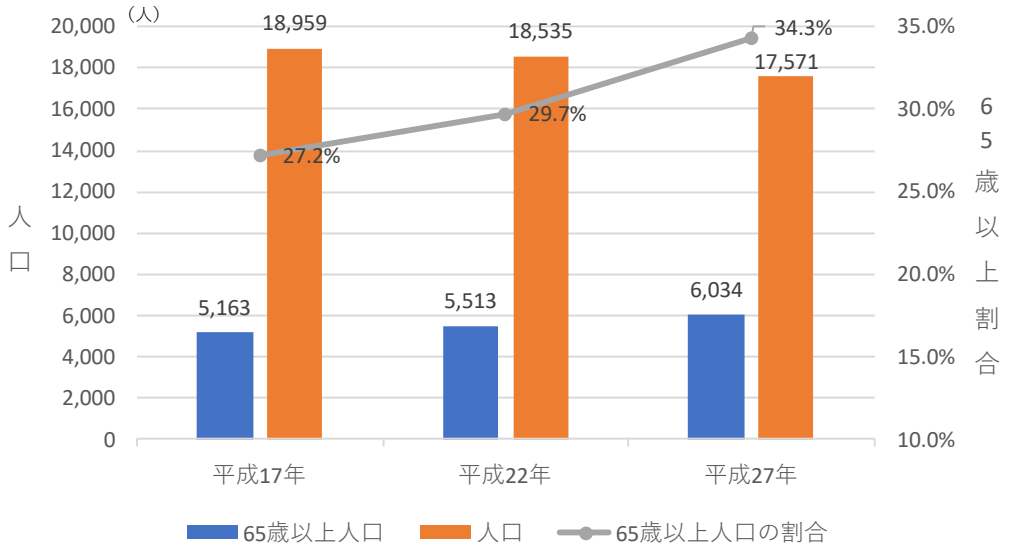


出典:中能登町住民福祉課

（２）65 歳以上人口の推移

65 歳以上人口について着目すると、平成 17 年の 5,163 人に対して平成 27 年では 6,034 人に増加している。65 歳以上人口の割合について着目すると、平成 17 年の 27.2%に対して平成 27 年では 34.3%に増加している。

図表 2　65 歳以上人口（各年 10 月 1 日現在）

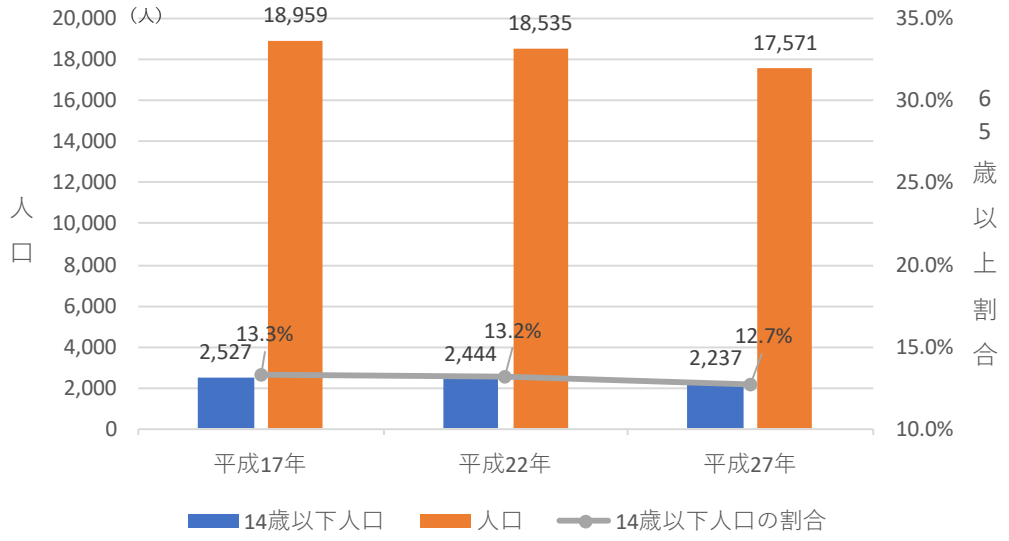


出典：中能登町統計書

（３）14 歳以下人口の推移

14 歳以下人口について着目すると、平成 17 年の 2,527 人に対して平成 27 年では 2,237 人に減少している。14 歳以下人口の割合について着目すると、平成 17 年の 13.3%に対して平成 27 年では 12.7%に減少している。

図表 3　14 歳以下人口（各年 10 月 1 日現在）



出典：中能登町統計書

（４）地域地区別人口

鳥屋地区の世帯数・人口に着目すると、平成 27 年は 5,540 人、平成 30 年は 5,435 人となっており、105 人の減少となっている。

鹿島地区の世帯数・人口に着目すると、平成 27 年は 8,507 人、平成 30 年は 8,222 人となっており、285 人の減少となっている。

鹿西地区の世帯数・人口に着目すると、平成 27 年は 4,719 人、平成 30 年は 4,470 人となっており、249 人の減少となっている。

増減数について着目すると、鳥屋地区では、「良川」、「一青」、「今羽坂」が増加している。鹿島地区では、「徳前」、「東馬場」、「尾崎」、「福田」が増加している。鹿西地区では、増加している地区がなかった。

増減率について着目すると、鳥屋地区では、「春木」で減少率が高くなっている。鹿島地区では、「坪川」、「二宮あおば台」、「最勝講」、「小田中」で減少率が高くなっている。鹿西地区では、「上後山」で減少率が高くなっている。

図表 4　世帯数・人口（各年 10 月 1 日現在）

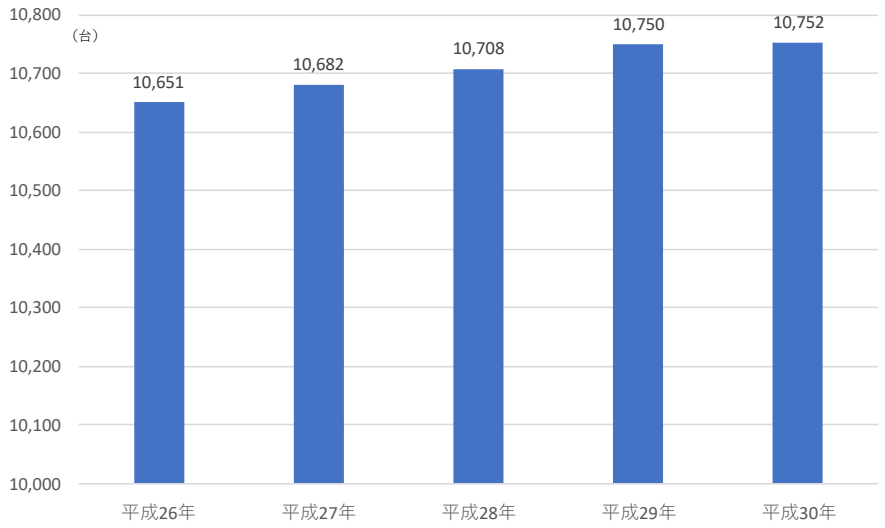
地区		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	増減数	増減率
鳥屋地区	良川	1,710	1,760	1,786	1,757	47	2.7%
	黒氏	611	607	608	608	-3	-0.5%
	一青	390	381	376	403	13	3.2%
	末坂	521	518	509	501	-20	-4.0%
	羽坂	310	310	306	307	-3	-1.0%
	今羽坂	21	21	23	23	2	8.7%
	新庄	315	321	305	302	-13	-4.3%
	廿九日	215	207	212	207	-8	-3.9%
	川田	255	249	243	240	-15	-6.3%
	大槻	204	198	200	192	-12	-6.3%
	春木	643	650	633	574	-69	-12.0%
	瀬戸	226	215	217	208	-18	-8.7%
	花見月	119	118	115	113	-6	-5.3%
	小計	**5,540**	**5,555**	**5,533**	**5,435**	**-105**	**-1.9%**
鹿島地区	在江	253	252	246	236	-17	-7.2%
	西	49	50	46	45	-4	-8.9%
	坪川	174	168	160	157	-17	-10.8%
	久乃木	327	322	311	319	-8	-2.5%
	武部	484	470	460	464	-20	-4.3%
	二宮	995	961	945	934	-61	-6.5%
	徳前	895	901	930	955	60	6.3%
	芹川	480	478	468	460	-20	-4.3%
	石動山	3	3	3	3	0	0.0%
	原山	14	14	14	14	0	0.0%
	浅井	11	10	8	10	-1	-10.0%
	二宮あおば台	465	449	421	414	-51	-12.3%
	井田	972	950	936	950	-22	-2.3%
	最勝講	113	106	102	99	-14	-14.1%
	東馬場	459	462	462	466	7	1.5%
	尾崎	94	94	95	95	1	1.1%
	小竹	399	397	392	384	-15	-3.9%
	水白	244	241	240	234	-10	-4.3%
	久江	499	491	490	487	-12	-2.5%
	小田中	326	306	299	287	-39	-13.6%
	藤井	227	229	229	225	-2	-0.9%
	福田	113	113	114	115	2	1.7%
	高畠	478	473	470	471	-7	-1.5%
	小金森	146	144	140	137	-9	-6.6%
	曽祢	287	280	268	261	-26	-10.0%
	小計	**8507**	**8364**	**8249**	**8222**	**-285**	**-3.5%**
鹿西地区	金丸	1,096	1,068	1,043	1017	-79	-7.8%
	能登部下	1,541	1,502	1,482	1,470	-71	-4.8%
	徳丸	282	277	274	273	-9	-3.3%
	能登部上	1,072	1,042	1,032	1,009	-63	-6.2%
	西馬場	609	597	602	596	-13	-2.2%
	上後山	89	85	80	75	-14	-18.7%
	下後山	30	30	30	30	0	0.0%
	小計	**4,719**	**4,601**	**4,543**	**4,470**	**-249**	**-5.6%**
	合計	**18,766**	**18,520**	**18,325**	**18,127**	**-639**	**-3.5%**

※増減数は、(平成 30 年の人数)―(平成 27 年の人数)の値を表記している。
※増減率は、(増減数)／(平成 30 年の人数)＊100 の値を表記している。

（５）自家用車の保有台数

自家用車の保有台数について着目すると、平成 26 年から毎年増加し、平成 30 年は 10, 752 台となっている。

図表 5　自家用車保有台数　（各年 3 月 31 日現在）



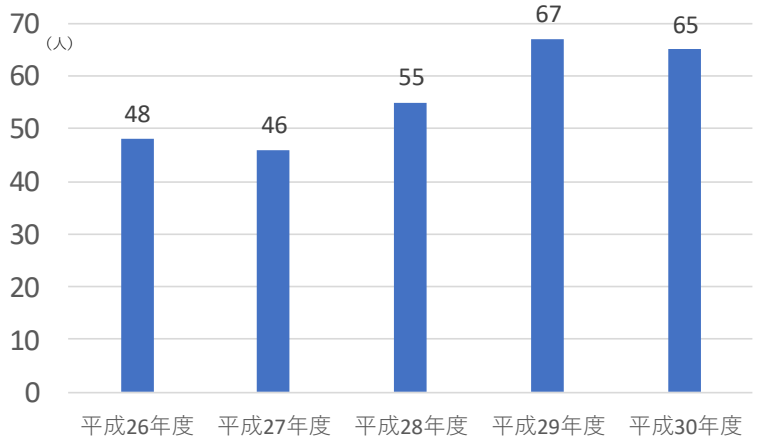
出典:中能登町町政概要

（６）高齢者の免許返納

高齢者の免許返納の割合について着目すると、平成 27 年度から平成 29 年度まで毎年 10 人程度免許返納者数が増加していたが、平成 30 年の免許返納者数は 65 人となり、前年度とほぼ同水準であった。

（※支援策は、中能登町商品券 12, 000 円分（中能登町商業振興協同組合発行）、コミュニティバス回数券 55 回分）

図表 6　高齢者の免許返納　（各年 3 月 31 日現在）



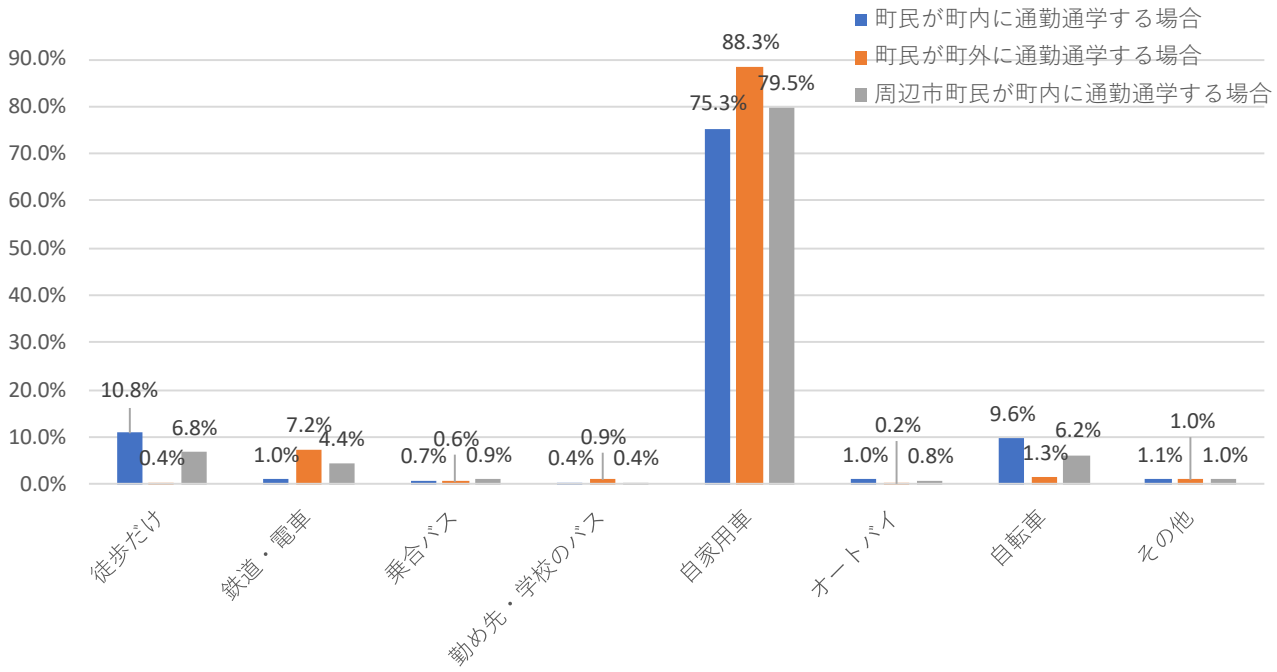
（７）通勤通学時の利用交通手段

町民が町内に通勤通学する場合について着目すると、「自家用車」が 75.3%と最も高く、次いで「徒歩だけ」が 10.8%となっている。

町民が町外に通勤通学する場合について着目すると、「自家用車」が 88.3%と最も高く、次いで、「鉄道・電車」が 7.2%となっている。

周辺市町村民が町内に通学通勤する場合について着目すると、「自家用車」が 79.5%と最も高く、次いで、「徒歩だけ」が 6.8%となっている。

図表 7　通勤通学時の利用交通手段

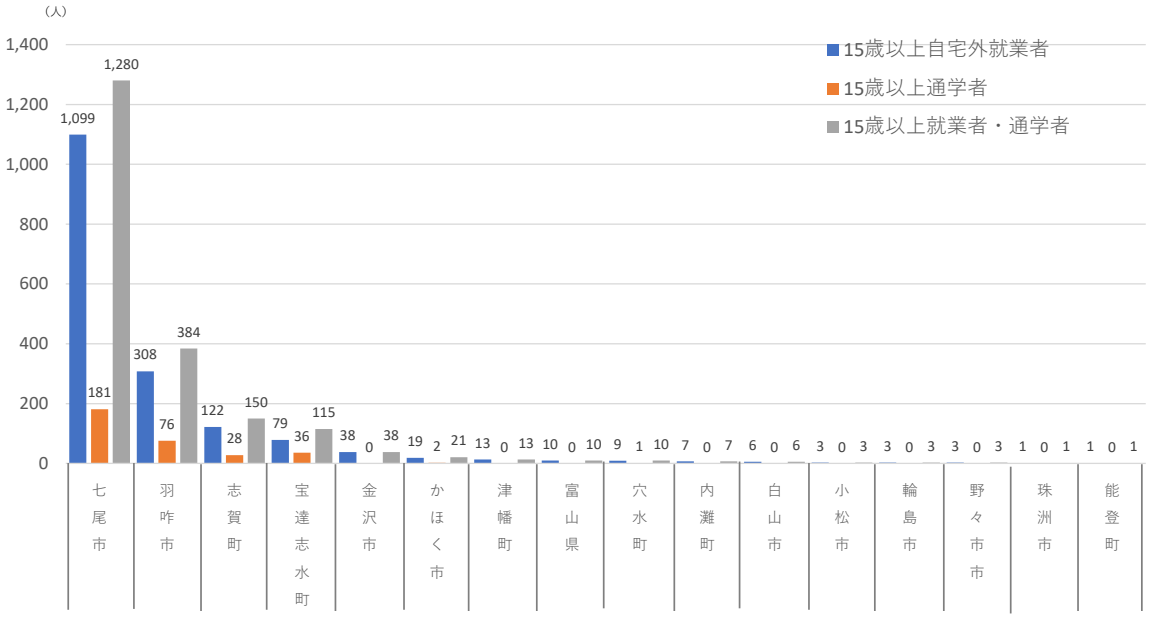


出典：国勢調査（平成 22 年度調査）

（８）通勤通学先が中能登町による人口流入

15 歳以上就業者・通学者について着目すると、七尾市、羽咋市、志賀町の順に多く、15 歳以上自宅外就業者、15 歳以上通学者のいずれについても七尾市、羽咋市、志賀町の順に多い。

図表 8　通勤通学先が中能登町による人口流入

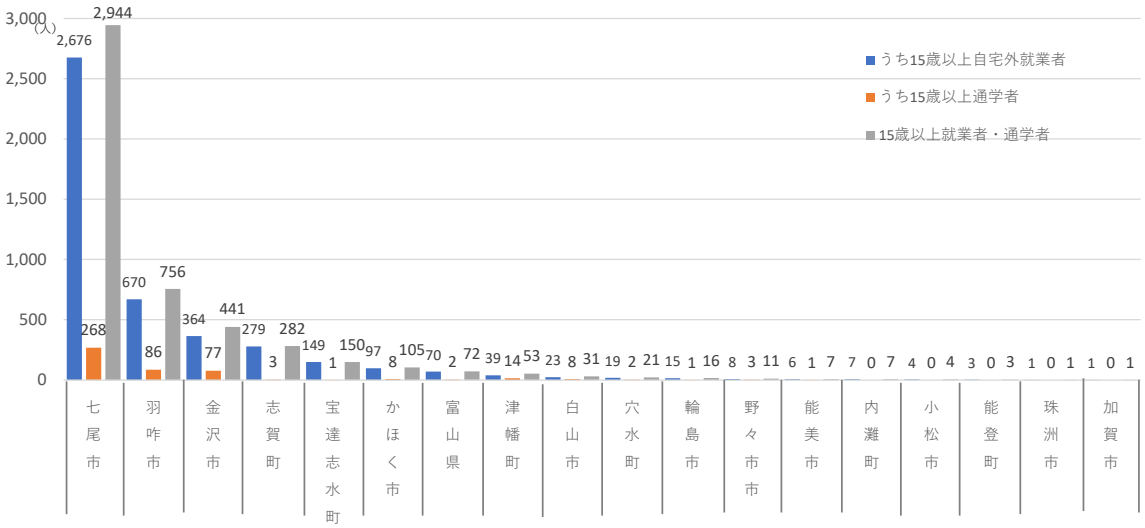


出典:平成 27 年国勢調査

（９）中能登町から通勤通学による人口流出

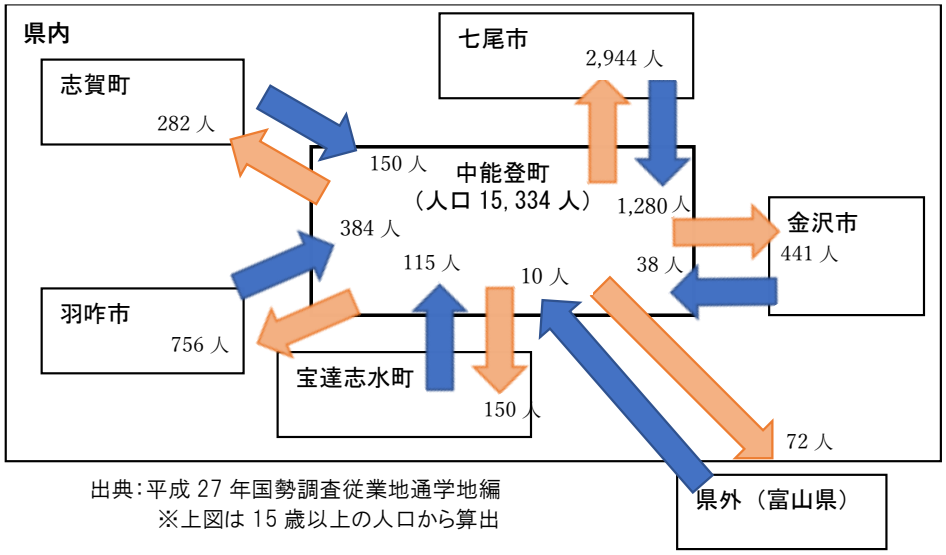
15 歳以上就業者・通学者について着目すると、七尾市、羽咋市、金沢市の順に多く、15 歳以上自宅外就業者、15 歳以上通学者のいずれについても七尾市、羽咋市、金沢市の順に多い。

図表 9　中能登町から通勤通学による人口流出



出典:平成 27 年国勢調査

図表 10　中能登町における従業通学地の人口集計

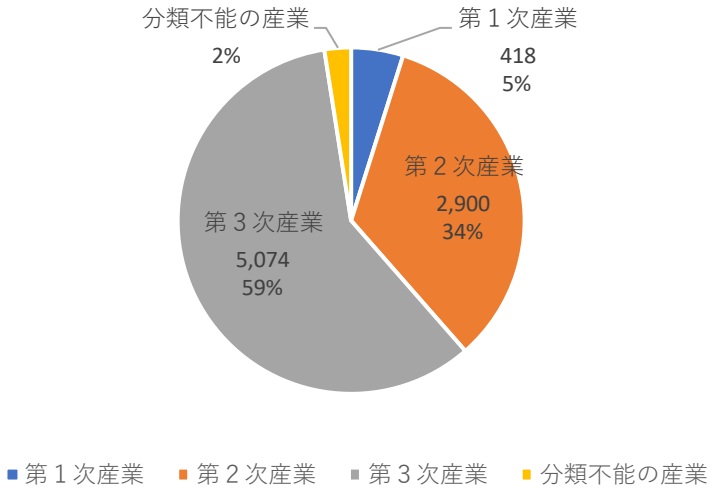


出典:平成 27 年国勢調査従業地通学地編
※上図は 15 歳以上の人口から算出

（１０）産業別就業者数

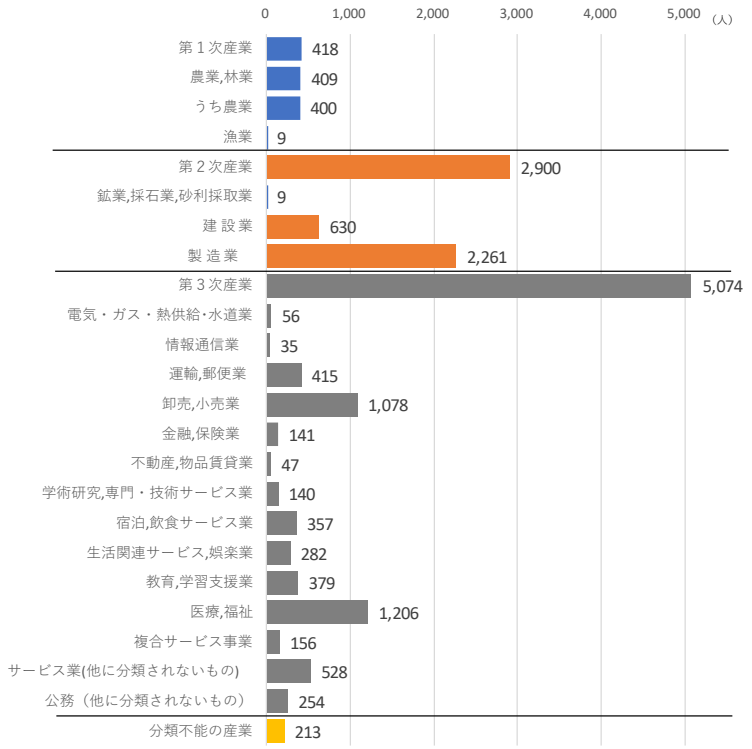
産業別就業者数について着目すると、第１次産業は 418 人(5%)、第２次産業は 2,900 人(34%)、第３次産業は 5,074 人（59%）である。第２次産業について着目すると、繊維産業を含む製造業が 2,261 人（26.3%）、第３次産業について着目すると、医療・福祉が 1,206 人（14.0%）、卸売・小売業が 1,078 人（12.5%）、サービス業（他に分類されないもの）は 528 人（6.1%）である。

図表 11　産業別就業者数割合



出典:平成 27 年国勢調査

図表 12　産業別就業者数割合

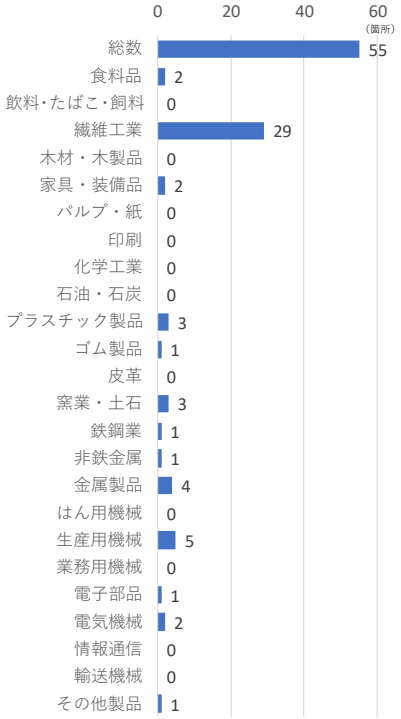


出典:平成 27 年国勢調査

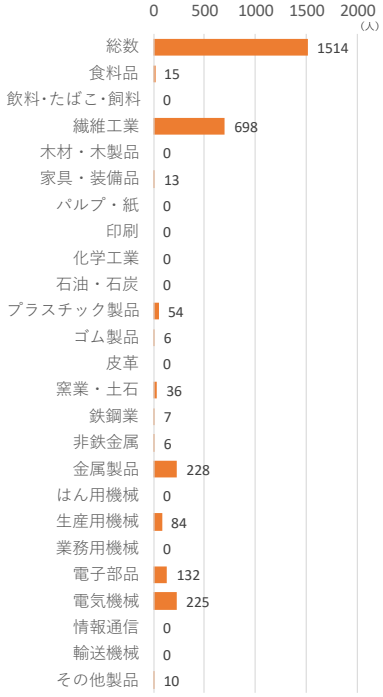
（１１）工業別事業所数及び従業者、製造品出荷額等

工業別事業所数について着目すると、事業所総数 55 箇所のうち繊維産業が 29 箇所である。工業別従業者数について着目すると、従業者数総数 1,514 人のうち繊維産業が 698 人である。工業別製造品出荷額について着目すると、総数 3,239 千万円のうち 1,549 千万円である。

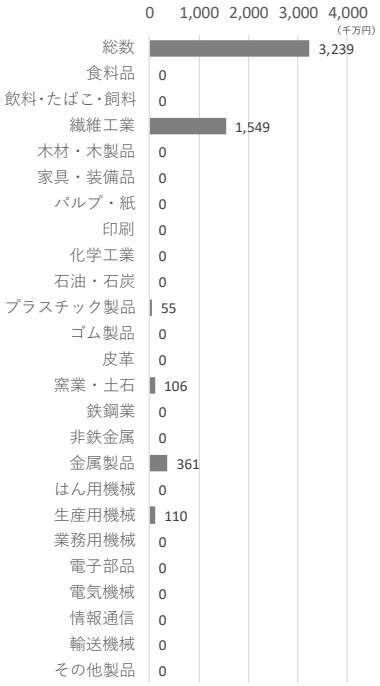
図表 13　事業所数



図表 14　従業者数



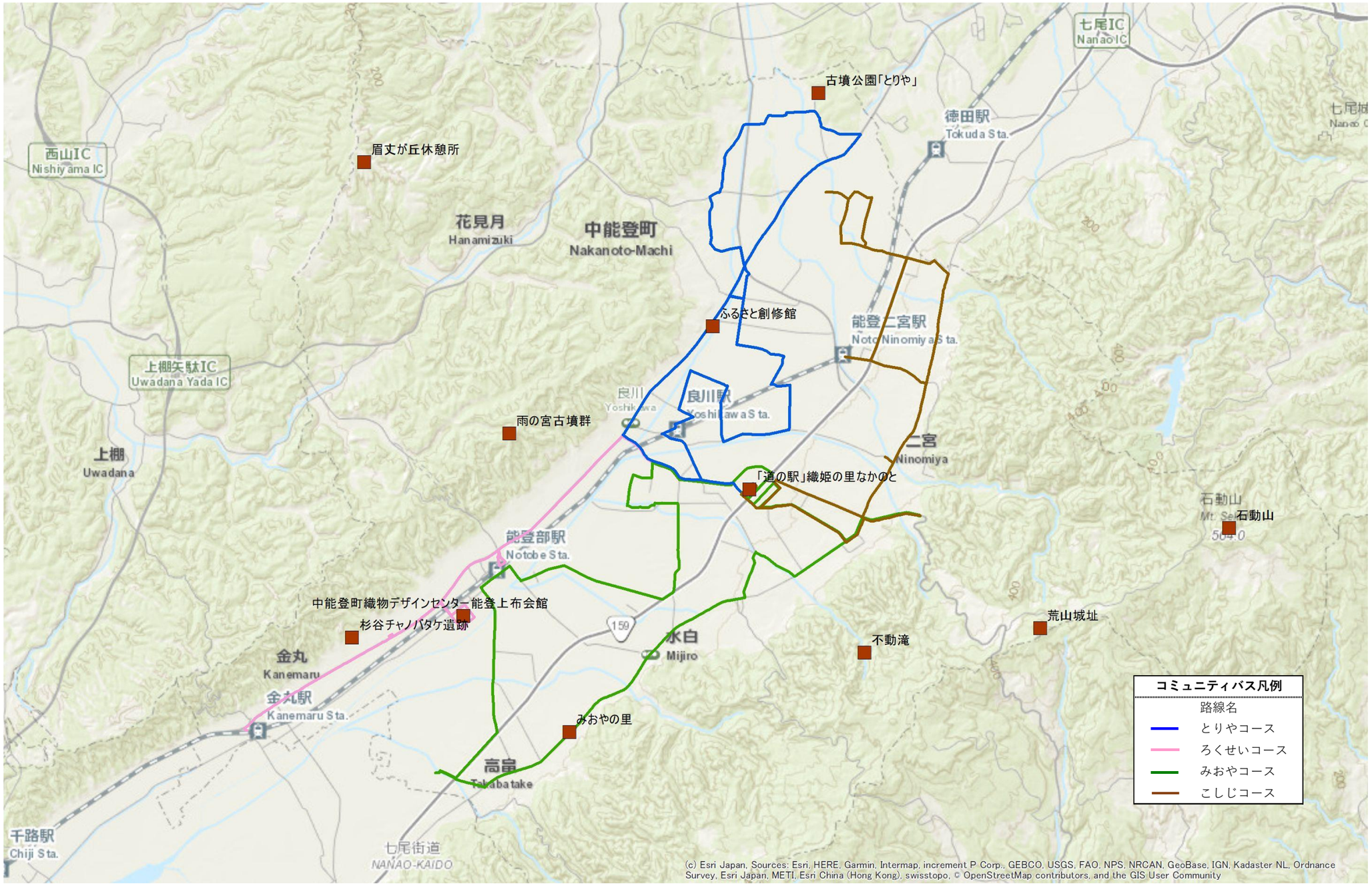
図表 15　製造品出荷額



出典:平成 27 年国勢調査

（１２）歴史・自然資源の分布

図表 16　歴史・自然資源の分布



２．上位計画の整理

２－1．総合計画

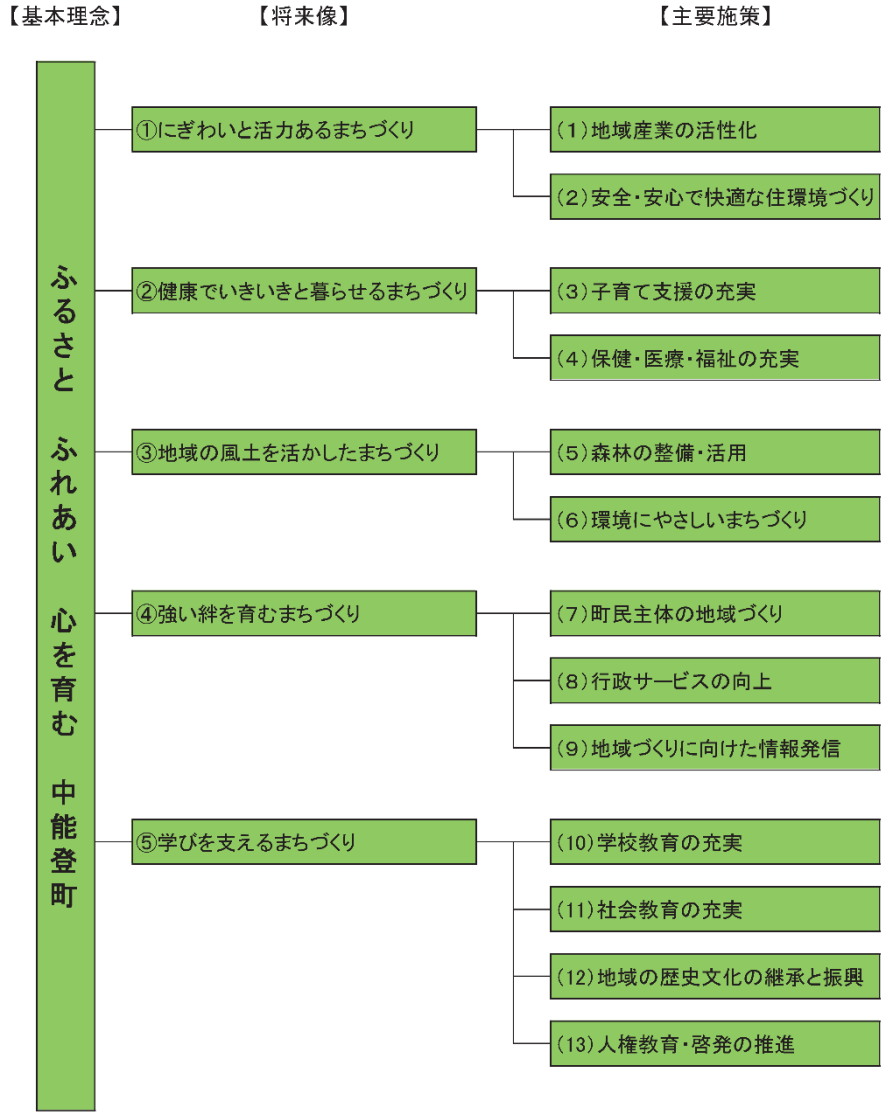
（１）計画の概要

中能登町総合計画の期間は平成 28 年度からの 10 か年であり、平成 37 年度を目標年次としている。基本構想、基本計画、実施計画の 3 部門で構成され、基本構想では、21 世紀の中能登町の将来像およびこれらを実現するために必要なまちづくりの基本的な施策の方向性が制定されている。

（２）中能登町の将来像

まちづくりの基本理念は「ふるさと　ふれあい　心を育む　中能登町」を基本理念として町民が安心して、健やかで生きがいを感じ楽しく暮らせる地域環境づくり、夢と希望を持って安心して働ける就業の場づくりを将来目標としている。

図表 17　中能登町の将来像



（３）将来人口と産業規模

平成 27 年の国勢調査によると、人口は 17,571 人で、減少傾向を続けている。

将来人口推計（国立社会保障・人口問題研究所（通称社人研）による推計）は、このまま推移すれば、令和 7 年には 16,355 人まで減少し、その後も人口減少は続くものと推測されている。

平成 28 年 3 月に策定された「中能登町人口ビジョン」では、「中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業を積極的に強化･実施することにより、人口流出に歯止めをかけ、現状の人口規模を維持しながら、令和 7 年の人口を 16,983 人と想定している。

少子高齢化が進む中、老年人口も令和 2 年に減少に転じると予想されているが、老年人口割合は増加の一途となり、令和 7 年には 35.9%に達するとされている。

（年齢別人口）

（単位：人、%）

区分		H12	H17	H22	H27	H32	H37
総人口		19,149	18,959	18,535	17,571	17,558	16,983
	年少人口（0～14歳）	2,707 (14.1)	2,527 (13.3)	2,444 (13.2)	2,237 (12.7)	2,287 (13.0)	2,294 (13.5)
	生産年齢人口（15～64歳）	11,779 (61.5)	11269 (59.4)	10,578 (57.1)	9,293 (52.9)	9,008 (51.3)	8,594 (50.6)
	老年人口（65歳以上）	4,663 (24.4)	5,163 (27.2)	5,513 (29.7)	6,034 (34.3)	6,263 (35.7)	6,095 (35.9)
	不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)

（出典：平成 27 年国勢調査）

H32、H37は平成28年3月に策定した「中能登町人口ビジョン」で算出した見込み数値を採用しています。

産業別就業人口については、第 1 次産業や繊維産業を中心とした第 2 次産業は構造改革の変化に伴い、今後とも減少するものと予想され、第 3 次産業については就業機会の拡大に伴って増加するものと考えられている。これらを踏まえ、平成 37 年の就業人口は 7,458 人程度とされている。

（産業別就業者数）

（単位：人、%）

区分		H12	H17	H22	H27	H32	H37
就業者数		10,148	9,658	9,065	8,541	7,999	7,458
	第1次産業（構成比）	587 (5.8)	653 (6.8)	436 (4.8)	430 (5.0)	359 (4.5)	285 (3.8)
	第2次産業（構成比）	4,414 (43.5)	3,773 (39.1)	3,189 (35.2)	2,705 (31.7)	2,111 (26.4)	1,494 (20.0)
	第3次産業（構成比）	5,147 (50.7)	5,218 (54.0)	5,119 (56.5)	5,406 (63.3)	5,529 (69.1)	5,679 (76.1)
	不　明（構成比）	0 (0.0)	14 (0.1)	321 (3.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

（出典：平成 22 年国勢調査）

H27、H32、H37は産業大分類別就業者数の近似値式の将来予測を採用しています。

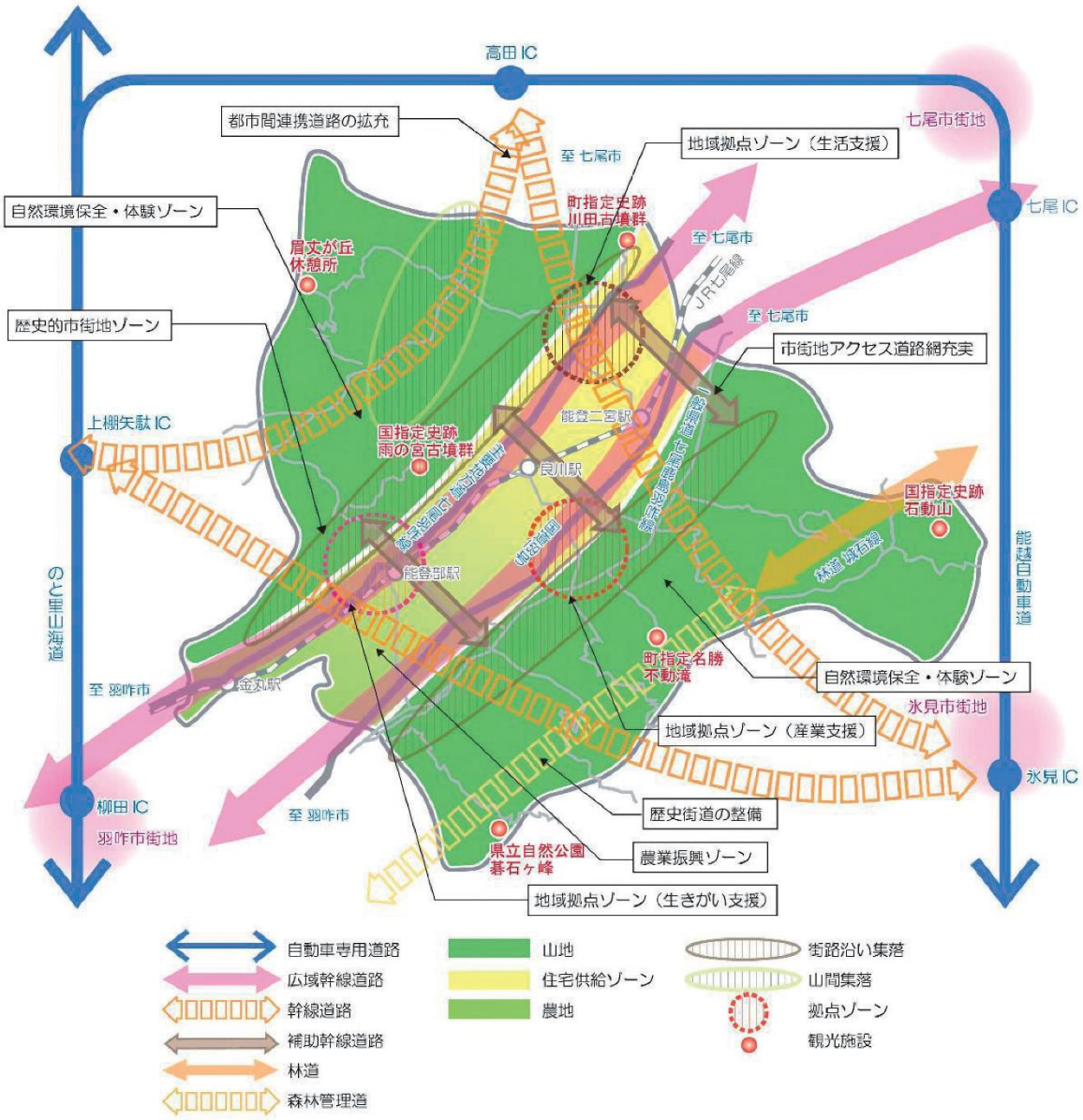
（４）土地利用の基本方針

中能登町の土地利用は、都市計画区域の指定は行われておらず、山間地の林野と平坦地の水田を中心とする耕作地にほぼ挟まれた集落群で構成されている。

今後の土地利用にあたっては、豊かさと暮らしやすさを実感できる生活基盤、農林業・商工業等の生産基盤やレクリエーション、森林浴等新たな機能に配慮し、安らぎのある豊かな自然環境を保全しつつ、機能的に土地利用の促進を図るとされている。

１．地域拠点ゾーン・・・産業支援、生活支援、生きがい支援など

周辺地の利用特性や本町の区域との位置関係から既存庁舎機能、駅周辺機能を併せて適切な拠点機能配分を行う。また、住民・来訪者が多く集まることから、ユニバーサルデザインに配慮する。



２．歴史的市街地ゾーン・・・景観保全、文化体験など

旧国道、里山、町道沿いの旧宿駅市街、町内の街並み景観については、伝統的建造様式、神社･仏閣等歴史的景観として保全するとともに、その歴史的景観が多く残されている地区については、伝統的街並み保全地域に指定して行く。

３．住宅供給ゾーン・・・SOHO 移住、エコロジータウン、子育て支援など

人口の減少に対し、世帯が増加している原因としては、親世帯と分離した子世帯の地域内移住といった世帯分離が大きく関係していると考えられる。

転出抑制、環境重視型移住需要への対応等に配慮した公営住宅及び新住宅団地を供給して行く。

４．産業振興ゾーン・・・農業基盤整備、農業教育など

農業振興ゾーンは、集落地域を取り囲むように広がっている田畑の大部分であり、その中で農用地は転用や開発行為が制限されている。長年培われてきた営農や集落活動によって維持されてきた多様な生態系及び良好な景観を伴う農村環境、農村古来の伝統文化などは中能登町の貴重な資源であり、これらの資源を次世代に継承し、安全･安心な生活環境を今後とも確保しながら、さらにより良い土地利用や地域活動を進めていくための意識づくり・体制づくりを推進して行く。

５．自然環境保全・体験ゾーン・・・アドベンチャーゲーム、環境教育、森林育成など

本町の東側には、能登半島国定公園内石動山や県立自然公園内の碁石ヶ峰、西側には、眉丈山等本地域は東西両翼に緑豊かな山地を抱え、森林の持つ景観や公益的機能の強化に取り組む。

２－２．中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略・人口ビジョン

（１）計画の概要

中能登町まち・ひと・しごと創生総合戦略・人口ビジョンの計画期間は、平成 27 年度を初年度とする平成 31 年度までの 5 か年である。

まちづくりのコンセプトは「地域の産業を活性化し、老若男女を問わずすべての町民がいきいきと暮らし活躍できるまち」の形成であり、4 つの基本目標と横断的プロジェクトから構成されている。

（２）目指すべき将来の方向

中能登町では、国の総合戦略と同じ視点に立ち、町民が安心して、健やかで生きがいを感じ楽しく暮らせる地域環境をつくり、夢と希望を持って安心して働ける雇用の場づくりを目指し、４つの基本的な方向を目標としている。

①中能登町における安定した雇用を創出する（しごとづくり）
繊維産業や農業を活性化し、外貨を稼ぐ力を高めることによって、基盤産業の雇用を維持・拡大するとともに、飲食や小売、サービス業などの創業を誘発しやすいまちを目指す。

②中能登町への新しいひとの流れを作る（ひとづくり）
新たに創出される雇用の場へひとを呼び込むため、ＵＩＪターンしやすい環境を整え情報発信していくとともに、鹿西高校の魅力向上やファッションのまちづくりによる地元進学、地元就職の推進と転入促進を実現するまちを目指す。

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる（子育て環境づくり）
若い世代のために、質の高い魅力的な雇用の場を確保し、ワークライフバランスや仕事と家庭の両立しやすい環境を整えるとともに、若い世代が求める結婚や出産、子育てを支える施策を官民一体で取り組めるまちを目指す。

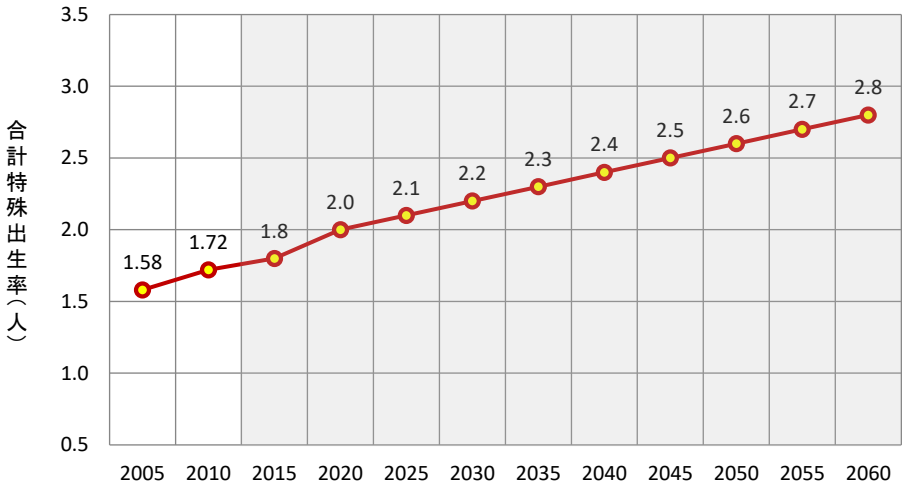
④時代にあった地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
（地域づくり）
中能登町の住みやすい風土や地域文化、コミュニティを育んできた町並みや古民家を後世に受け継いでいくとともに、繊維産業の現場や資料館、名所旧跡を組み合わせた新たな観光交流の仕組みづくりを行い、高齢者や身体障がい者も訪れてみたくなるまちを目指す。

（３）人口の将来展望

近年は、転出が転入を上回る転出超過に陥っているが、しごとづくりやひとづくりの施策を進めることで、移動ゼロ（転入と転出が均衡）を目標としている。

また、合計特殊出生率は 1.72 と全国平均を上回り、石川県内でも最も高くなっている。

今後は、しごとづくりやひとづくりの施策とともに、子育て環境づくりの充実を図り、合計特殊出生率日本一を目指し、2060 年に 2.80 を達成することを目標としている。

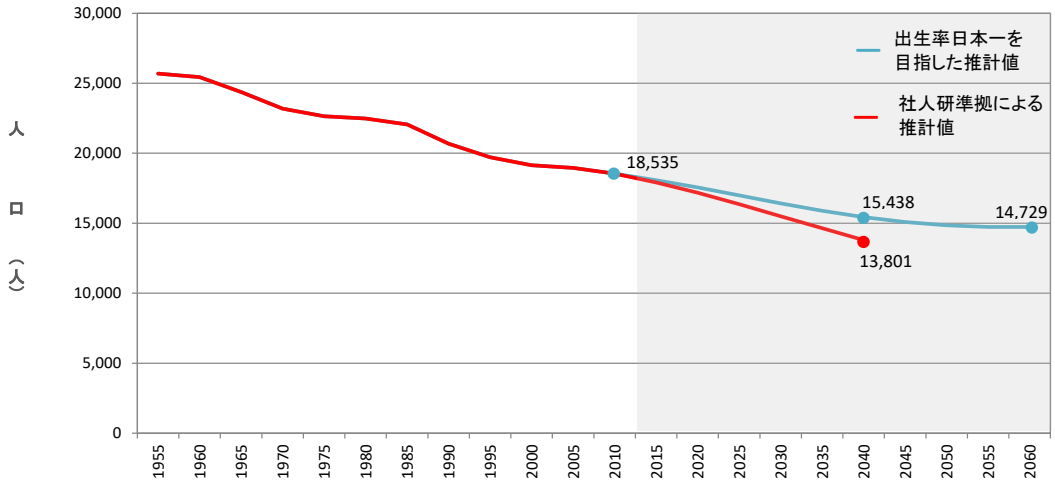


（参考）中能登町等の合計特殊出生率の推移

区分	1985 年	1990 年	1995 年	2000 年	2005 年	2010 年
中能登町	1.89	1.76	1.67	1.61	1.58	1.72
石川県平均	1.79	1.60	1.46	1.45	1.35	1.44
全国平均	1.76	1.54	1.42	1.36	1.26	1.39

※合計特殊出生率とは、一人の女性が一生の間に産むであろう子供の数を表し、15 歳～49 歳の女性の年齢ごとの出生率を合計した数字。「特殊」とは、総人口あたりの出生率を「普通」出生率と呼ぶのに対してそう呼ぶ。なお、中能登町の 2000 年までの値は、旧 3 町の平均値。

今後は、中能登町の人口は減少を続け、2040 年には 15,438 人となるが、徐々に減少率が低下し、出生率日本一を達成する 2060 年に横ばいとなると推計されている。



注）1955～2010 年の人口は国勢調査より作成

（４）基本目標の達成に向けて取り組む横断的プロジェクト

基本的目標の達成に向け、ファッションのまちづくり施策と観光交流のまちづくり施策を重点事業に挙げている。

①ファッションのまちづくり施策　「繊維でみんなが動き出せるサイクルを作る事業」

ａ．デザイン資源の有効活用及び魅力商品の開発支援事業

・町内 3 箇所に分けて保存しているデザインサンプル約 10 万点を 1 箇所に集約するとともにデータベース化し、資源として活用し、国内外に販売できるよう整備する。　など

ｂ．人材確保、育成推進事業

・インターンシップ受け入れ等で地元企業の理解を深めるとともに社会人のあり方等、“働く”ことの理解促進を図る。　など

ｃ．情報発信推進事業

・子どもや障がい者等をモデルにしたファッションショーの開催支援を行い、広く全国にファッションのまちを発信する。　など

②観光交流のまちづくり施策　「人にやさしい観光交流のまちづくり事業」

ａ．観光サイン整備計画の策定事業

・自動車や歩行者（障がい者、外国人含む）が町内施設を周遊しやすいよう、観光サインのデザイン統一、設置を行う。　など

ｂ．バリアフリー化対策事業

・高齢者や障がい者の方のバリアとなっている施設の調査を行い、バリアを周知するとともに取り除く対策を実施する。

・観光ツアーや体験ツアーを企画・開発・催行できる実施体制を整備する。　など

ｃ．中能登町地域資源等情報発信事業

・観光地、観光施設をはじめ、飲食物販などの施設や観光交流資源、工場見学できる企業、行政施設などの地域資源のデータベース化する。　など

ｄ．イベント開催事業

・繊維企業の工場、歴史遺産や旧所・名跡、交流施設を結ぶなど体験交流型ツアーを造成する。　など

ｅ．特産品開発事業

・どぶろく特区の活用や地域の食材を使用した料理、特産品を開発し、外国人旅行者にも喜ばれる新たな食の開発支援を行い誘客に繋げる。　など

２－３．中能登町バリアフリーマスタープラン

（１）ビジョン

本プランが目指す姿

意識を変えれば、ヒトが変わる。

ヒトが変われば、マチが変わる。

心のバリアフリータウン中能登町

中能登町が目指す「心のバリアフリー」とは、
障がい者や高齢者、妊婦、子ども、外国人など
様々な心身の特性や考え方を持つ人々が互いを理解すること、
互いに何がどのような障がいになっているのかを知ること、
さらにその障がいを解消しようと思い行動することです。

そして、そのような人々の支えにより、
誰もが積極的に社会参加できるまちが、
「心のバリアフリータウン」です。

（２）施策体系一覧

テーマ	方　針	施策例
テーマ 1 糸（人）を糸（人）で支える 「人づくり」	Policy 1 意識の醸成	意識化へのアプローチ イメージを向上させるためのアプローチ
	Policy 2 サポーターの育成	サポート活動の支援 サポートハンドブックの作成
テーマ 2 多様な糸を織り合わせる フラットな 「場づくり」	Policy 3 バリアフリーな交流拠点づくり	交流拠点施設のバリアフリー対応強化 中能登町らしい交流拠点づくり
	Policy 4 環境の構築	町内の施設・交通における一体的なバリアフリー環境整備
テーマ 3 異素材を組み合わせるから強くなる 「ものづくり」	Policy 5 バリアを取り除くものづくり	繊維技術を生かした商品開発 町内企業に対するユニバーサルデザイン講習
	Policy 6 ハンデを生かしたものづくり	スキルの発見と向上 町内企業との連携
テーマ 4 わかる・広がる・見える 日常使いの 「情報発信」	Policy 7 情報コンテンツの醸成	イメージを向上させる情報コンテンツの醸成 その他町内のバリアフリー情報の整理
	Policy 8 情報発信方法の整備	窓口の設置 ICT を活用した情報発信

（３）バリアフリータウン実現に向けたバリアフリー「環境の構築」

Policy 4. 環境の構築

公共サイン、駐車場、道路、公園、公共交通機関等、町全体でのバリアフリー環境の構築を促進します。

具体的な事業

町内の施設・交通における一体的なバリアフリー環境整備
障がい者や高齢者等が利用しやすく、また、利用したくなるような施設整備を行います。

- 公共等サイン計画の策定、多言語化
- 幼児用遊具の設置
- バリアフリーバスの走行
- 駅や公園のバリアフリー化　他

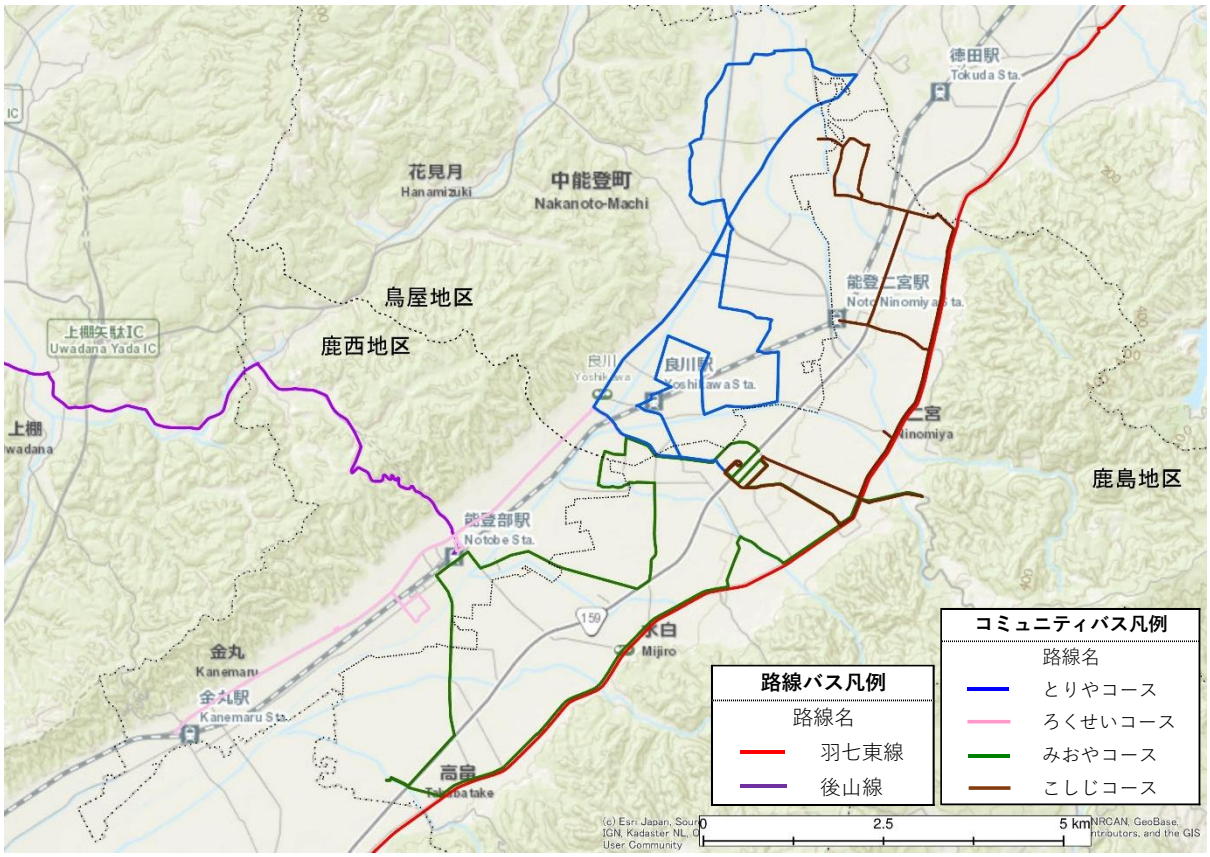
３．公共交通の状況等

３－1．公共交通の整備状況

（１）鉄道・バスの整備状況

中能登町を運行する鉄道として、金沢や三大都市圏からの広域交通を担う JR 七尾線（和倉温泉駅～金沢駅）があり、金丸駅、能登部駅、良川駅、能登二宮駅が町内に設置されている。路線バスは七尾市から羽咋方面を運行する羽七東、中能登町と志賀町を結ぶ後山線が運行されている。コミュニティバスは、道の駅織姫の里なかのと（以下「道の駅」と表記）を中心としてとりやコース、ろくせいコース、みおやコース、こしじコースの４つの路線が運行している。さらに瀬戸・花見月地区、及び上後山・下後山地区にはデマンドタクシーが運行しており、当該地区の町民がまちなかに移動する際の足となっている。

図表 18　鉄道・バスの整備状況



図表 19　駅間距離

中能登町				七尾市	
金丸駅	能登部駅	良川駅	能登二宮駅	徳田駅	七尾駅
3.6ｋｍ	2.8ｋｍ	2.2ｋｍ	2.8ｋｍ	5.5ｋｍ	

（２）路線バス、コミュニティバスの運行本数

・路線バスについては、羽七東線が 23 便と最も多く運行されている。

・町営のコミュニティバスは全コースともに各 5 便ずつ、道の駅を起終点とし、ろくせいコースを除いてループ状のコースを運行しており、毎週木曜日と年末年始を除いて毎日運行している。

・バス車両は 2 台であり、２コースずつを担当している（とりやコースとろくせいコース、みおやコースとこしじコース）。各コースは 1 時間で周回しており、同じコースは 2 時間ヘッドで運行している。

・デマンドタクシーについては、利用前日までに予約があった場合のみ運行する。

・コミュニティバス、デマンドタクシーは 1 乗車 100 円で、他コースへの乗り換えは無料

図表 20　路線バス、コミュニティバスの運行本数

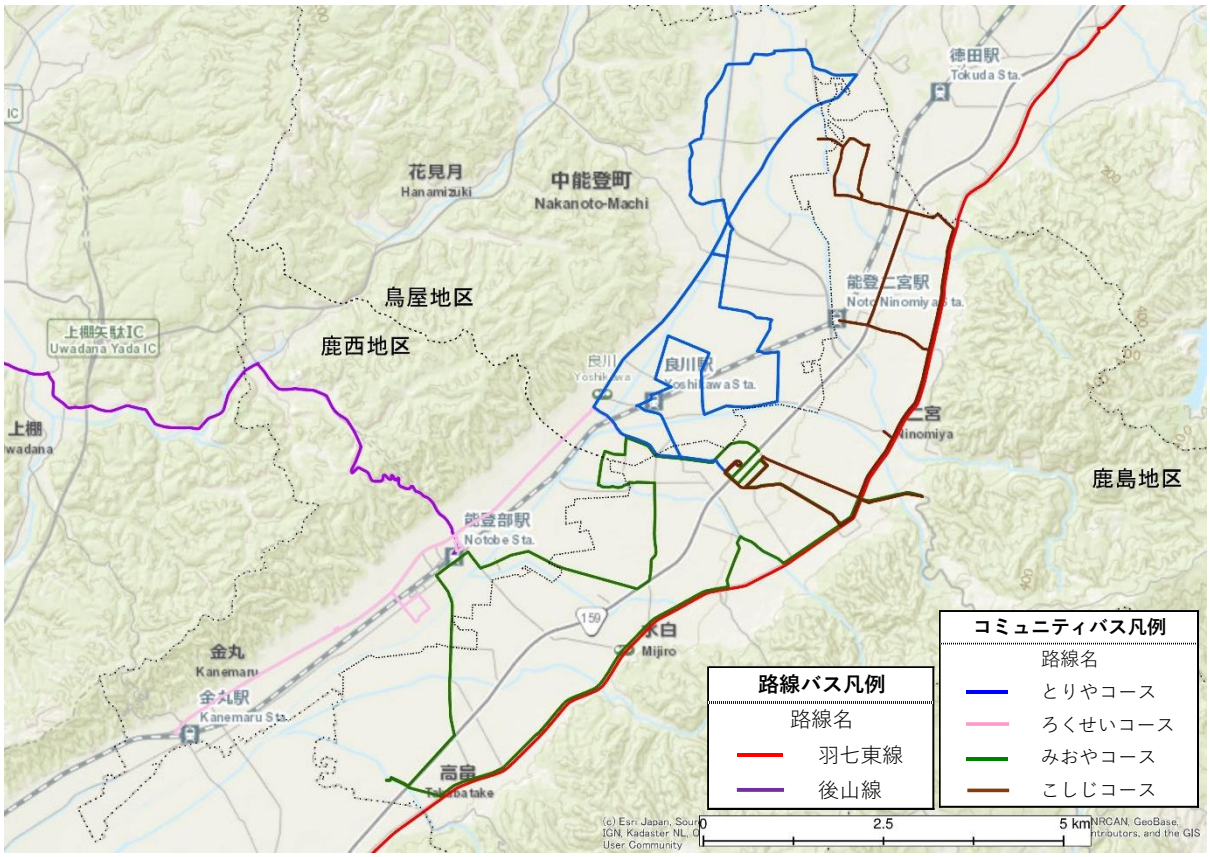
運行事業者	運行形態	路線名	起点	終点	運行本数	
北鉄能登バス（株）	路線バス	羽七東線	七尾中学校	羽咋駅前	4	計23
			七尾駅前	羽咋駅前	5	
			七尾駅前	小金森	1	
			羽咋駅前	七尾中学校	2	
			羽咋駅前	能登病院	2	
			小金森	鹿島小学校	1	
			羽咋駅前	七尾駅前	8	
		後山線	高浜	能登部駅	4	計8
			能登部駅	志賀中学校	1	
			能登部駅	高浜	3	
中能登町	コミュニティバス	とりやコース	道の駅織姫の里なかのと	道の駅織姫の里なかのと	5	
		ろくせいコース			5	
		みおやコース			5	
		こしじコース			5	
	デマンドタクシー	瀬戸・花見月コース	利用者宅	良川駅	5	計10
			良川駅	利用者宅	5	
		上後山・下後山コース	利用者宅	能登部駅	5	計10
			能登部駅	利用者宅	5	

（３）路線バス、コミュニティバスの運行ルート

・路線バスの羽七東線は七尾・羽咋間を運行しており、コミュニティバスのみおやコースとこしじコースでルートの重複がある。一方、後山線は能登部駅から志賀町に向かうため、コミュニティバスとの重複はない。

・コミュニティバスは、道の駅を起終点として 4 つのコースで運行しているため、道の駅付近はコミュニティバス間のルートの重複が発生するが、それ以外のエリアではルートの重複なく町内を運行している。

図表 21　路線バス、コミュニティバスの運行ルート

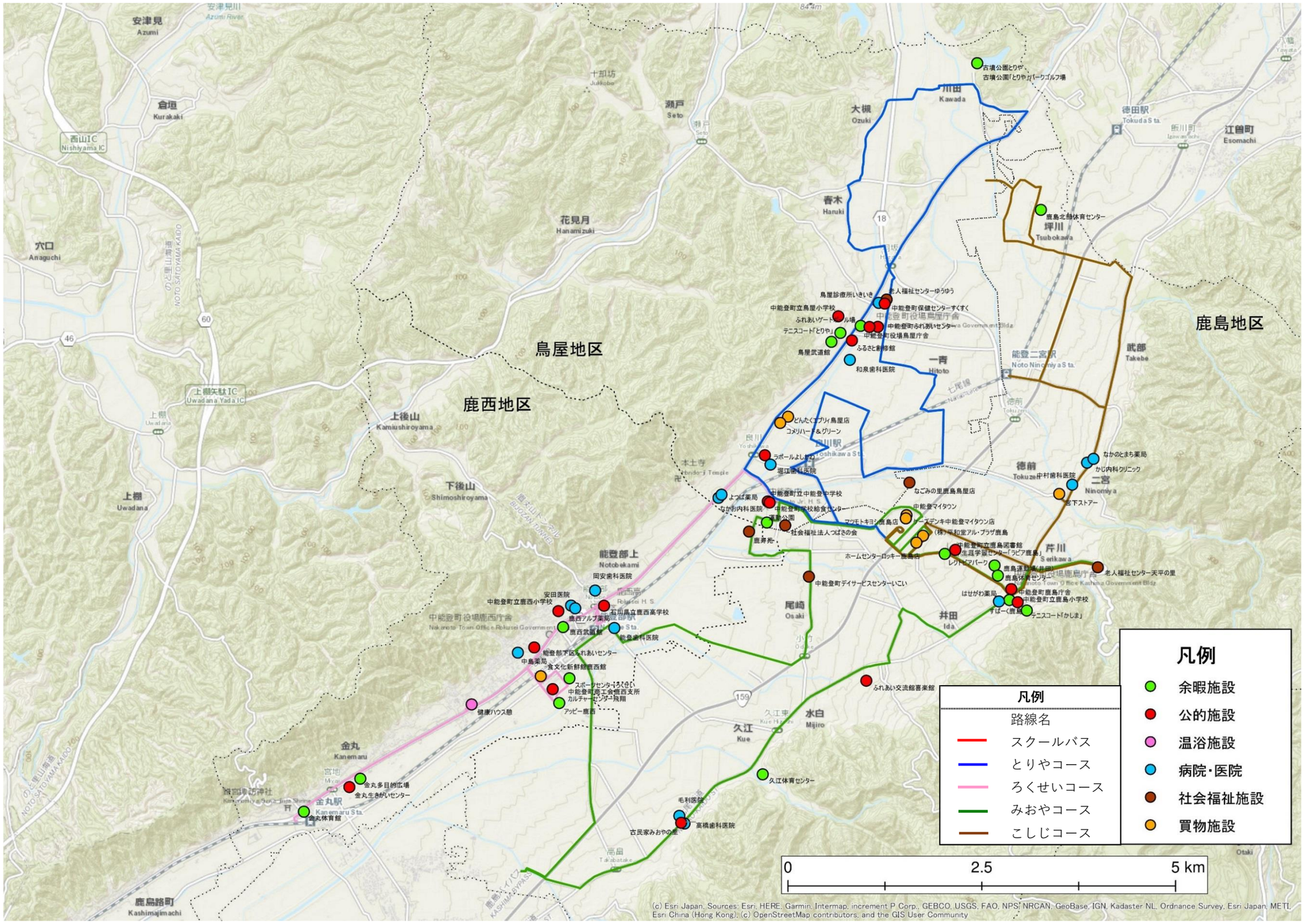


図表 22　コミュニティバスの運行距離、バス停数

コース	運行距離	バス停数	平均バス停間隔	周回時間	平均速度
とりや	19.1 ｋｍ	36（重複 2）	530 ｍ	50 分	23ｋｍ/ｈ
ろくせい	20.1 ｋｍ	50（重複 23）	400 ｍ	50 分	24ｋｍ/ｈ
みおや	22.0 ｋｍ	39（重複 2）	560 ｍ	50 分	26ｋｍ/ｈ
こしじ	20.7 ｋｍ	38（重複 13）	540 ｍ	50 分	25ｋｍ/ｈ

（４）施設分布

図表 23　施設の分布



（５）鉄道・路線バスの運賃

①移動方法別、中能登町から能登総合病院への運賃比較表

中能登町内の各駅から七尾駅に行く際の運賃は、210 円から 320 円である。また、七尾駅から能登総合病院までの運賃は 100 円、または 170 円であるので、鉄道を利用して能登総合病院に行く際の運賃は 310 円から 490 円となる。

一方、中能登町内の羽七東線のバス停から能登総合病院に直接移動する際の運賃は 430 円から 740 円であり、鉄道に比べて高めとなっている。

図表 24　鉄道を利用した場合の能登総合病院までの運賃

中能登町内のJR駅から七尾駅までの運賃（円）	
金丸駅	320
能登部駅、良川駅	240
能登二宮駅	210

＋

七尾駅から能登総合病院までの運賃（円）		
路線バス	ぐるっと７	まりん号
170	170	100

⇩

中能登町内のJR駅から能登総合病院までの運賃（円）			
	路線バス	ぐるっと７	まりん号
金丸駅	490	490	420
能登部駅、良川駅	410	410	340
能登二宮駅	380	380	310

図表 25　路線バスを利用した場合の能登総合病院までの運賃

中能登町内の路線バス（羽七東線） バス停から能登総合病院までの運賃（円）	
小金森	740
ラピア鹿島前	550
久の木	430

②移動方法別、中能登町から能登総合病院への所要時間比較表

中能登町内の各駅から七尾駅に行く際の所要時間は、9 分から 21 分である。また、七尾駅か能登総合病院までの所要時間は 15 分から、48 分であるので、鉄道を利用して能登総合病院に行く際の所用時間（七尾駅でのバス乗換時間※を含む）は 24 分から 69 分となる。

一方、中能登町内の羽七東線のバス停から能登総合病院に直接移動する際の所要時間は 29 分から 58 分であり、移動手段による所要時間の違いは見られなかった。

※乗換対象とするバスは、七尾駅に到着した電車と 30 分以内に接続する便に限定した。

図表 26　鉄道を利用した場合の能登総合病院までの所要時間

中能登町内のJR駅から七尾駅までの所要時間（分）	
金丸駅	21
能登部駅	17
良川駅	13
能登二宮駅	9

＋

七尾駅から能登総合病院までの所要時間（分）（七尾駅でのバス乗換時間を含む）														
路線バス			ぐるっと７				まりん号							
15	32	44	15	22	42	48	15	17	19	20	22	25	33	40

⇩

中能登町内のJR駅から能登総合病院までの所要時間（分）															
	路線バス			ぐるっと７				まりん号							
金丸駅	36	53	65	36	43	63	69	36	38	40	41	43	46	54	61
能登部駅	32	49	61	32	39	59	65	32	34	36	37	39	42	50	57
良川駅	28	45	57	28	35	55	61	28	30	32	33	35	38	46	53
能登二宮駅	24	41	53	24	31	51	57	24	26	28	29	31	34	42	49

図表 27　路線バスを利用した場合の能登総合病院までの所要時間

中能登町内の路線バス（羽七東線） バス停から能登総合病院までの所要時間（分）	
小金森	58
	49
ラピア鹿島前	37
久の木	29

参考　能登総合病院前発・着時刻表

図表 28　能登総合病院前発・着時刻表

バス時刻表

令和元年8月30日現在

七尾駅発　能登総合病院ゆき

のりば	発車時刻	バス名	経由・路線	到着時刻
旧パトリア	7:04	能登島バス	小丸山台	7:11
⑤	7:42	北鉄能登バス	西藤橋	7:49
旧パトリア	7:49	能登島バス	小丸山台	7:56
⑤	7:55	北鉄能登バス	七尾美術館	8:02
⑤	8:19	北鉄能登バス	小丸山台	8:29
⑤	8:25	北鉄能登バス	食祭市場	8:41
⑤	8:33	ぐるっと７	東コース	9:02
⑤	8:37	北鉄能登バス	小丸山台	8:47
⑤	8:50	北鉄能登バス	七尾美術館	8:57
ミナクル	9:00	まりん号	逆回り	9:16
⑤	9:11	北鉄能登バス	小丸山台	9:21
⑤	9:20	ぐるっと７	西コース	9:33
旧パトリア	9:26	能登島バス	小丸山台	9:33
ミナクル	9:27	まりん号	順回り	9:33
ミナクル	10:00	まりん号	逆回リ	10:16
ミナクル	10:27	まりん号	順回り	10:33
⑤	10:33	ぐるっと７	東コース	11:02
ミナクル	11:00	まりん号	逆回り	11:16
旧パトリア	11:16	能登島バス	小丸山台	11:23
⑤	11:20	ぐるっと７	西コース	11:33
ミナクル	11:27	まりん号	順回り	11:33
ミナクル	12:00	まりん号	逆回り	12:16
ミナクル	12:27	まりん号	順回り	12:33
④	12:33	北鉄能登バス	七尾美術館･吉田	12:40
⑤	12:40	北鉄能登バス	七尾美術館	12:47
旧パトリア	12:46	能登島バス	小丸山台	12:53
ミナクル	13:00	まりん号	逆回り	13:16
ミナクル	13:27	まりん号	順回り	13:33
⑤	13:33	ぐるっと７	東コース	14:02
ミナクル	14:00	まりん号	逆回り	14:16
⑤	14:20	ぐるっと７	西コース	14:33
ミナクル	14:27	まりん号	順回り	14:33
旧パトリア	14:36	能登島バス	小丸山台	14:43
ミナクル	15:00	まりん号	逆回り	15:16
ミナクル	15:27	まりん号	順回り	15:33
⑤	15:33	ぐるっと７	東コース	16:02
ミナクル	16:00	まりん号	逆回り	16:16
⑤	16:20	ぐるっと７	西コース	16:33
ミナクル	16:27	まりん号	順回り	16:33
旧パトリア	16:46	能登島バス	小丸山台	16:53
旧パトリア	17:56	能登島バス	小丸山台	18:03

能登総合病院発　七尾駅前ゆき

発車時刻	バス名	経由・路線	到着時刻
7:25	能登島バス	小丸山台	7:32
★7:38	ぐるっと７	西コース	7:50
7:53	北鉄能登バス	七尾美術館	8:06
7:53	北鉄能登バス	七尾美術館	8:06
9:02	ぐるっと７	東コース	9:15
9:11	北鉄能登バス	七尾美術館	9:24
9:16	まりん号	逆回り	9:26
9:20	能登島バス	小丸山台	9:27
10:14	ぐるっと７	西コース	10:25
10:16	まりん号	逆回り	10:26
10:30	能登島バス	小丸山台	10:37
10:33	まりん号	順回り	10:55
10:48	北鉄能登バス	西藤橋	10:55
11:02	ぐるっと７	東コース	11:15
11:16	まりん号	逆回り	11:26
11:33	まりん号	順回り	11:55
12:10	能登島バス	小丸山台	12:17
12:14	ぐるっと７	西回り	12:25
12:16	まりん号	逆回り	12:26
12:33	まりん号	順回り	12:55
12:50	北鉄能登バス	西藤橋	12:57
13:16	まりん号	逆回り	13:26
13:20	北鉄能登バス	小丸山台	13:30
13:33	まりん号	順回り	13:55
14:02	ぐるっと７	東コース	14:15
14:10	能登島バス	小丸山台	14:17
14:16	まりん号	逆回り	14:26
14:33	まりん号	順回り	14:55
15:14	ぐるっと７	西コース	15:25
15:16	まりん号	逆回り	15:26
15:33	まりん号	順回り	15:55
16:02	ぐるっと7	東コース	16:15
16:15	能登島バス	小丸山台	16:22
16:16	まりん号	逆回り	16:26
16:33	まりん号	順回り	16:55
17:14	ぐるっと７	西コース	17:25
17:15	能登島バス	小丸山台	17:22
19:00	能登島バス	小丸山台	19:07

★土日祝･学期休み期間運休　北鉄能登バスは土日祝運休　　まりん号は年末年始の12/30～1/3運休

まりん号は定期券･回数券の使用不可　　ぐるっと７は定期券の使用不可

（６）JR と路線バス、コミュニティバスの接続状況

①JR 七尾方面　行き

JR とコミュニティバスの接続状況（七尾方面　行き）は鹿西コースのみ 2 時間に 1 本程度 10 分以内に接続している便があるが、他のルートはほとんどの便が 20 分以内の接続もできていない状況である。また、能登総合病院と恵寿総合病院の受付時間にはコミュニティバス以外の手段で JR 駅まで移動しなければならない。

図表 29　JR とコミュニティバスの接続状況（七尾方面　行き）

JR					七尾駅⇒病院バス		
金丸	能登部	良川	能登二宮	七尾着	七尾駅発	能登総合病院	恵寿総合病院
6:03	6:07	6:12	6:15	6:25			
6:37	6:44	6:54	6:57	7:06			
7:36	7:40	7:44	7:47	7:57	8:19	8:29	
					8:25		8:32
8:08	8:12	8:15	8:18	8:27			
	8:31 み						
		8:45 と					
8:53	8:59	9:05	9:08	9:18			
	9:10 ろ						
			9:17 こ				
9:16	9:19	9:23	9:25	9:36			
9:25 ろ							
	9:40 ろ						
9:52	9:56	10:01	10:04	10:14			
		10:03 と					
	10:31 み						
10:59	11:03	11:06	11:09	11:19			
	11:10 ろ						
			11:17 こ				
11:25 ろ							
	11:40 ろ						
11:41	11:45	11:48	11:51	12:00	13:27	13:33	
12:34	12:40	12:44	12:47	12:56	13:15		13:19
	13:31 み						
13:31	13:35	13:38	13:41	13:51	14:00		14:04
		13:45 と					
	14:10 ろ						
			14:17 こ				
14:25 ろ							
	14:40 ろ						
14:39	14:43	14:47	14:50	14:59			
	15:31 み						
		15:45 と					
15:49	15:53	15:56	15:59	16:11			
	16:10 ろ						
			16:17 こ				
16:25 ろ							
	16:40 ろ						
16:36	16:40	16:47	16:50	16:59			
17:25	17:30	17:33	17:36	17:48			
	17:31 み						
		17:45 と					
	18:10 ろ						
			18:17 こ				
18:15	18:19	18:22	18:25	18:34			
18:25 ろ							
	18:40 ろ						
18:46	18:50	18:53	18:56	19:07			
19:35	19:38	19:45	19:48	19:57			
		19:23		19:32			
19:57	20:01	20:04	20:08	20:17			
20:28	20:32	20:35	20:38	20:47			
21:01	21:05	21:08	21:11	21:20			
		20:57		21:06			
21:31	21:35	21:38	21:42	21:51			
22:16	22:20	22:23	22:26	22:35			
23:23	23:27	23:30	23:33	23:43			
0:08	0:12	0:15	0:18	0:27			

○○：○○	→	JR七尾線　各駅停車時刻
赤字　○○：○○	→	列車到着時刻の前後10分に到着
緑字　○○：○○	→	列車到着時刻の前後20分に到着

②JR 七尾方面　帰り

JR とコミュニティバスの接続状況（七尾方面　帰り）はろくせいコース、みおやコース、とりやコースは午後に複数便 10 分以内に接続している便があるが、とりやコースは午前の第 2 便以外は 20 分以内に接続できていない。

図表 30　JR とコミュニティバスの接続状況（七尾方面　帰り）

JR				
七尾発 ➡	能登二宮 ➡	良川 ➡	能登部 ➡	金丸
5:00	5:09	5:13	5:16	5:21
5:27	5:36	5:39	5:43	5:47
6:00	6:09	6:12	6:16	6:20
6:26	6:36	6:39	6:43	6:47
6:41	6:50	6:53	6:57	7:01
7:07		7:16		
7:15	7:24	7:27	7:30	7:36
7:31	7:40	7:44	7:48	7:52
			8:31 み	
8:13	8:25	8:28	8:32	8:36
		8:45 と		
8:53	9:02	9:05	9:09	9:18
			9:10 ろ	
	9:17 こ			
				9:25 ろ
			9:40 ろ	
9:48	9:58	10:01	10:04	10:08
		10:03 と		
			10:31 み	
10:37	10:46	10:49	10:53	10:59
			11:10 ろ	
	11:17 こ			
				11:25 ろ
			11:40 ろ	
11:35	11:44	11:49	11:53	12:03
12:25	12:34	12:37	12:40	12:44
13:09	13:18	13:21	13:25	13:31
			13:31 み	
		13:45 と		
			14:10 ろ	
14:01	14:10	14:14	14:17	14:21
	14:17 こ			
				14:25 ろ
			14:40 ろ	
15:00	15:10	15:16	15:19	15:23
			15:31 み	
		15:45 と		
			16:10 ろ	
16:00	16:09	16:12	16:16	16:20
	16:17 こ			
				16:25 ろ
			16:40 ろ	
16:46	16:56	17:00	17:03	17:07
17:11	17:21	17:24	17:31	17:36
			17:31 み	
		17:45 と		
			18:10 ろ	
				18:25 ろ
18:08	18:17	18:22	18:26	18:30
	18:17 こ			
			18:40 ろ	
18:56	19:05	19:08	19:12	19:18
19:33	19:42	19:45	19:49	19:57
20:34	20:45	20:48	20:55	21:01
21:38	21:49	21:52	21:56	22:00
22:22	22:33	22:36	22:39	22:43

○○：○○	→	JR七尾線　各駅停車時刻
赤字　○○：○○	→	列車到着時刻の前後10分に到着
緑字　○○：○○	→	列車到着時刻の前後20分に到着

③羽七東線　七尾方面　平日

羽七東線とコミュニティバスの接続状況は、行きはこしじコースの最終便、帰りはこしじコースの第 1 便と最終便のみが 10 分もしくは 20 分以内に羽七東線に接続している。

図表 31　羽七東線とコミュニティバスの接続状況（七尾方面　平日）

路線バス（羽七東線）

鹿島庁舎	七尾駅前	能登病院
7:11	7:36	
7:54	8:19	8:29
8:05 み		
8:46	9:11	9:21
9:41	10:06	
9:43 こ		
10:05 み		
11:42	12:07	
11:43 こ		
13:02	13:27	
13:05 み		
14:41	15:06	
14:43 こ		
15:05 み		
16:43 こ		
17:05 み		
17:37	18:02	
18:43 こ		
18:57	19:22	

路線バス（羽七東線）

七尾駅前	鹿島庁舎
7:00	7:23
7:15	7:38
	8:05 み
9:00	9:23
	9:43 こ
	10:05 み
10:15	10:38
	11:43 こ
	13:05 み
12:50	13:13
13:50	14:13
	14:43 こ
	15:05 み
15:05	15:28
15:55	16:18
	16:43 こ
	17:05 み
16:45	17:08
18:15	18:38
	18:43 こ

○○：○○	→	羽七東線　各バス停停車時刻
赤字　○○：○○	→	バス到着時刻の前後10分に到着
緑字　○○：○○	→	バス到着時刻の前後20分に到着

④羽七東線　七尾方面　休日

羽七東線とコミュニティバスの接続状況は、行きはこしじコースの第 2 便、帰りはみおやコースの第 4 便と最終便、こしじコースの最終便のみが 10 分もしくは 20 分以内に羽七東線に接続している。

図表 32　羽七東線とコミュニティバスの接続状況（七尾方面　休日）

路線バス（羽七東線）

鹿島庁舎	七尾駅前
7:54	8:19
8:05 み	
8:56	9:21
9:41	10:06
9:43 こ	
10:05 み	
10:52	11:17
11:43 こ	
11:46	12:11
13:05 み	
13:47	14:12
14:43 こ	
15:05 み	
15:32	15:57
16:43 こ	
17:05 み	
17:41	18:06
18:43 こ	
19:01	19:26

路線バス（羽七東線）

七尾駅前	鹿島庁舎
7:00	7:23
	8:05 み
8:35	8:58
	9:43 こ
	10:05 み
10:15	10:38
	11:43 こ
11:30	11:53
	13:05 み
12:55	13:18
	14:43 こ
14:30	14:53
	15:05 み
	16:43 こ
16:40	17:03
	17:05 み
17:20	17:43
18:20	18:43
	18:43 こ

○○：○○	→	羽七東線　各バス停停車時刻
赤字　○○：○○	→	バス到着時刻の前後10分に到着
緑字　○○：○○	→	バス到着時刻の前後20分に到着

（７）スクールバスの現況

①スクールバスの利用状況

中能登中学校においては、スクールバスよりも路線バスの利用者が多い。鹿島小学校ではスクールバスと路線バスの利用者数に大きな差はない。

なお、鳥屋小学校と鹿島小学校のスクールバスの利用者を見ると、下校時の方が利用者数は少ない。これは下校時には学童保育を利用し、保護者が迎えに来ているためである。一方、中能登中学校では下校時の方が利用者数は多い。これは保護者の送迎が登校時の方が多いためと考えられる。

また、スクールバスでは便によっては登校時、下校時ともに席に余裕があるものがある。

図表 33　スクールバス、及び路線バスの利用状況

				登校時			下校時		
学校名	バス種別	車両種別	乗車定員	学校到着時刻	降車人数	運行方面（JRは利用駅）	学校発時刻	乗車人数	運行方面（JRは利用駅）
中能登中学校	スクールバス	マイクロ	28	7:33	28	新庄・廿九日方面	18:00	11	新庄・廿九日方面
				7:45	9	瀬戸・花見月方面	18:40	17	
		ジャンボタクシー	10	-	-	-	18:00	8	瀬戸・花見月方面
				-	-	-	18:40	1	
	小計			-	37	-	-	37	-
	路線バス		80	7:45	43	越路方面	18:40	51	越路方面
			80	7:48	25	滝尾・御祖方面	18:40	24	滝尾・御祖方面
	小計			-	68	-	-	75	-
	JR		-	-	45	能登二宮駅	-	45	能登二宮駅
				-	1	徳田駅	-	1	徳田駅
				-	8	能登部駅	-	8	能登部駅
				-	6	金丸駅	-	6	金丸駅
	小計			-	60	-	-	60	-
鹿西小学校	スクールバス	マイクロ	28	7:35	7	金丸方面	15:10	14	金丸方面
				7:55	23		16:00	16	
	小計			-	30	-	-	30	-
鳥屋小学校	スクールバス	マイクロ	28	7:23	25	新庄・廿九日方面	15:25	23	新庄・廿九日方面
				7:41	18		16:30	18	
				7:40	13	瀬戸・花見月方面	15:25	3	瀬戸・花見月方面
				-	-		16:30	10	
	小計			-	56	-	-	54	-
鹿島小学校	スクールバス	中型	40	7:26	37	尾崎・曽祢方面	15:30	19	JR能登二宮駅方面
		マイクロ	28	7:27	10		15:30	22	尾崎・曽祢方面
				7:28	27	坪川方面	15:30	10	坪川方面
		中型とマイクロ（下校時は中型のみ）	68(=40+28)	7:47	50	JR能登二宮駅方面	16:40	30	JR能登二宮駅方面
		マイクロ	28	-	-	-	16:40	25	尾崎・曽祢方面
				-	-	-	16:40	17	坪川方面
	小計			-	124	-	-	123	-
	路線バス		80	7:38	28	越路方面	15:21	10	越路方面
				7:50	56	滝尾・御祖方面	15:28	40	滝尾・御祖方面
				7:54	20		16:18	36	
				-	-	-	16:21	18	越路方面
	小計			-	104	-	-	104	-
乗降者数合計				-	479	-	-	483	-

②スクールバス運行に係る経費

スクールバスの運行に係る経費は、平成 30 年度では約 3,038 万円が計上されており、コミュニティバスの運行経費約 3,180 万円と同程度である。

図表 34　スクールバス運行に係る経費

●運行委託費用

燃料費等	1,999,047	…A
車検等	1,327,110	
タイヤ、修繕等	1,127,560	
人件費等	12,794,429	…A-B
運行委託料	17,248,146	…B

●補助金

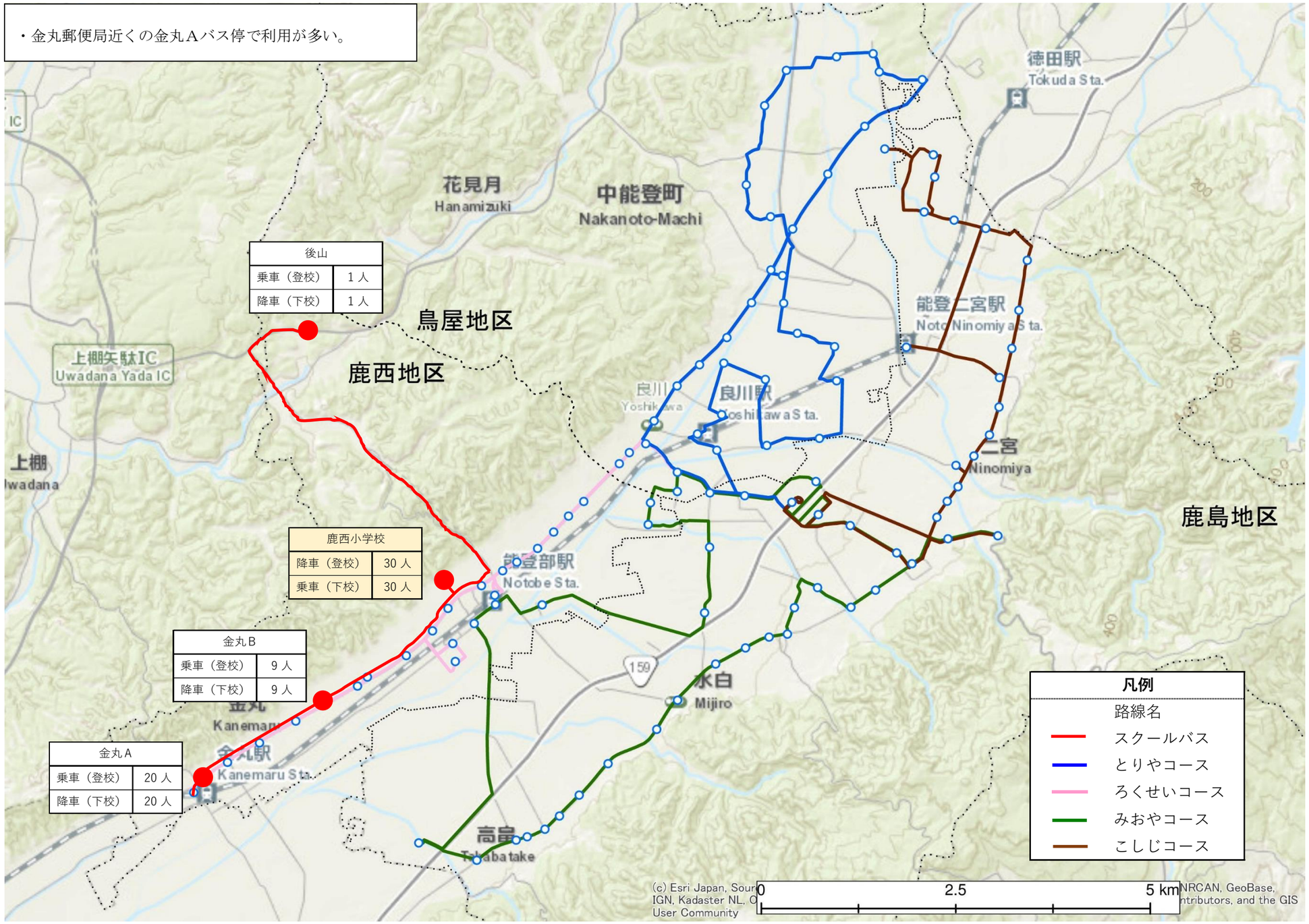
小学生補助金	4,371,222	路線バス	
中学生補助金	8,761,344	路線バス、JR	
補助金合計	13,132,566	-	…C

⇩

平成30年度運行経費	30,380,712	…B+C

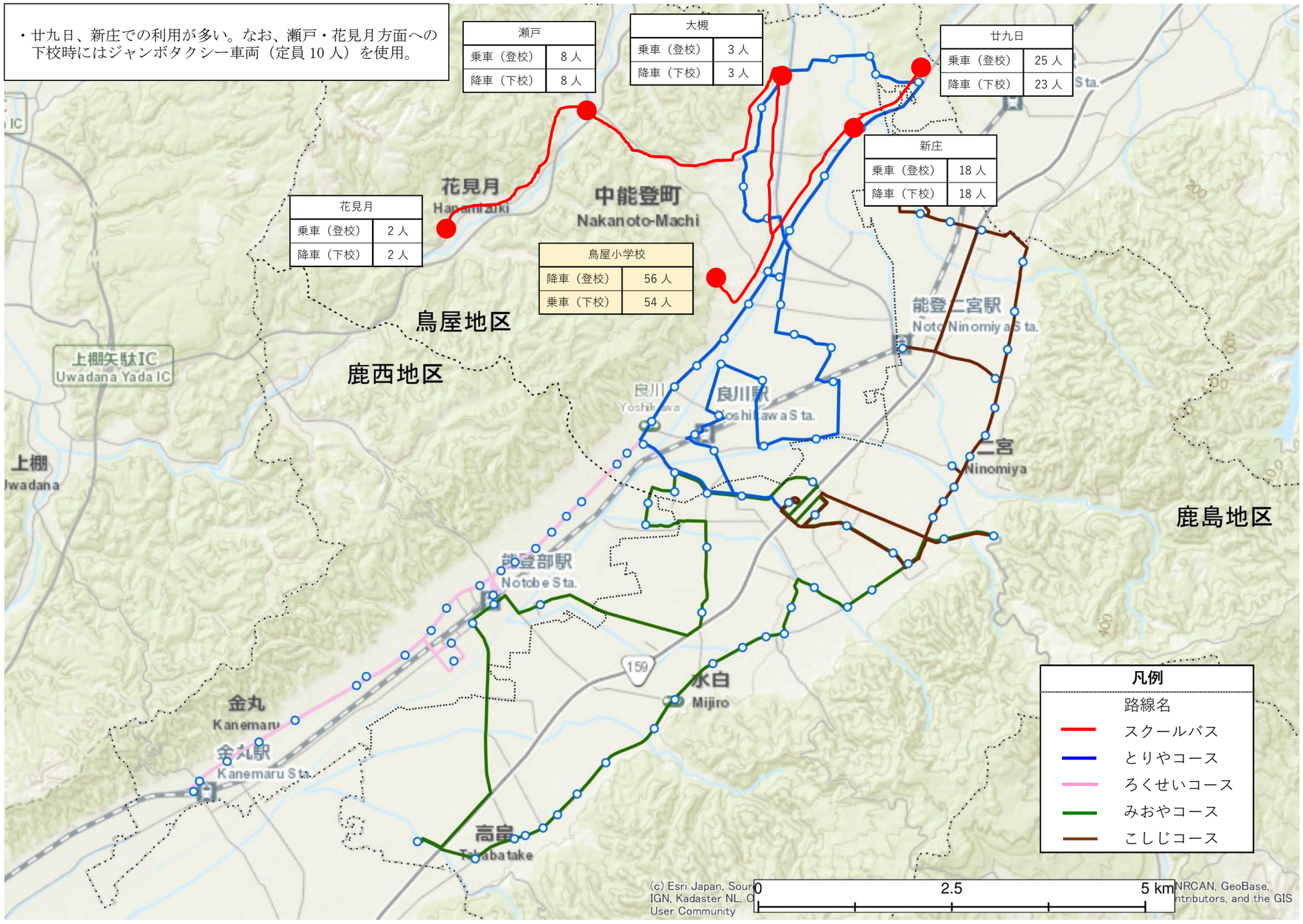
③鹿西小学校のスクールバスの利用状況

図表 35　鹿西小学校のスクールバスの利用状況



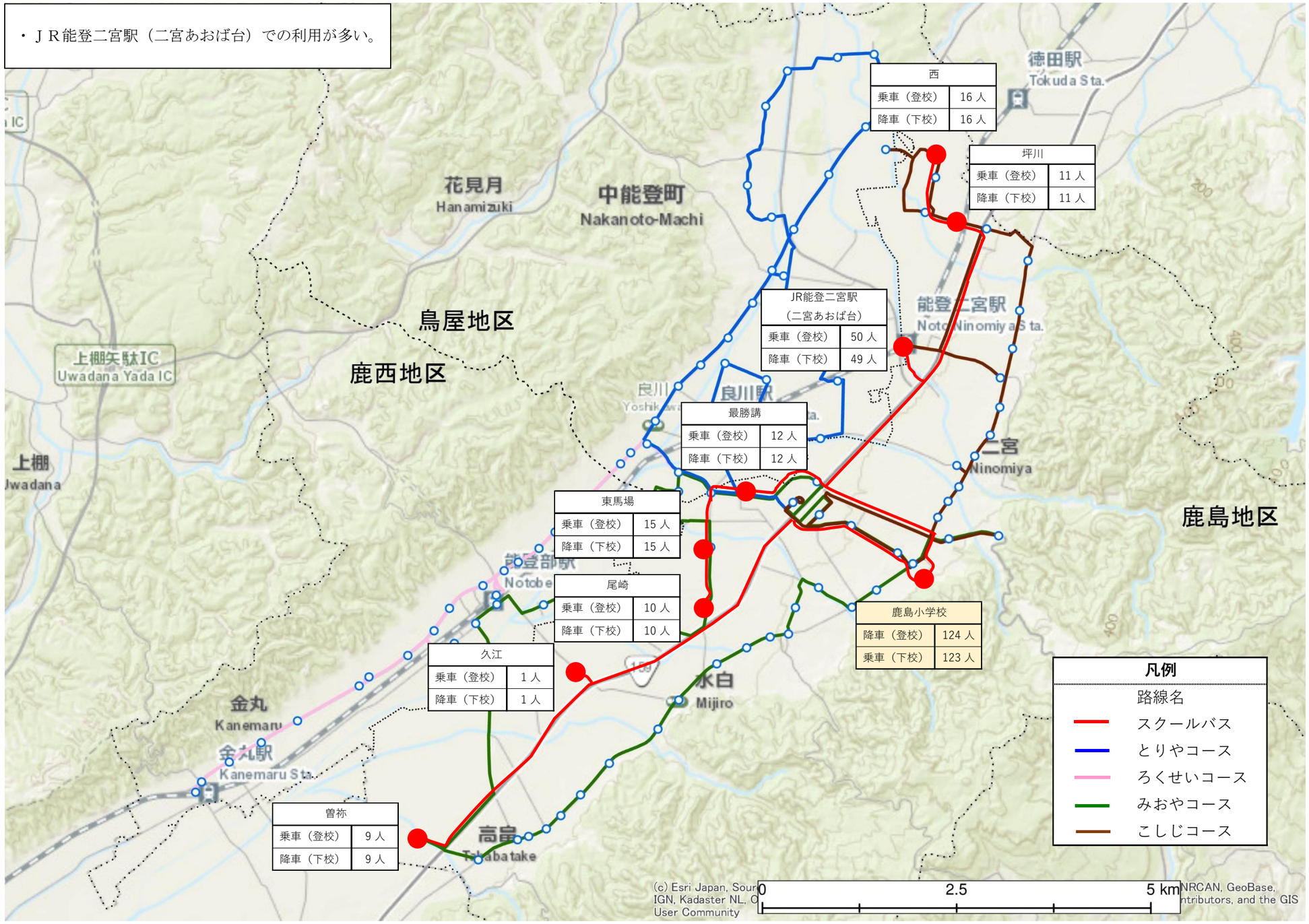
④鳥屋小学校のスクールバスの利用状況

図表 36　鳥屋小学校のスクールバスの利用状況



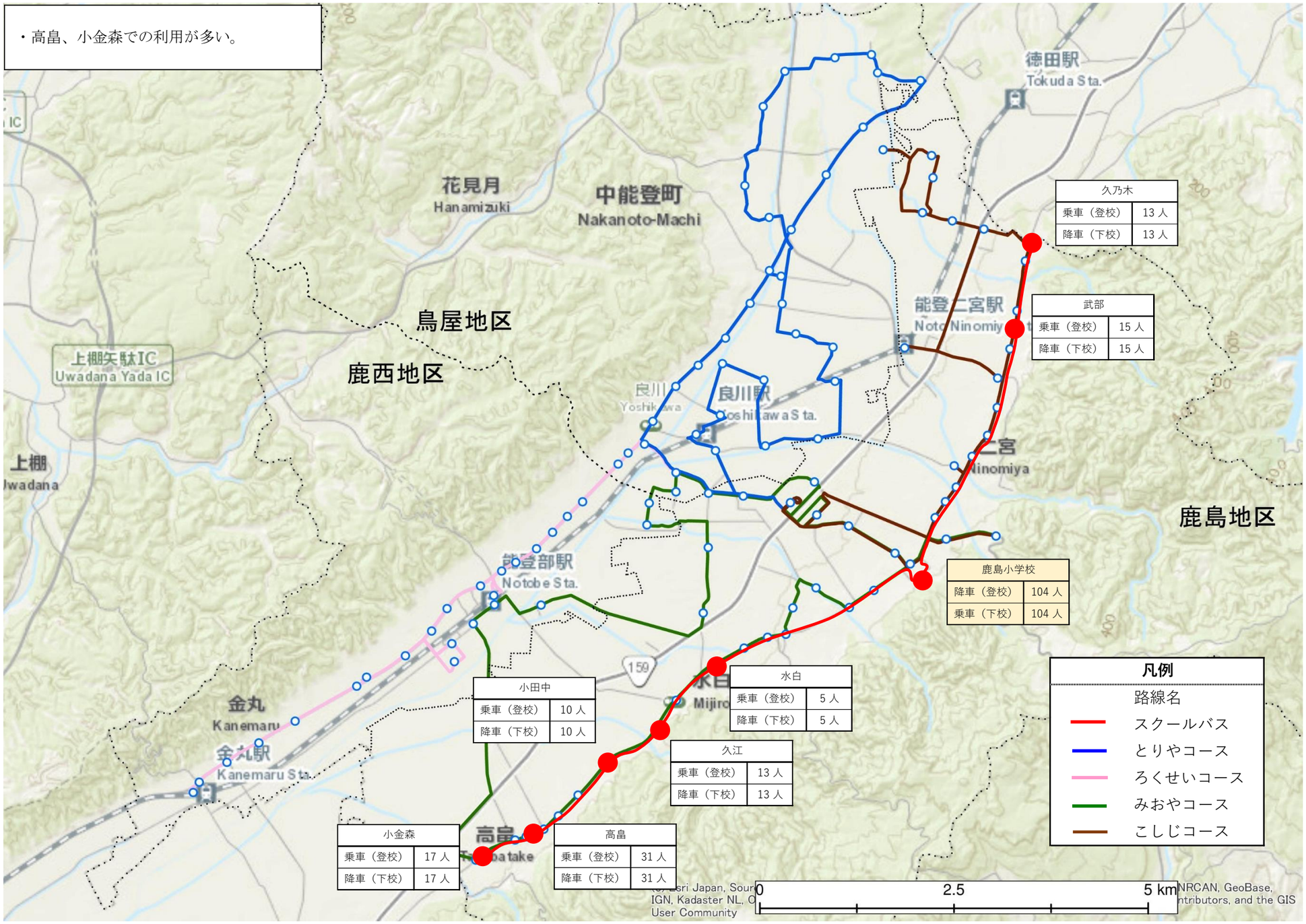
⑤鹿島小学校のスクールバスの利用状況

図表 37　鹿島小学校のスクールバスの利用状況



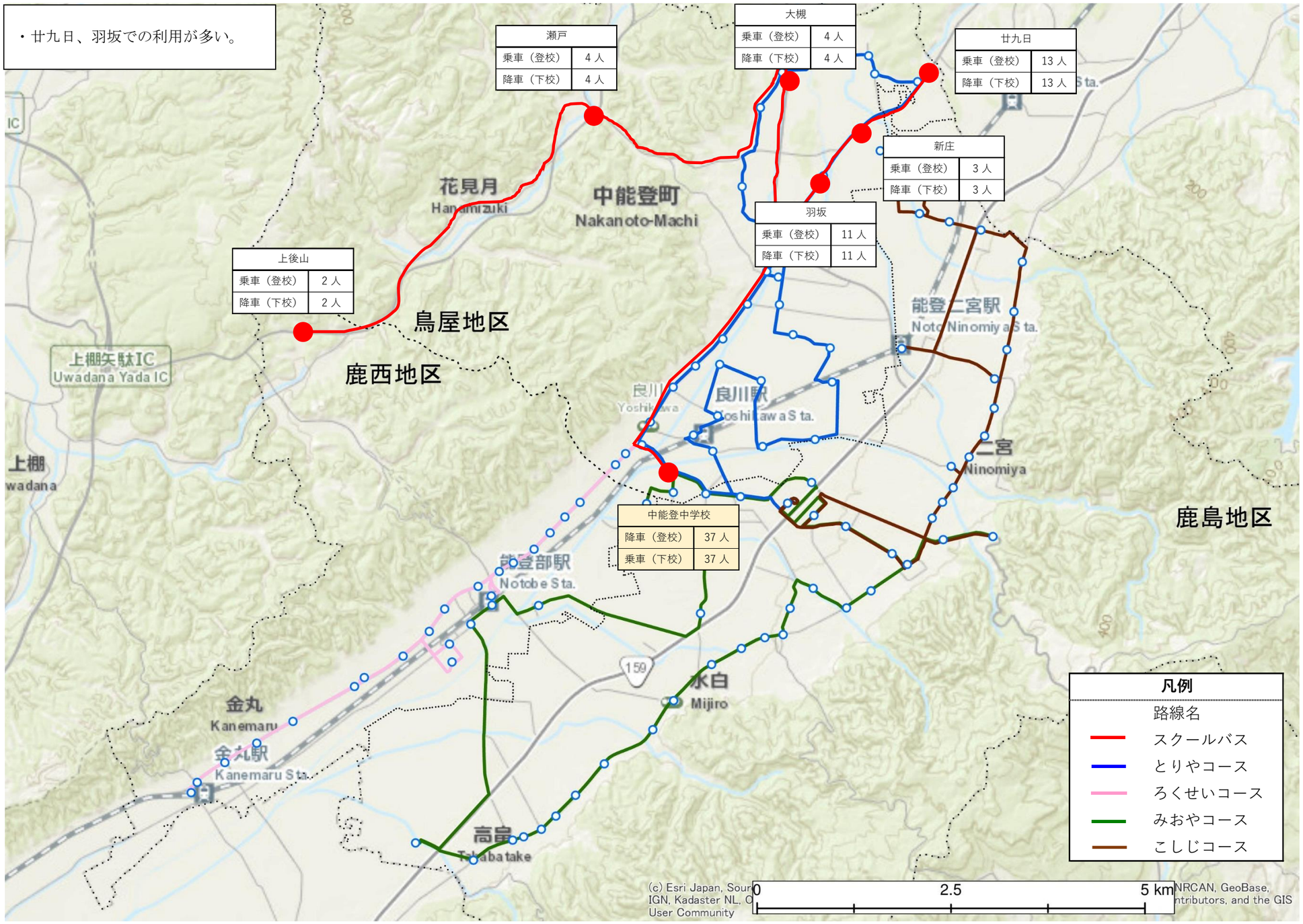
⑥鹿島小学校のスクールバスの利用状況（路線バス）

図表 38　鹿島小学校のスクールバスの利用状況（路線バス）



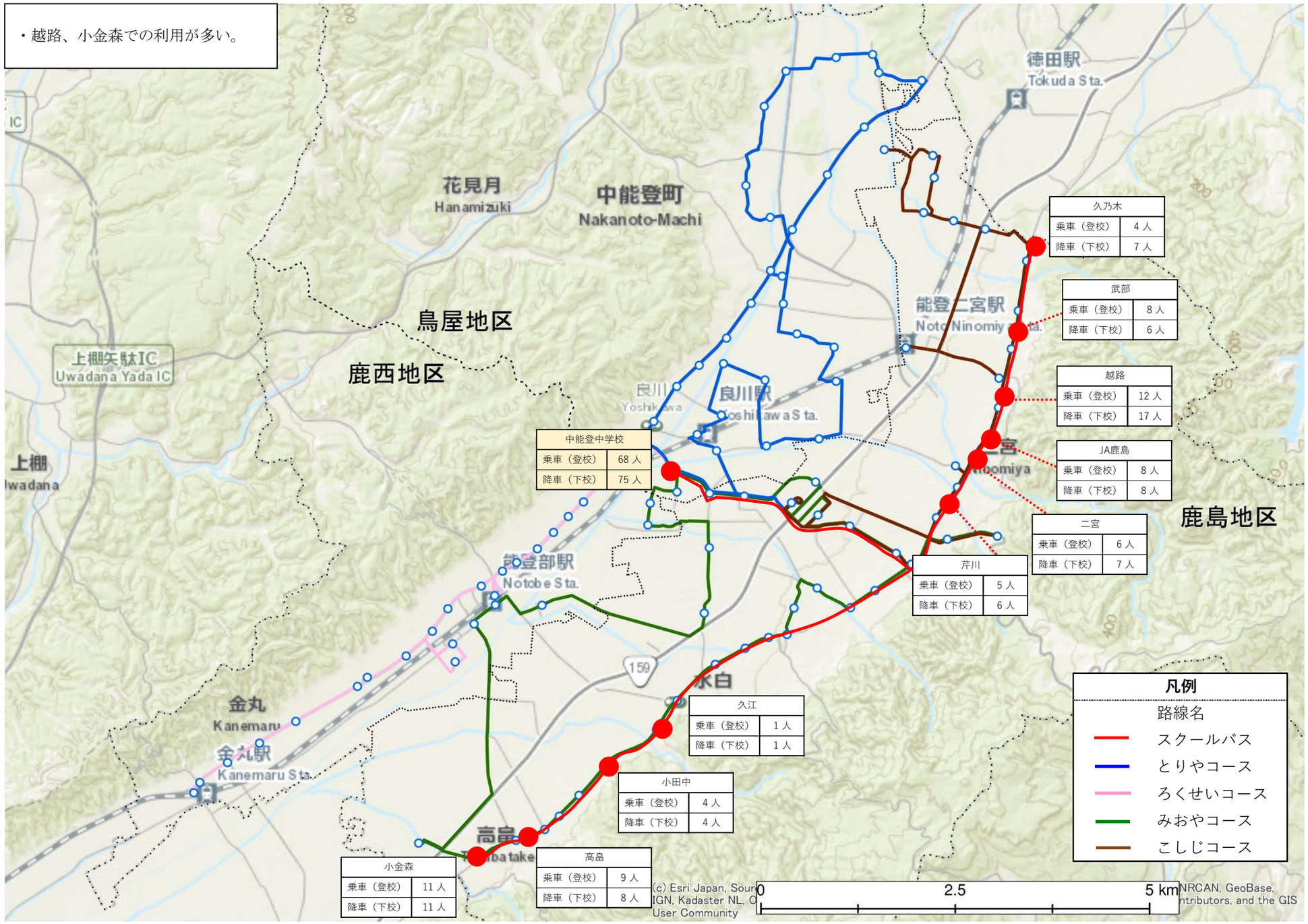
⑦中能登中学校のスクールバスの利用状況

図表 39　中能登中学校のスクールバスの利用状況



⑧中能登中学校のスクールバスの状況（路線バス）

図表 40　中能登中学校のスクールバスの状況（路線バス）



（８）タクシー交通の現況

中能登町内には 2 事業者が営業しており、在籍台数は 9 台である。

図表 41　タクシー会社の現況

会社名	最寄駅	在籍車両台数			備考
		ジャンボ	一般	計	
中能登タクシー	能登部駅	1	3	4	デマンドタクシー
カシマタクシー	良川駅	1	4	5	

資料:「一般社団法人石川県タクシー協会」(平成 31 年 3 月 31 日現在)資料等による

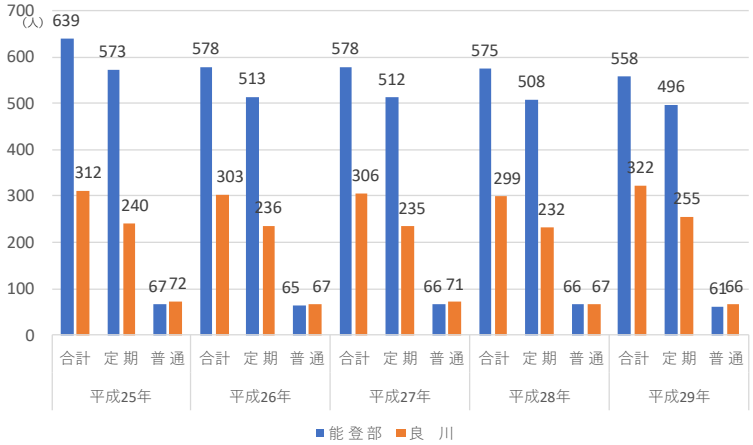
３－２．公共交通の利用状況

（１）鉄道の１日平均利用者数

①鉄道の 1 日平均利用者数

能登部駅における鉄道利用者数について着目すると、平成 25 年以降減少傾向にある。
良川駅における鉄道利用者数について着目すると、平成 25 年から平成 28 年までは減少傾向にあるものの、平成 28 年から平成 29 年にかけて利用者数は増加している。

図表 42　鉄道 1 日平均利用者数



出典:石川県統計書

②能登部駅の利用者数と駅までの移動手段

能登部駅の通勤通学時間帯の利用者数及び利用する人の駅までの移動手段を調査した。調査実施概要は以下に示す。

調査実施日：2018 年 12 月 3 日（月）
調査日天気：雨のち曇り
調査実時間：6:16 発金沢行～7:48 発金沢行

○乗車人数（駅までの移動手段別）

調査実施中の能登部駅の乗車人数は高校生が 100 人、社会人が 60 人で合計 160 人であった。駅までの移動手段は送迎が最も多く 46.3%、次いで徒歩が 31.9%であった。高校生は送迎、社会人は徒歩が駅までの移動手段として多い。7：25 着の路線バス後山線を利用して能登部駅まで移動している人も見られた。

図表 43　能登部駅の乗車人数

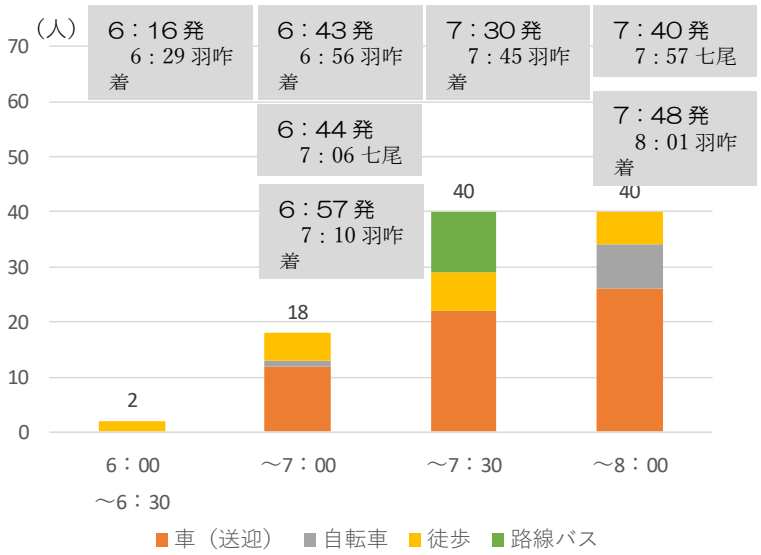
	高校生		社会人		合計	
	人	%	人	%	人	%
車（送迎）	60	60.0%	14	23.3%	74	46.3%
車	－	－	10	16.7%	10	6.3%
自転車	9	9.0%	4	6.7%	13	8.1%
徒歩	20	20.0%	31	51.7%	51	31.9%
路線バス	11	11.0%	1	1.7%	12	7.5%
合計	100	100.0%	60	100.0%	160	100.0%

■時間帯別乗車人数（高校生）

高校生の能登部駅の乗車人数を時間帯別に見ると、7：01～7：30 及び 7：31～8：00 が最も多く 40 人であった。

通学に多く利用されている便は 7：30 発金沢行き（7：45 羽咋着）及び 7：40 発七尾行き（7：57 七尾着）であると考えられる。

図表 44　能登部駅の時間帯別乗車人数（高校生）

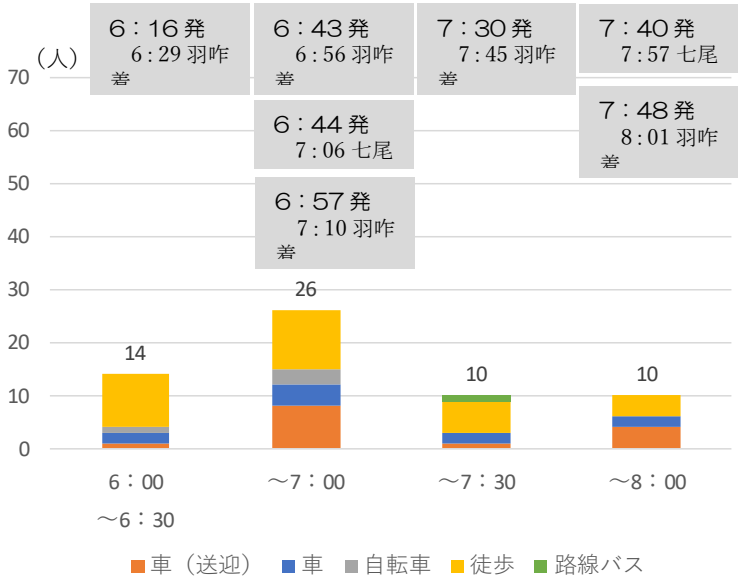


■時間帯別乗車人数（社会人）

社会人の能登部駅の乗車人数を時間帯別に見ると、6：31～7：00 が最も多く 26 人であった。

金沢への通勤に 6：16 発（7：23 金沢着）や 6：57 発（8：13 金沢着）を利用していると考えられる。

図表 45　能登部駅の時間帯別乗車人数（社会人）



〇降車人数

調査実施中の能登部駅の降車人数は高校生が 292 人、社会人が 10 人で合計 302 人であった。鹿西高校の最寄駅であるため、高校生の降車人数が多い。

図表 46　能登部駅の降車人数

（人）

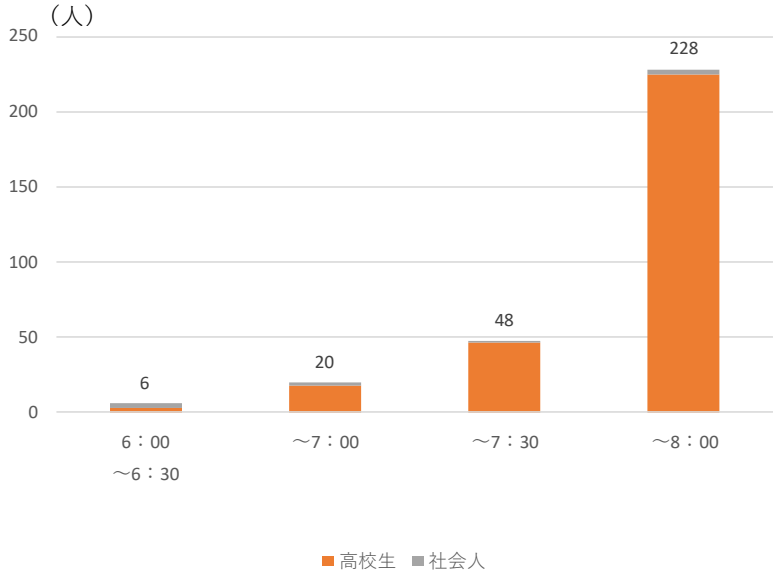
	中学生	高校生	社会人	合計
降車人数	0	292	10	302

■時間帯別降車人数

能登部駅の降車人数を時間帯別に見ると、7：31～8：00 が最も多く 228 人であった。

鹿西高校の始業時間に合わせ、7：40 着（金沢方面より）や 7：45 着（七尾方面より）の利用が多いと考えられる。

図表 47　能登部駅の時間帯別降車人数



【参考】北鉄能登バス後山線降車人数（7：25 能登部駅着）

図表 48　北鉄能登バス後山線降車人数

（人）

	中学生	高校生	社会人	合計
降車人数	0	24	2	26

③良川駅の利用者数と駅までの移動手段

良川駅の通勤通学時間帯の利用者数及び利用する人の駅までの移動手段を調査した。調査実施概要は以下に示す。

調査実施日：2018 年 12 月 5 日（水）
調査日天気：曇り
調査実時間：6:12 発金沢行・七尾行～7:44 発金沢行・七尾行

○乗車人数（駅までの移動手段別）

調査実施中の良川駅の乗車人数は高校生が 124 人、社会人が 61 人で合計 185 人であった。駅までの移動手段は送迎が最も多く 48.1%、次いで徒歩が 28.6%であった。能登部駅と同様に高校生は送迎、社会人は徒歩が駅までの移動手段として多い。

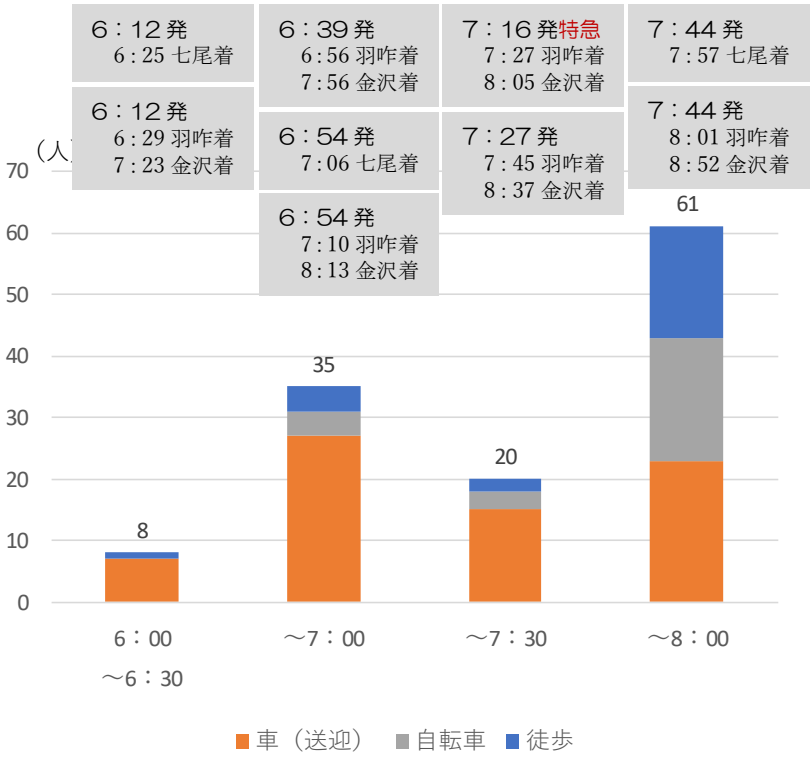
図表 49　良川駅の乗車人数

	高校生		社会人		合計	
	人	%	人	%	人	%
車（送迎）	72	58.1%	17	27.9%	89	48.1%
車	－	－	12	19.7%	12	6.5%
自転車	27	21.8%	4	6.6%	31	16.8%
徒歩	25	20.2%	28	45.9%	53	28.6%
合計	124	100.0%	61	100.0%	185	100.0%

■時間帯別乗車人数（高校生）

高校生の良川駅の乗車人数を時間帯別に見ると、7：31～8：00 が最も多く 61 人であった。通学に多く利用されている便は 7：44 発金沢行き（8：01 羽咋着）及び 7：44 発七尾行き（7：57 七尾着）であると考えられる。

図表 50　良川駅の時間帯別乗車人数（高校生）

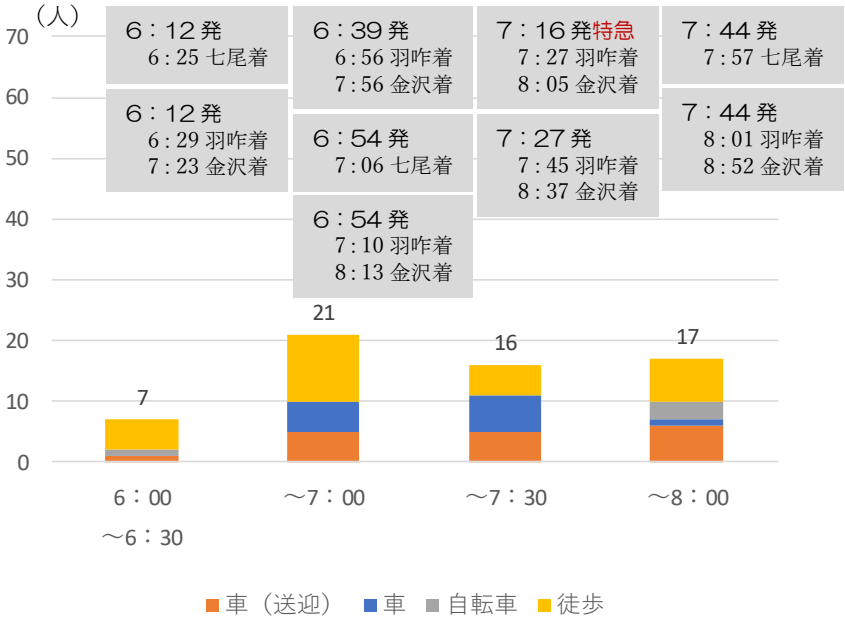


■時間帯別乗車人数（社会人）

社会人の良川駅の乗車人数を時間帯別に見ると、6：31～7：00 が最も多く 21 人であった。

金沢への通勤に 6：12 発（7：23 金沢着）や 6：54 発（8：13 金沢着）、羽咋への通勤には 7：16 発能登かがり火（7：27 羽咋着）を利用していると考えられる。

図表 51　良川駅の時間帯別乗車人数（社会人）



〇降車人数

調査実施中の良川駅の降車人数は中学生が 42 人、高校生が 4 人、社会人が 4 人で合計 50 人であった。中能登中学校の最寄駅であるため、中学生の降車人数が多い。

図表 52　良川駅の降車人数

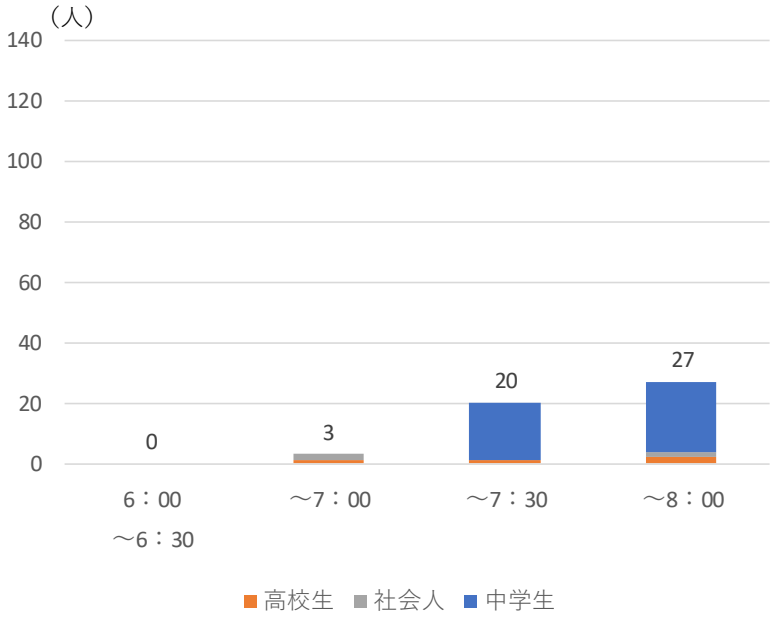
（人）

	中学生	高校生	社会人	合計
降車人数	42	4	4	50

〇時間帯別降車人数

良川駅の降車人数を時間帯別に見ると、7：31～8：00 が最も多く 27 人であった。中能登中学校の始業時間に合わせ、7：27 着（七尾方面より）や 7：44 着（金沢方面・七尾方面より）の利用が多いと考えられる。

図表 53　良川駅の時間帯別降車人数



（参考）中能登町内の鉄道駅駐車場の収容台数

能登部駅および良川駅の駐車場の収容台数を下表に示す。能登部駅および良川駅の駐車場の収容台数は、前述①②に示した、社会人の利用者数の合計を超えている。

図表 54　中能登町内の鉄道駅駐車場の収容台数

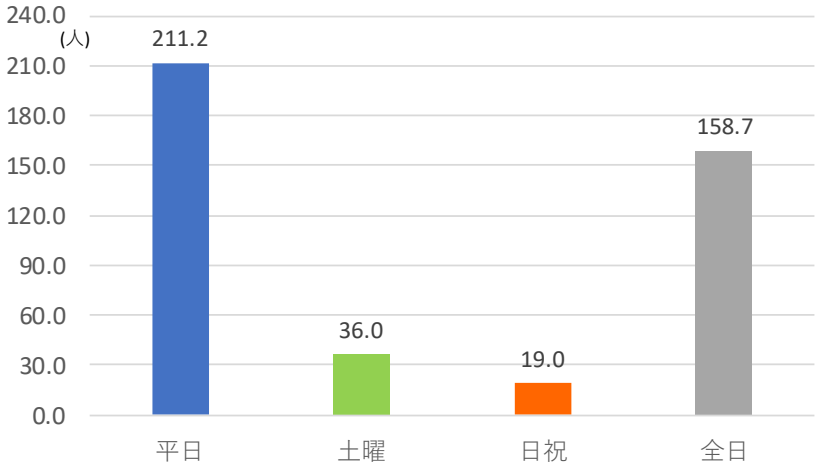
駅名	収容台数	備考
金丸駅	41 台	
能登部駅	93 台	・能登部駅駐車場（駅横）　40 台 ・能登部駅駐車場（駅前）　53 台
良川駅	52 台	・良川駅駐車場（東口）　37 台 ・良川駅駐車場（テキスタイルラボ横）　15 台
能登二宮駅	69 台	・能登二宮駅駐車場（駅横）　50 台 ・能登二宮駅駐車場（黒氏側）　19 台

（２）路線バスの日別の利用者数

①羽七東線の日別の利用者数（羽咋駅→七尾駅）

羽七東線の日別の利用者数（羽咋駅→七尾駅）について着目すると、平日が 211.2 人、土曜が 36.0 人、日曜が 19.0 人となっており、日曜の利用が少なくなっている。

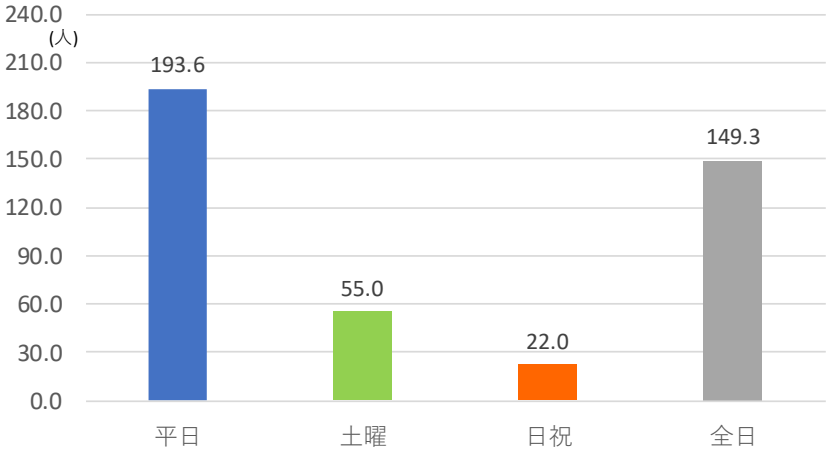
図表 55　羽七東線の日別の利用者数（羽咋駅→七尾駅）



②羽七東線の日別の利用者数（七尾駅→羽咋駅）

羽七東線の日別の利用者数(七尾駅→羽咋駅)について着目すると、平日が 199.4 人、土曜が 55.0 人、日曜が 22.0 人となっており、日曜の利用が少なくなっている。

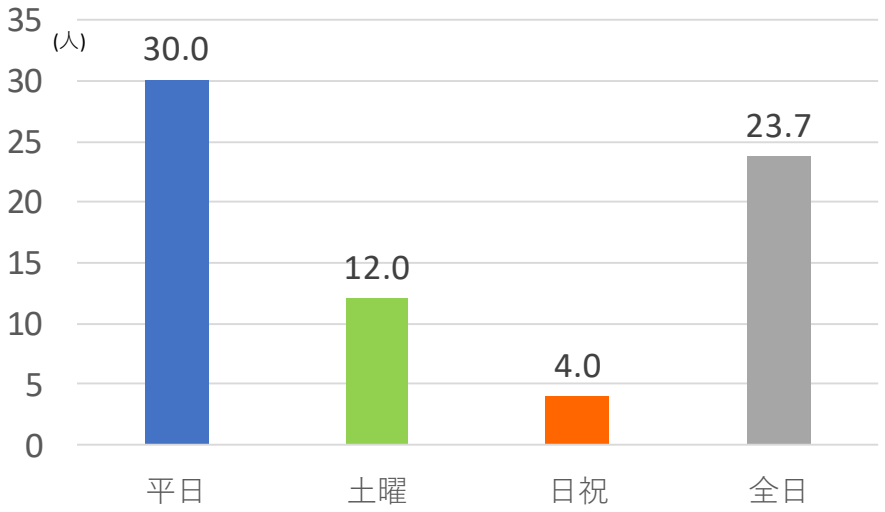
図表 56　羽七東線の日別の利用者数（羽咋駅→七尾駅）



③後山線の日別の利用者数（能登部駅前→志賀中学校）

後山線の日別の利用者数（能登部駅前→志賀中学校）について着目すると、平日が 30.0 人、土曜が 12.0 人、日曜が 4.0 人となっており、日曜の利用が少なくなっている。

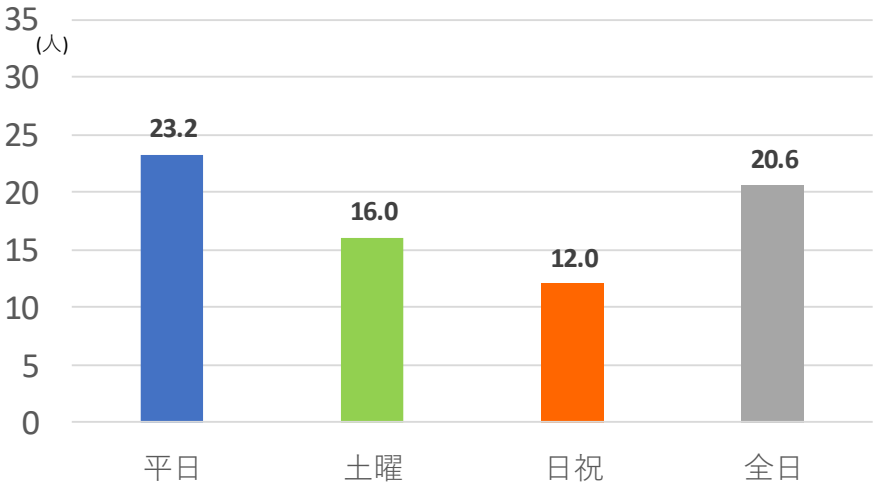
図表 57　後山線の日別の利用者数（能登部駅前→志賀中学校）



④後山線の日別の利用者数（高浜→能登部駅前）

後山線の日別の利用者数（高浜→能登部駅前）について着目すると、平日が 23.2 人、土曜が 16.0 人、日曜が 12.0 人となっており、日曜の利用が少なくなっている。

図表 58　後山線の日別の利用者数（高浜→能登部駅前）

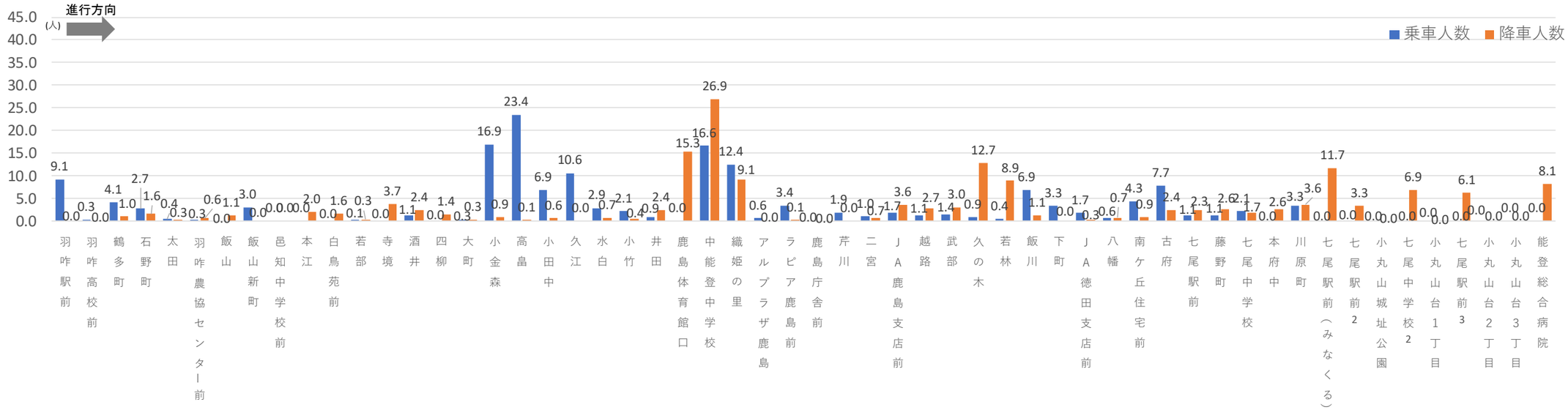


（３）路線バスのバス停別の利用者数

①羽七東線のバス停別の利用者数（羽咋駅→七尾駅）

羽七東線のバス停別の利用者数（羽咋駅→七尾駅）について着目すると、乗者人数は高畠が 23.4 人、小金森が 16.9 人、中能登中学校が 16.6 人の順に多い。降者人数は中能登中学校 26.9 人、鹿島体育館口が 15.3 人、久の木が 11.4 人の順に多い。

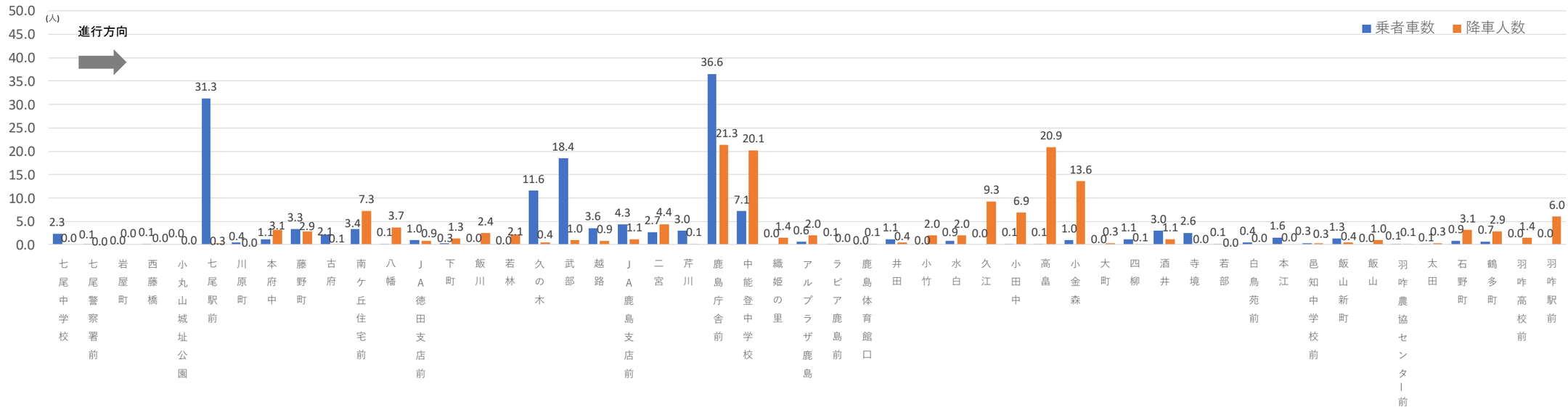
図表 59　羽七東線の日別の利用者数（羽咋駅→七尾駅）



②羽七東線のバス停別の利用者数（七尾駅→羽咋駅）

羽七東線のバス停別の利用者数（七尾駅→羽咋駅）について着目すると、乗者人数は鹿島庁舎前が 36.6 人、七尾駅前が 31.3 人、武部が 18.4 人の順に多い。降者人数は鹿島庁舎前が 21.3 人、高畠が 20.9 人、中能登中学校が 20.1 人の順に多い。

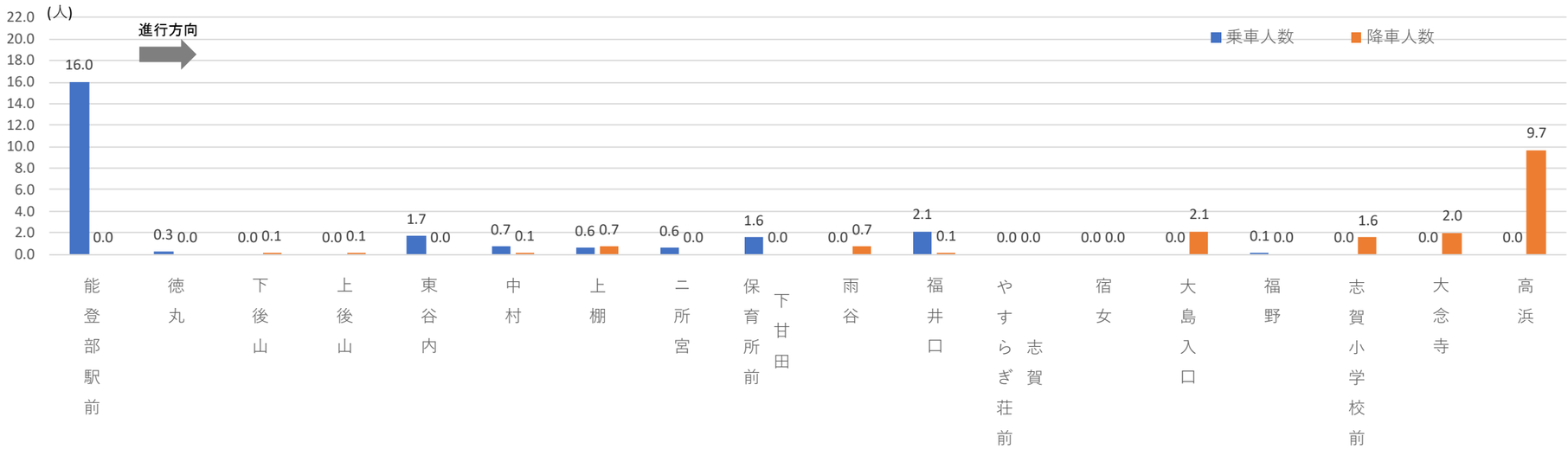
図表 60　羽七東線の日別の利用者数（七尾駅→羽咋駅）



③後山線のバス停別の利用者数（能登部駅前→志賀中学校）

後山線のバス停別の利用者数（能登部駅前→志賀中学校）について着目すると、乗者人数は能登部駅前が 16.0 人、福井口が 2.1 人、東谷内が 1.7 人の順に多い。降者人数は高浜が 9.7 人、大島入口が 2.1 人、大念寺が 2.0 人の順に多い。

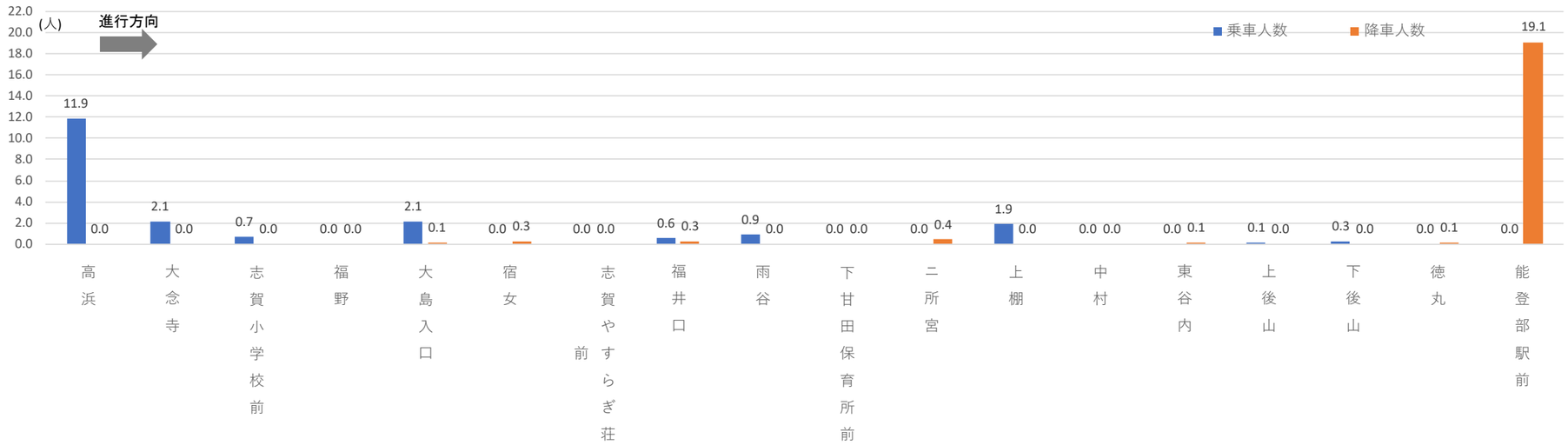
図表 61　後山線のバス停別の乗降者数（能登部駅前→志賀中学校）



④後山線のバス停別の利用者数（高浜→能登部駅前）

後山線のバス停別の利用者数（高浜→能登部駅前）について着目すると、乗者人数は高浜が 11.9 人、大島入口が 2.1 人、上棚が 1.9 人の順に多い。降者人数は能登部駅前が 19.1 人、二所宮が 0.4 人、福井口、宿女が 0.3 人の順に多い。

図表 62　後山線のバス停別の乗降者数（高浜→志賀中学校）

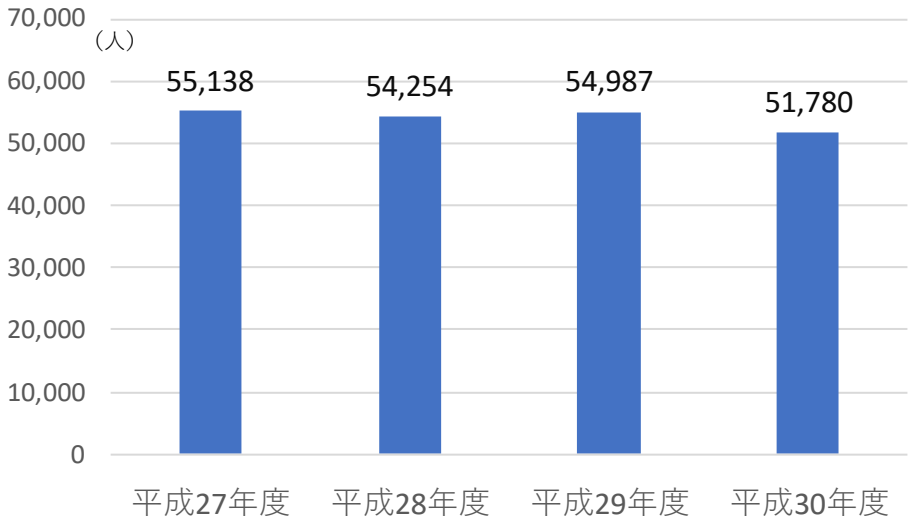


（４）コミュニティバスの年間の乗車人数の推移

①4 コースの年間の乗車人数

コミュニティバス（4 コース合計）の乗車人数について着目すると、平成 27 年度以降、減少傾向にある。特に平成 29 年度から平成 30 年度にかけて 3,000 人以上減少しており、平成 27 年度以降最大の減少幅となっている。

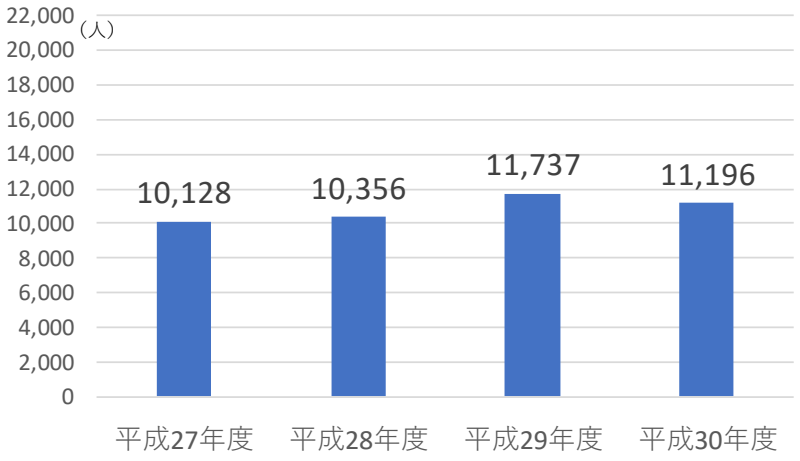
図表 63　コミュニティバス（4 コース）の乗車人数



②とりやコースの年間の乗車人数

コミュニティバス（とりやコース）の乗車人数について着目すると、平成 27 年度から平成 29 年度まで 3 年連続で増加していたが、平成 30 年度にかけて利用者数は減少した。

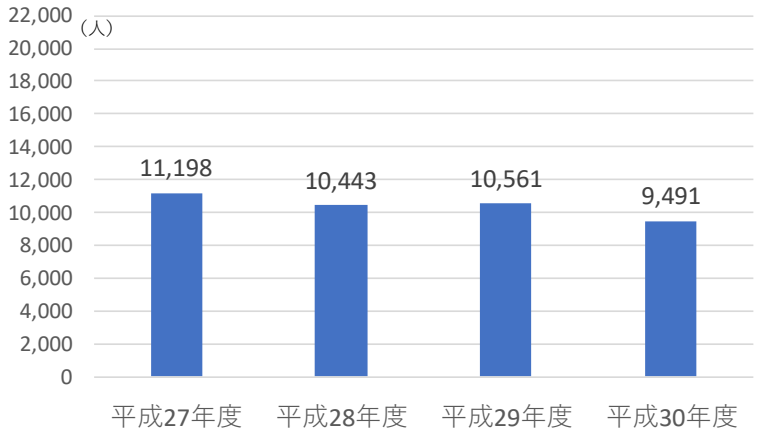
図表 64　コミュニティバス（とりやコース）の乗車人数



③ろくせいコースの年間乗車人数

コミュニティバス（ろくせいコース）の乗車人数について着目すると、平成 27 年度以降減少傾向にある。特に平成 29 年度から平成 30 年度にかけて 1,000 人以上減少しており、平成 27 年度以降最大の減少幅となっている。

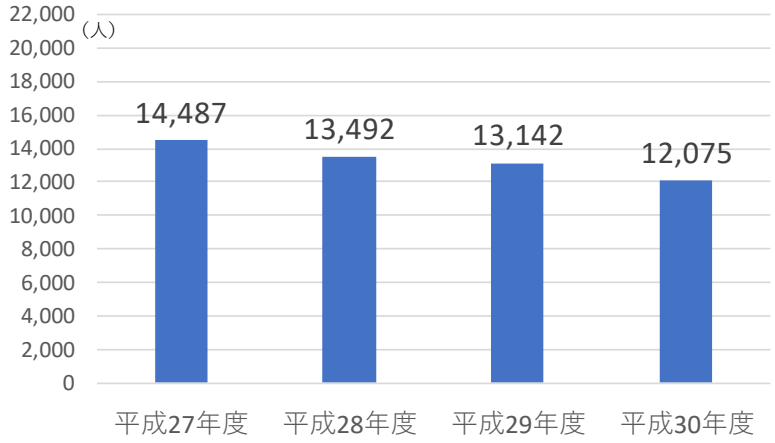
図表 65 コミュニティバス（ろくせいコース）の乗車人数



④みおやコースの年間の乗車人数

コミュニティバス（みおやコース）の乗車人数について着目すると、平成 27 年度以降減少傾向にある。特に平成 29 年度から平成 30 年度にかけて 1,000 人以上減少しており、平成 27 年度以降最大の減少幅となっている。

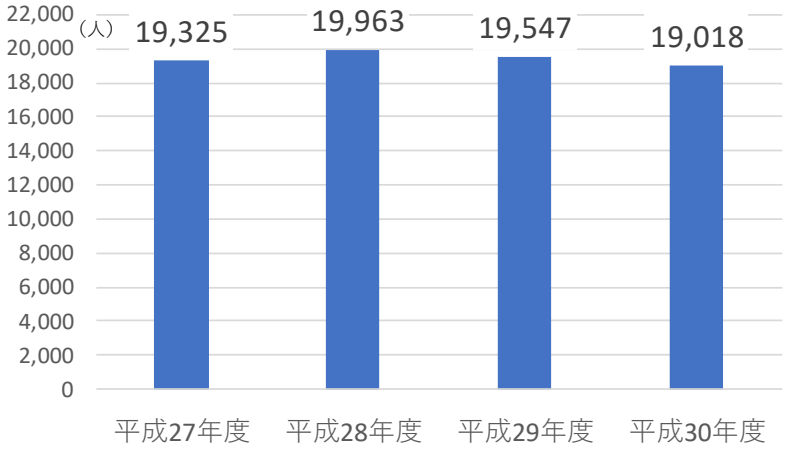
図表 66　コミュニティバス（みおやコース）の乗車人数



⑤こしじコースの年間の乗車人数

コミュニティバス（こしじコース）の乗車人数について着目すると、平成 28 年度以降は減少傾向が続いている。一方、こしじコースは全コースの中で最も乗車人数が多くなっている。

図表 67　コミュニティバス（こしじコース）の乗車人数

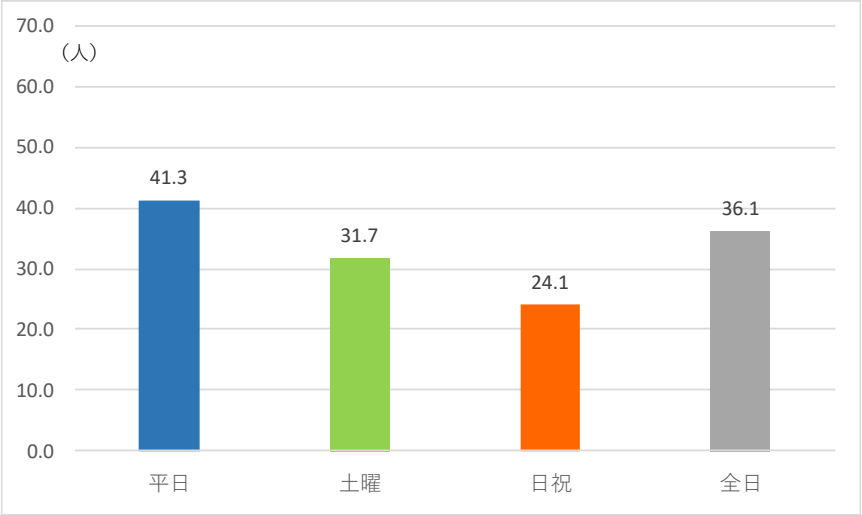


（５）コミュニティバスの日別の利用者数（平成 30 年度利用者数より算出）

①とりやコースの日別の利用者数

便別の利用者数（とりやコース）について着目すると、平日が 41.3 人、土曜は 31.7 人、日祝は 24.7 人となっている。全日では 36.1 人となっている。

図表 68　とりやコースの日別の利用者数



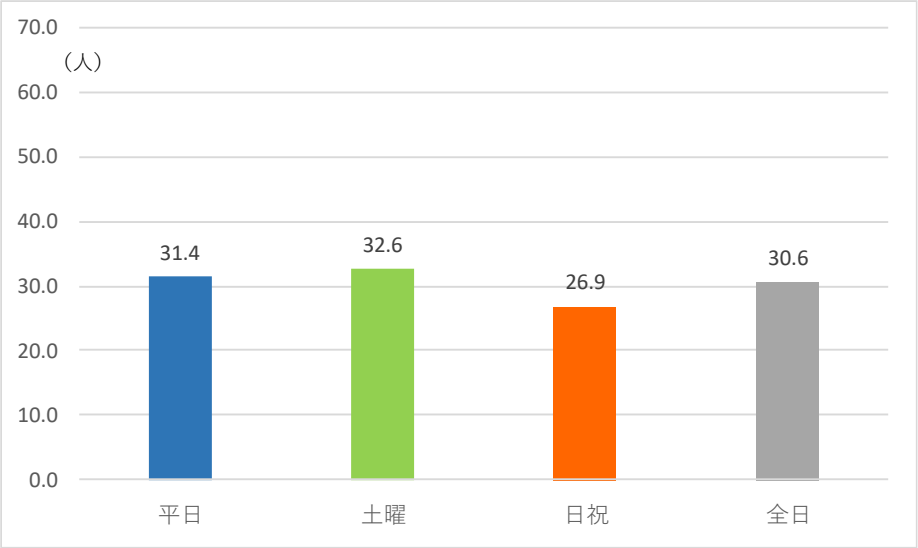
※平日：月～金曜日（木曜日はコミュニティバスの運休日）　休日：土・日・祝日

②ろくせいコース日別の利用者数

便別の利用者数（ろくせいコース）について着目すると、平日が 31.4 人、土曜が 32.6 人、日祝が 26.9 人となっている。全日では 30.6 人となっている。

なお、ろくせいコースのみ、土曜の平均利用者数が平日を上回っている。

図表 69　ろくせいコースの日別の利用者数

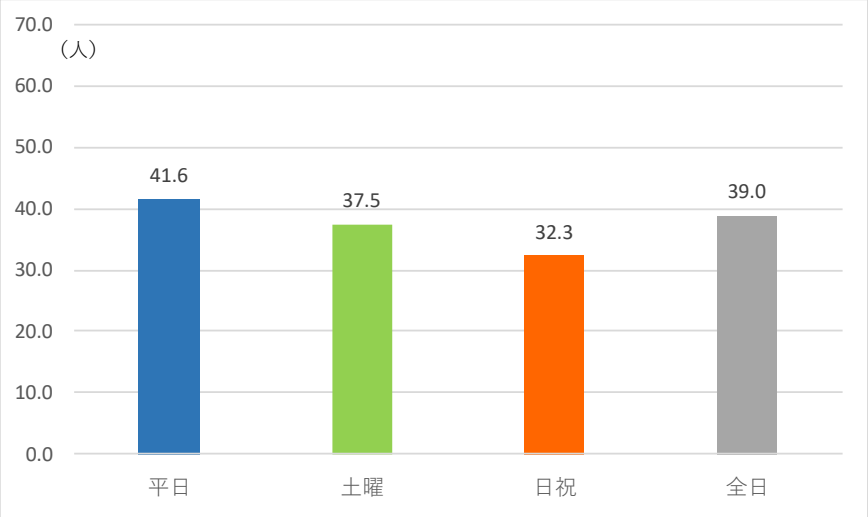


※平日：月～金曜日（木曜日はコミュニティバスの運休日）　休日：土・日・祝日

③みおやコース日別の利用者数

便別の利用者数（みおやコース）について着目すると、平日が 41.6 人、土曜が 37.5 人、日祝が 32.3 人となっている。全日では 39.0 人となっている。

図表 70　みおやコースの日別の利用者数

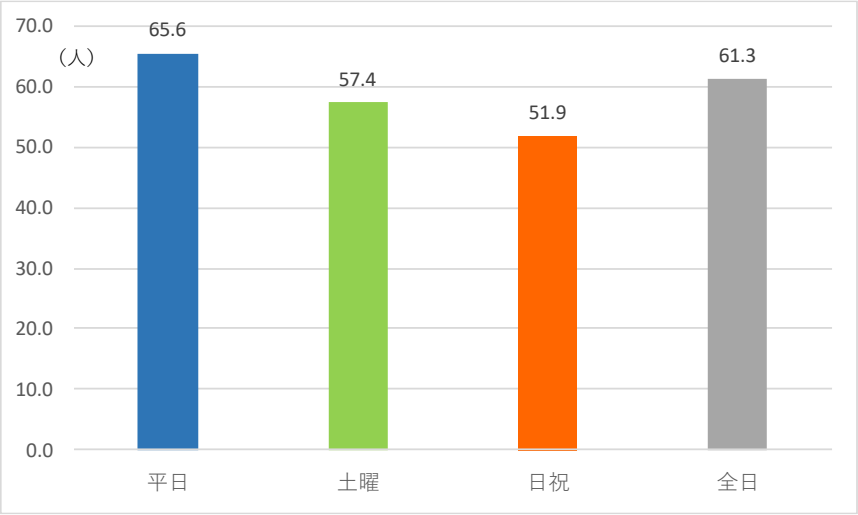


※平日：月～金曜日（木曜日はコミュニティバスの運休日）　休日：土・日・祝日

④こしじコース日別の利用者数

便別の利用者数（こしじコース）について着目すると、平日が 65.6 人、土曜が 57.4 人、日祝が 51.9 人となっている。全日では 61.3 人となっている。

図表 71　こしじコースの日別の利用者数



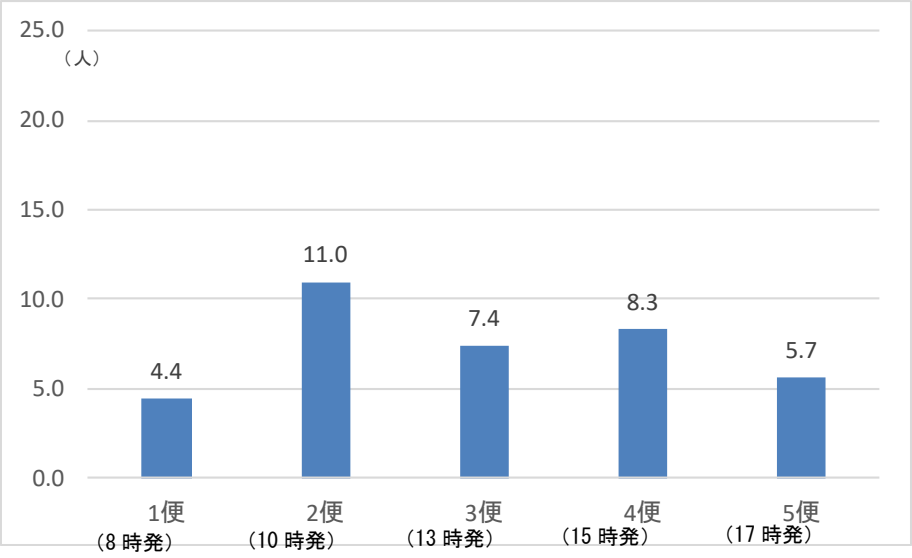
※平日：月～金曜日（木曜日はコミュニティバスの運休日）　休日：土・日・祝日

（６）コミュニティバスの便別の利用者数

①とりやコースの便別の利用者数

とりやコースの便別の利用者数について着目すると、2 便が 11.0 人、4 便が 8.3 人、3 便が 7.4 人の順に多い。

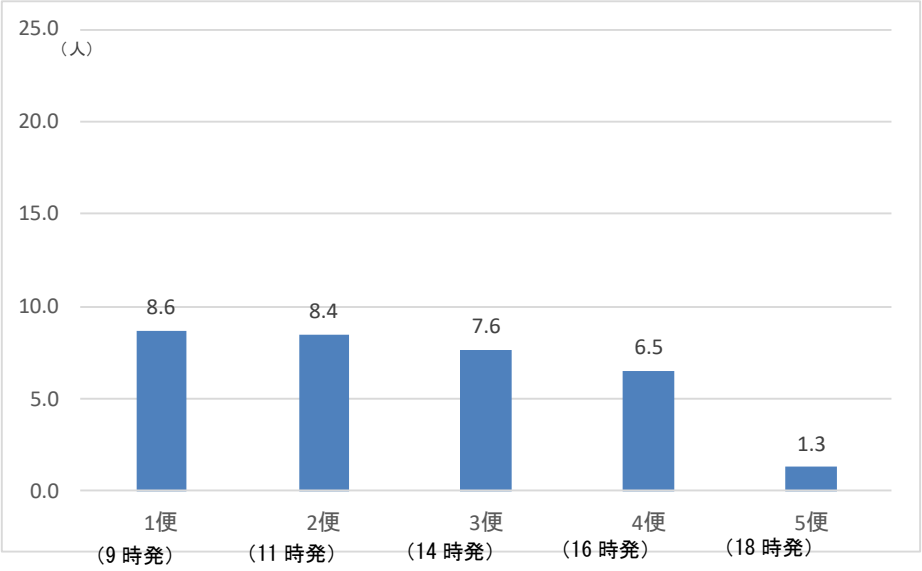
図表 72　とりやコースの便別の利用者数



②ろくせいコースの便別の利用者数

ろくせいコースの便別の利用者数について着目すると、1 便が 8.6 人、2 便が 8.4 人、3 便が 7.6 人の順に多い。

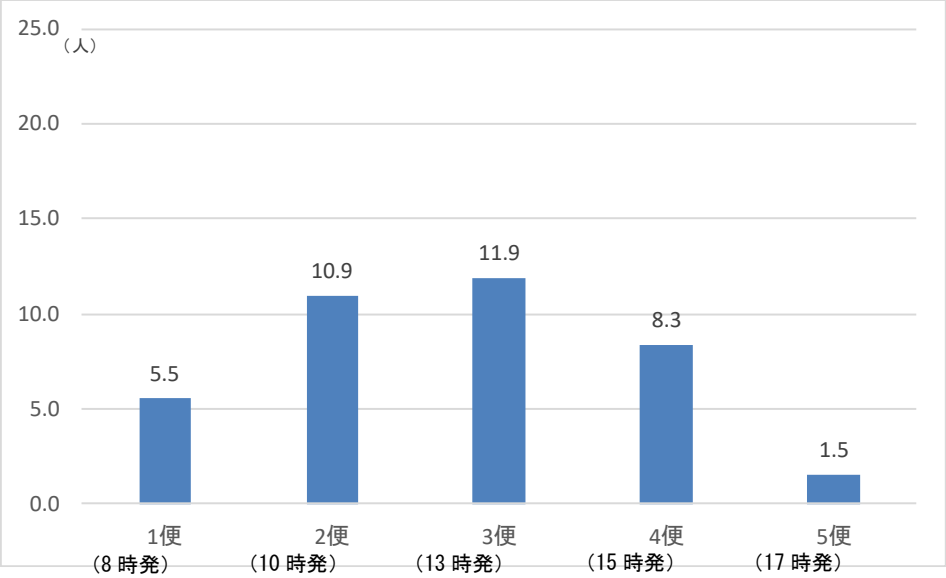
図表 73　ろくせいコースの便別の利用者数



③みおやコースの便別の利用者数

みおやコースの便別の利用者数について着目すると、3 便が 11.9 人、2 便が 10.9 人、4 便が 8.3 人の順に多い。

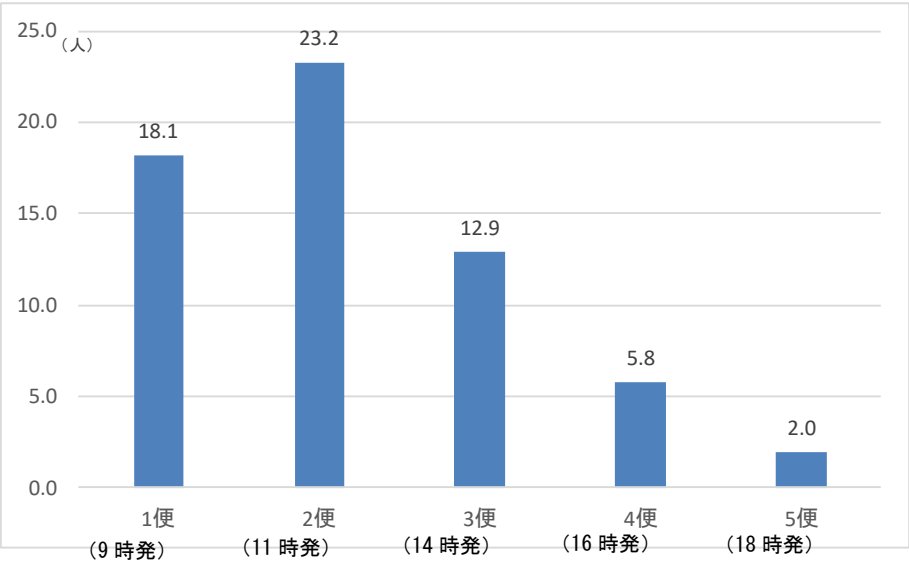
図表 74　みおやコースの便別の利用者数



④こしじコースの便別の利用者数

こしじコースの便別の利用者数について着目すると、2 便が 23.2 人、1 便が 18.1 人、3 便が 12.9 人の順に多い。

図表 75　こしじコースの便別の利用者数

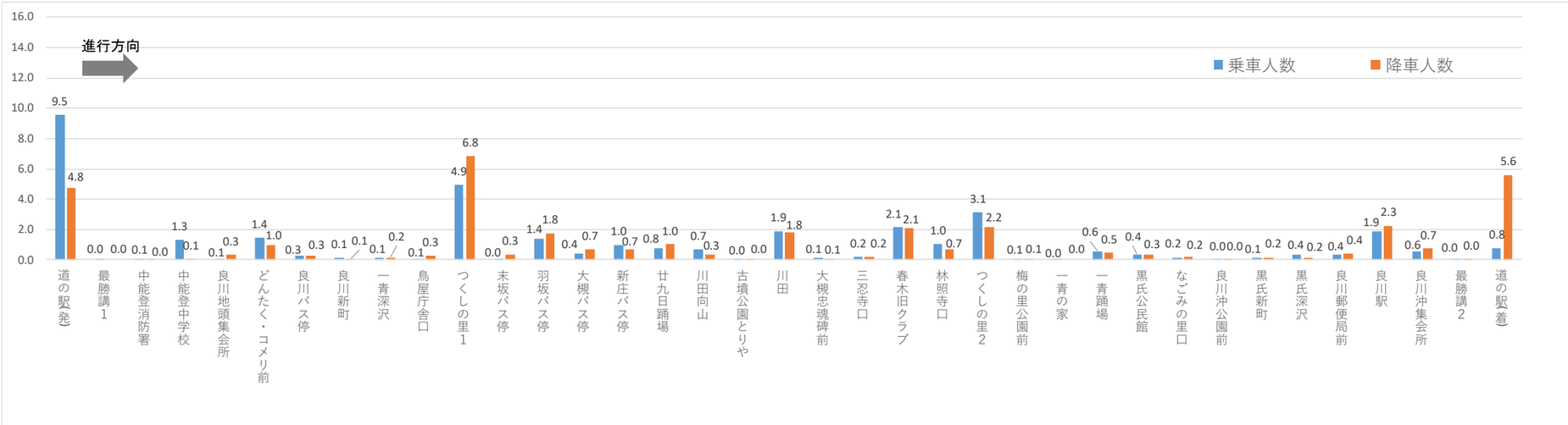


（７）コミュニティバスのバス停別の利用者数

①とりやコースのバス停別の利用者数（全日）

とりやコースのバス停別の利用者数について着目すると、乗車人数は道の駅（発）が 9.5 人、つくしの里 1 が 4.9 人、つくしの里 2 が 3.1 人の順に多い。降車人数はつくしの里 1 が 6.8 人、道の駅（着）が 5.6 人、道の駅（発）が 4.8 人の順に多い。

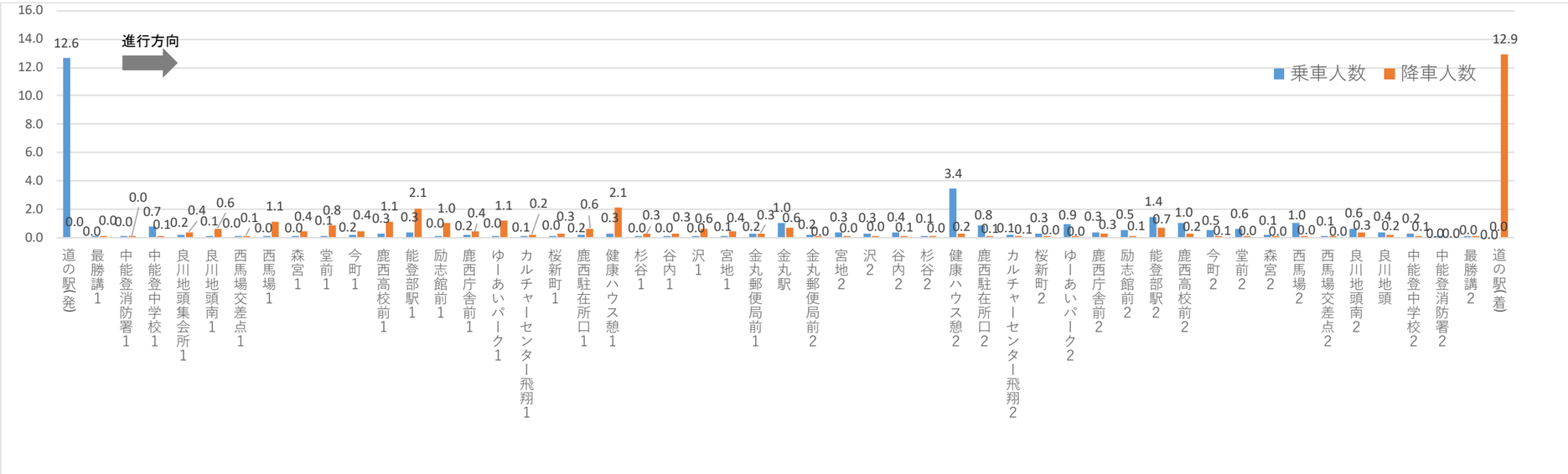
図表 76　とりやコースのバス停別の利用者数



②ろくせいコースのバス停別の利用者数（全日）

ろくせいコースのバス停別の利用者数について着目すると、乗車人数は道の駅（着）が 12.6 人、健康ハウス憩 2 が 3.4 人、能登部駅 2 が 1.4 人の順に多い。降車人数は道の駅（着）が 12.9 人、健康ハウス憩 1 と能登部駅が 2.1 人の順に多い。

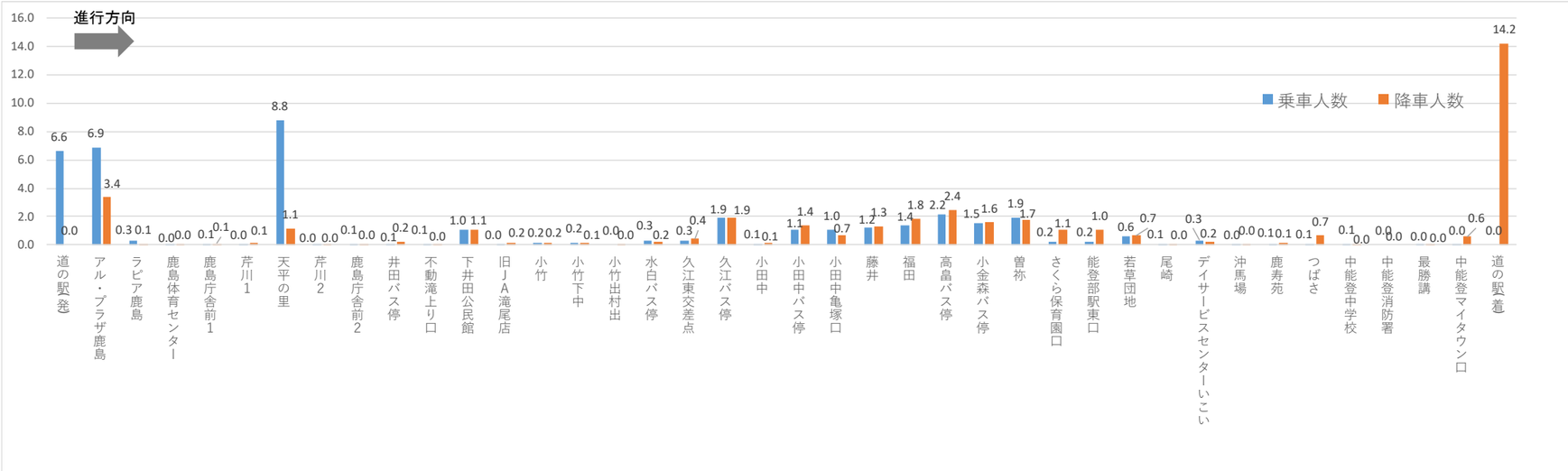
図表 77　ろくせいコースのバス停別の利用者数



③みおやコースのバス停別の利用者数（全日）

みおやコースのバス停別の利用者数について着目すると、乗車人数は天平の里が 8.8 人、アル・プラザ鹿島が 6.9 人、道の駅（発）が 6.6 人の順に多い。降車人数は道の駅（着）が 14.2 人、アル・プラザ鹿島が 3.4 人、高畠バス停が 2.4 人の順に多い。

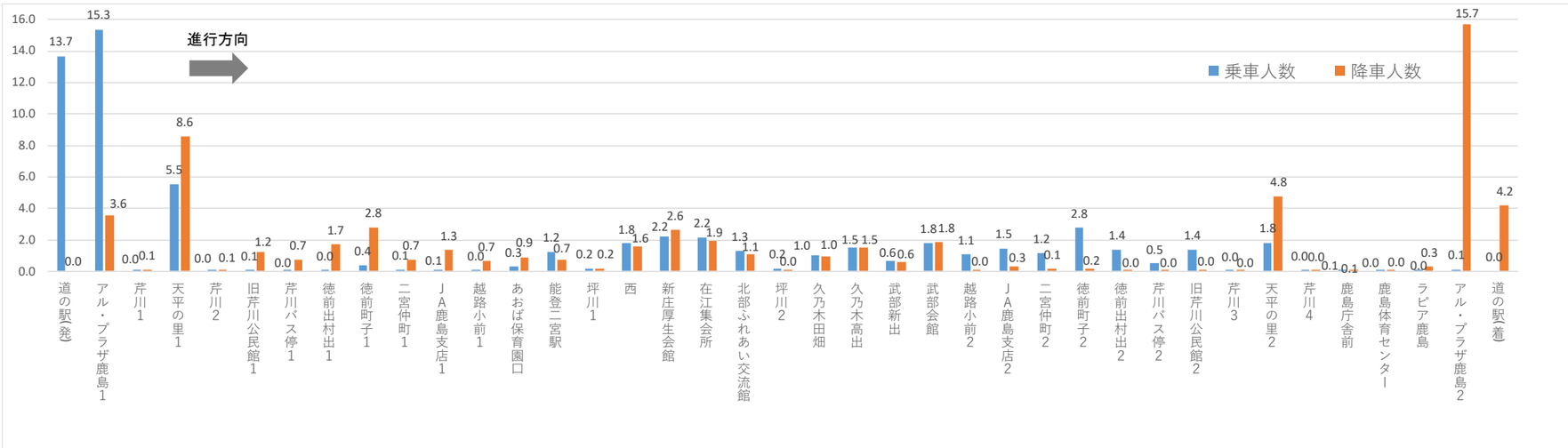
図表 78　みおやコースのバス停別の利用者数



④こしじコースのバス停別の利用者数（全日）

こしじコースのバス停別の利用者数について着目すると、乗車人数はアル・プラザ鹿島 1 が 15.3 人、道の駅（発）が 13.7 人、天平の里 1 が 5.5 人の順に多い。降車人数はアル・プラザ鹿島 2 が 15.7 人、天平の里 1 が 8.6 人、天平の里 2 が 4.8 人の順に多い。

図表 79　こしじコースのバス停別の乗降人数

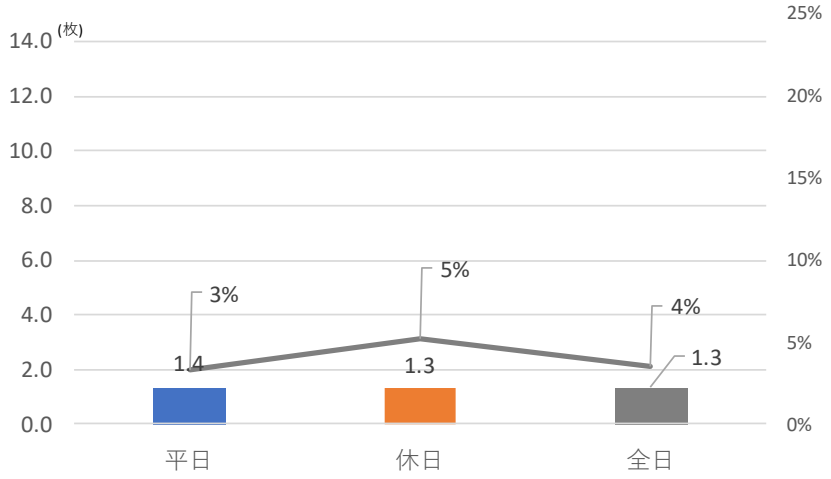


（８）コミュニティバスの乗継券の利用状況

①とりやコースの乗継券の利用状況

とりやコースの乗継券の 1 日あたりの利用枚数について着目すると、平日が 1.4 枚、休日が 1.3 枚、全日が 1.3 枚となっている。とりやコースの乗継券の 1 日あたりの利用率について着目すると、平日が 3%、休日が 5%、全日が 4%となっている。

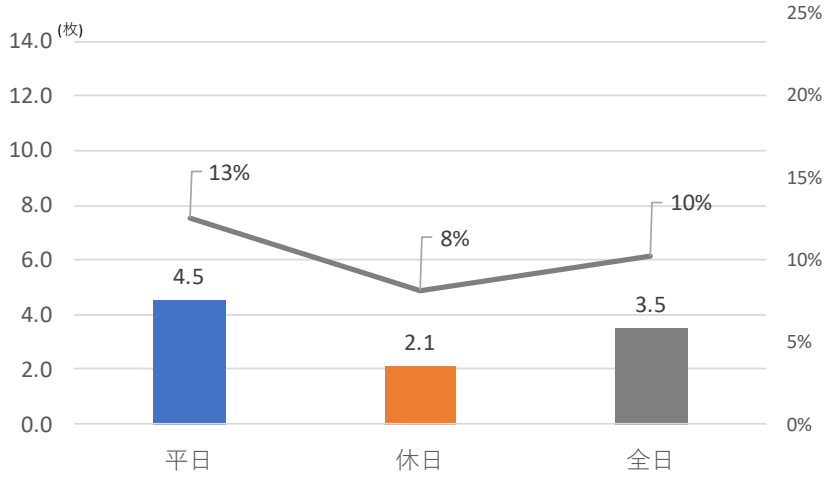
図表 80　とりやコースの乗継券の利用状況



②ろくせいコースの乗継券の利用状況

ろくせいコースの乗継券の 1 日あたりの利用枚数について着目すると、平日が 4.5 枚、休日が 2.1 枚、全日が 3.5 枚となっている。ろくせいコースの乗継券の 1 日あたりの利用率について着目すると、平日が 13%、休日が 8%、全日が 10%となっている。

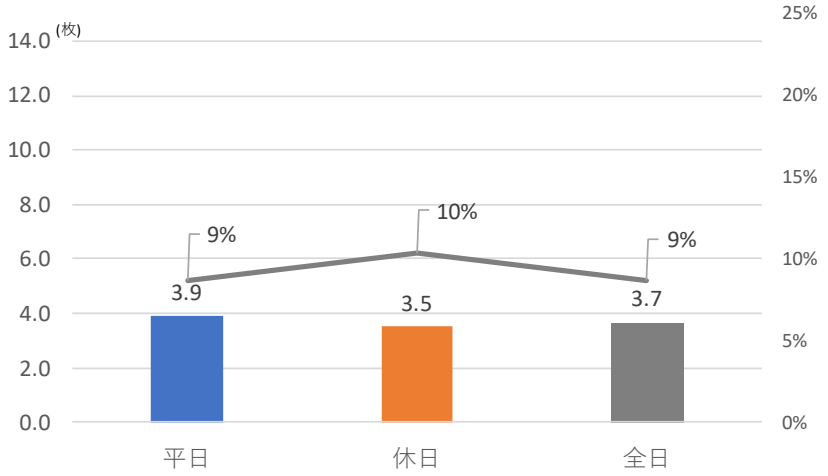
図表 81　ろくせいコースの乗継券の利用状況



③みおやコースの乗継券の利用状況

みおやコースの乗継券の 1 日あたりの利用枚数について着目すると、平日が 3.9 枚、休日が 3.5 枚、全日が 3.7 枚となっている。みおやコースの乗継券の 1 日あたりの利用率について着目すると、平日が 9%、休日が 10%、全日が 9%となっている。

図表 82　みおやコースの乗継券の利用状況

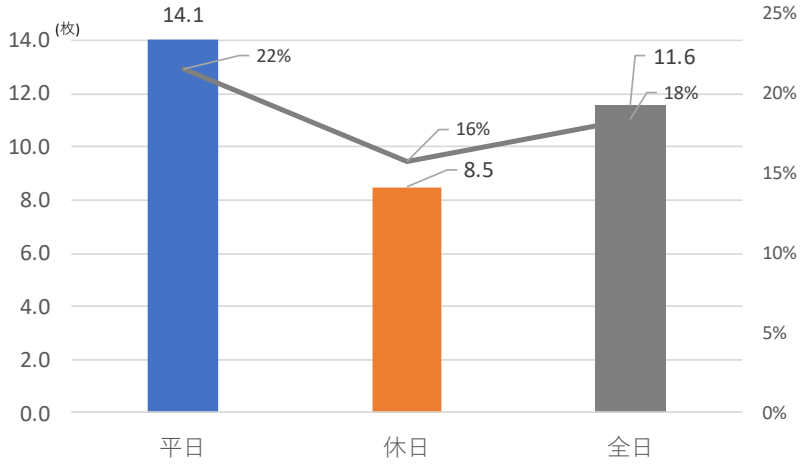


④こしじコースの乗継券の利用状況

こしじコースの乗継券の 1 日あたりの利用枚数について着目すると、平日が 14.1 枚、休日が 8.5 枚、全日が 11.6 枚となっている。こしじコースの乗継券の 1 日あたりの利用率について着目すると、平日が 22%、休日が 16%、全日が 18%となっている。

なお、他の路線に比べてこしじコースでの乗継券の利用が多い。これはろくせいコース、みおやコースからアル・プラザ鹿島や天平の里に行く場合、道の駅でこしじコースに乗り換えるためであると考えられる。

図表 83　こしじコースの乗継券の利用状況



（９）コミュニティバスとデマンドタクシーの収支状況

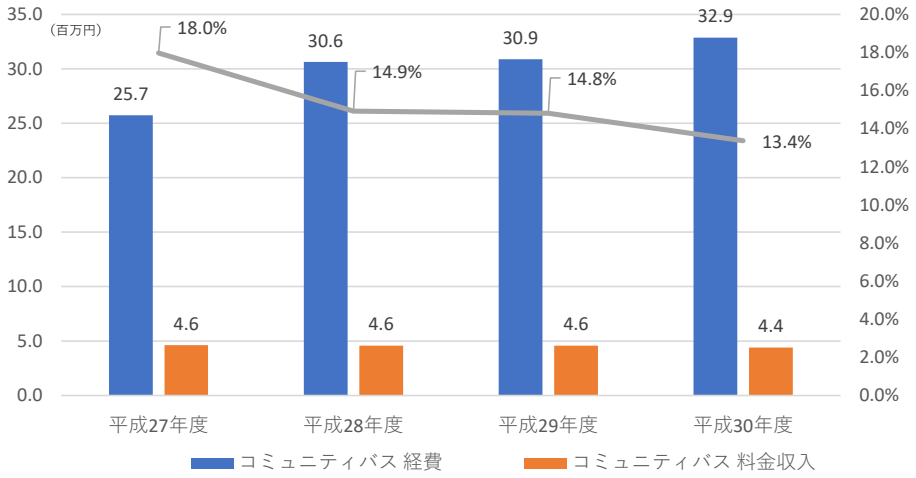
①コミュニティバスの収支状況

コミュニティバスの経費について着目すると、平成 27 年度以降増加傾向にある。特に平成 27 年度から平成 28 年度にかけては、労務管理の強化により他年度に比べて増加幅が大きい。

コミュニティバスの料金収入について着目すると、平成 27 年度から平成 29 年度までは 4.6 百万円で横ばいであったが、平成 30 年度は 4.4 百万円に減少している。

コミュニティバスの収支率について着目すると、平成 27 年度以降低下傾向にある。

図表 84　コミュニティバスの収支状況



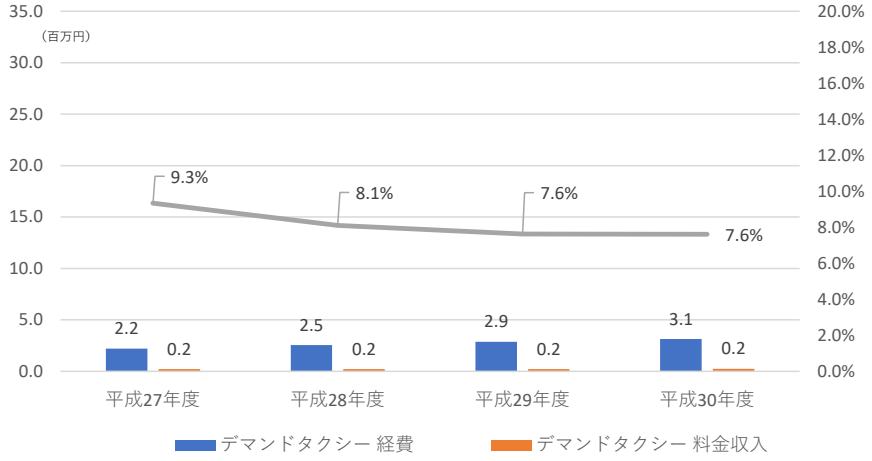
②デマンドタクシーの収支状況

デマンドタクシーの経費について着目すると、平成 27 年度以降増加傾向にある。

デマンドタクシーの料金収入について着目すると、平成 27 年度以降 0.2 百万円と横ばいである。

デマンドタクシーの収支率について着目すると、平成 27 年度は 9.3%であり、以降低下傾向にある。

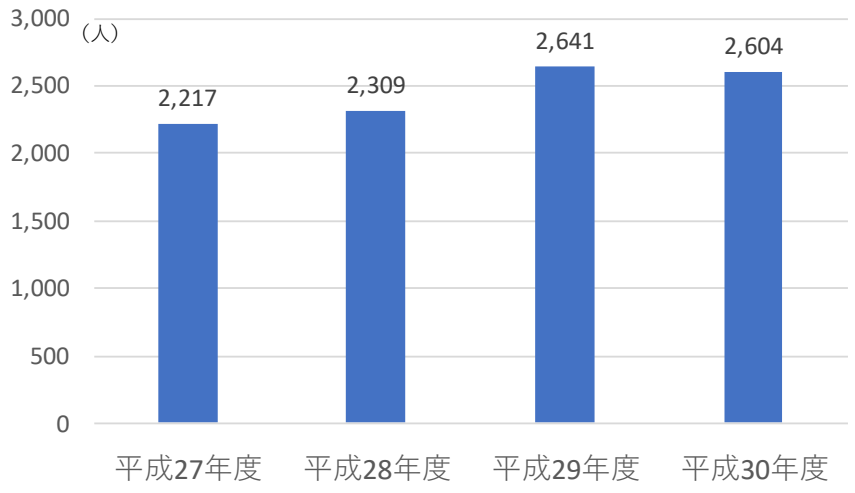
図表 85　デマンドタクシーの収支状況



（１０）デマンドタクシー（瀬戸・花見月コース）の年間乗車人数

デマンドタクシー（瀬戸・花見月コース）の乗車人数について着目すると、平成 27 年度以降増加傾向にあったが、平成 29 年度から平成 30 年度にかけては減少している。

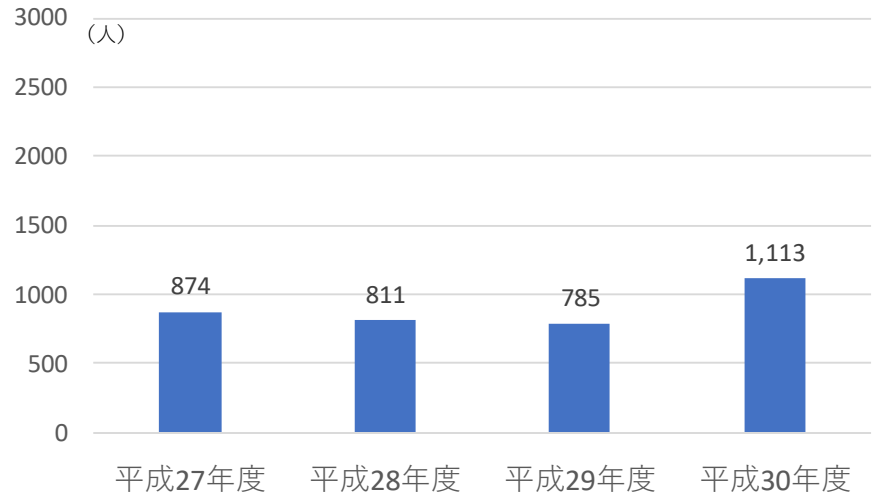
図表 86　デマンドタクシー（瀬戸・花見月コース）の年間乗車人数



（１１）デマンドタクシー（上後山・下後山コース）の年間乗車人数

デマンドタクシー（上後山・下後山コース）の乗車人数について着目すると、平成 27 年度以降減少傾向にあったが、平成 29 年度から平成 30 年度にかけては 300 人以上増加している。

図表 87　デマンドタクシー（上後山・下後山コース）の年間乗車人数

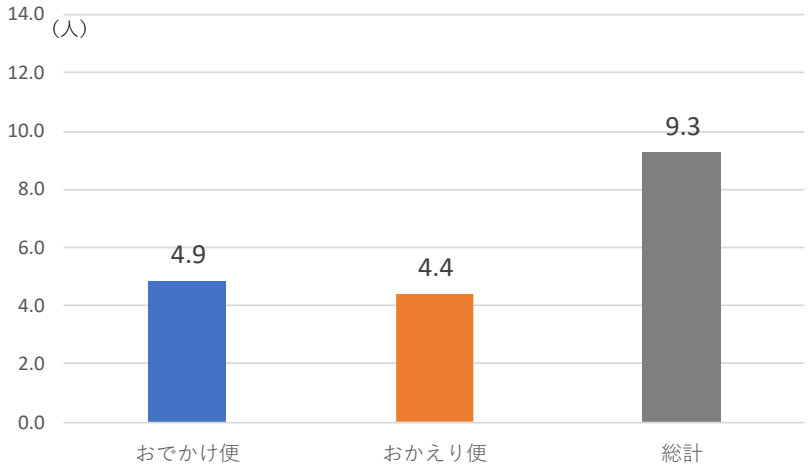


（１２）デマンドタクシー（瀬戸・花見月コース）の利用者数（平成 30 年 10 月分）

①日別の利用者数（全日）

日別の乗車者数（全日）について着目すると、おでかけ便が 4.9 人、おかえり便が 4.4 人となっている。また、総計は 9.3 人となっている。

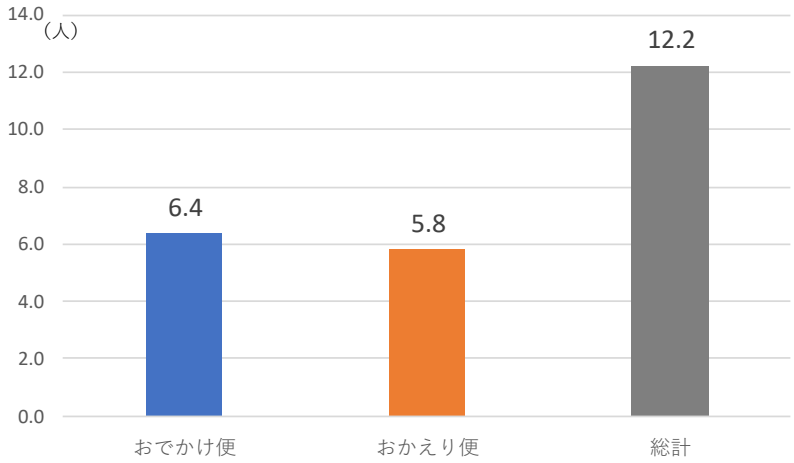
図表 88　デマンドタクシーの日別の乗車者数（全日）



②日別の利用者数（平日）

日別の乗車者数（平日）について着目すると、おでかけ便が 6.4 人、おかえり便が 5.8 人となっている。総計は 12.2 人となっている。

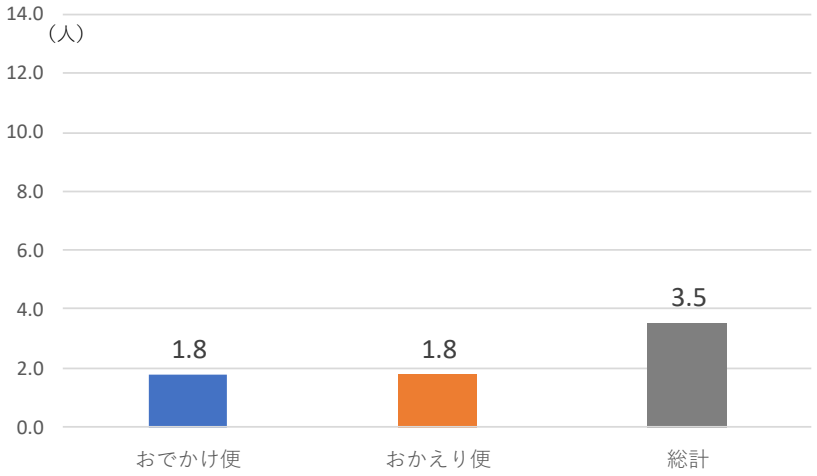
図表 89　デマンドタクシーの日別の乗車者数（平日）



③日別の利用者数（土曜）

土曜の乗車者数について着目すると、おでかけ便が 1.8 人、おかえり便が 1.8 人となっている。総計は 3.5 人となっている。

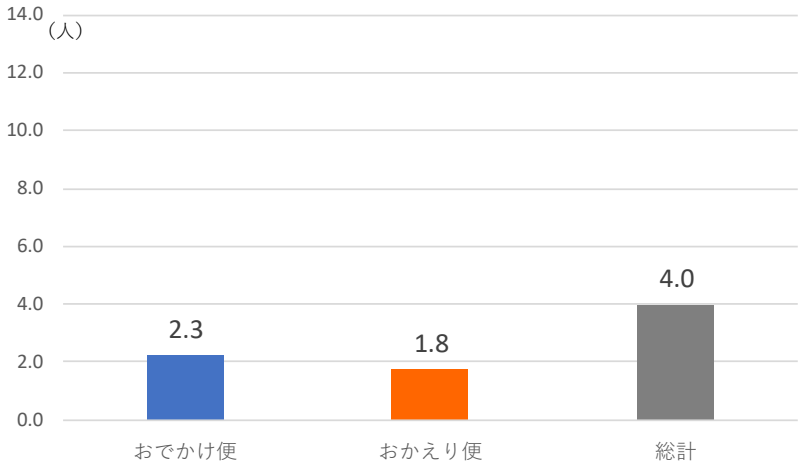
図表 90　デマンドタクシーの日別の乗車者数（土曜）



④日別の利用者数（日祝）

日祝の乗車者数について着目すると、おでかけ便が 2.3 人、おかえり便が 1.8 人となっている。総計は 4.0 人の利用となっている。

図表 91　デマンドタクシーの日別の乗車者数（日祝）

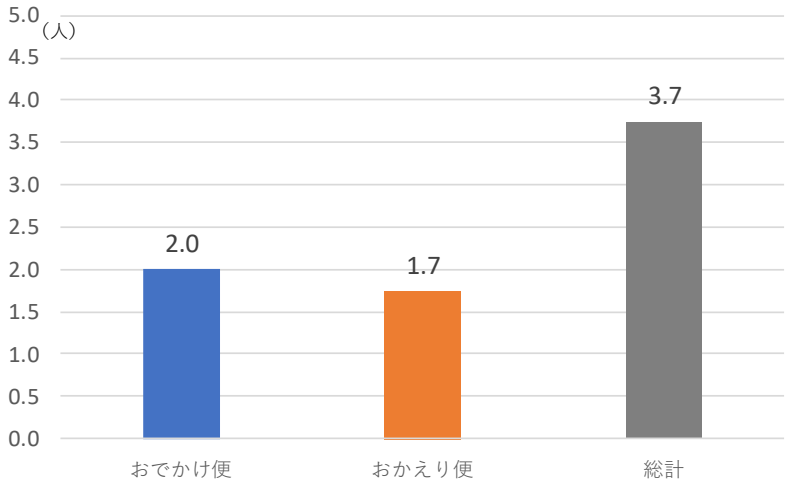


（１３）デマンドタクシー（上後山・下後山コース）の利用者数（平成 30 年 10 月分）

①日別の利用者数（全日）

日別の乗車者数（全日）について着目すると、おでかけ便が 2.0 人、おかえり便が 1.7 人となっている。また総計は 3.7 人となっている。

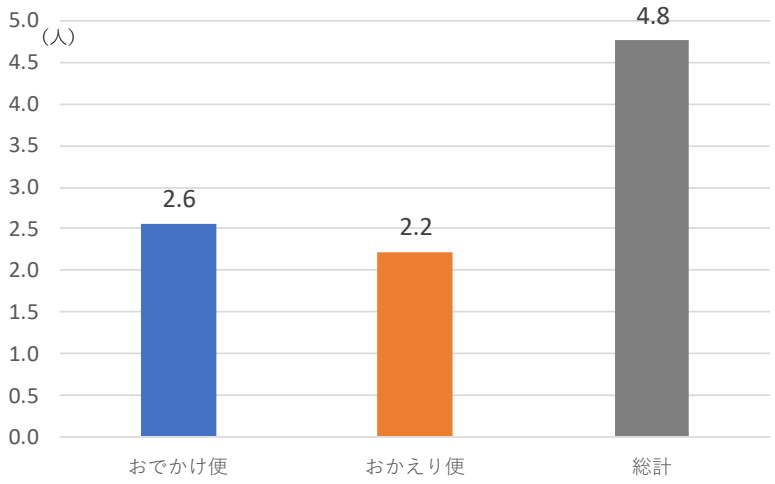
図表 92　デマンドタクシーの日別の乗車者数（全日）



②日別の利用者数（平日）

日別の乗車者数（平日）について着目すると、おでかけ便が 2.6 人、おかえり便が 2.2 人となっている。また、総計は 4.8 人となっている。

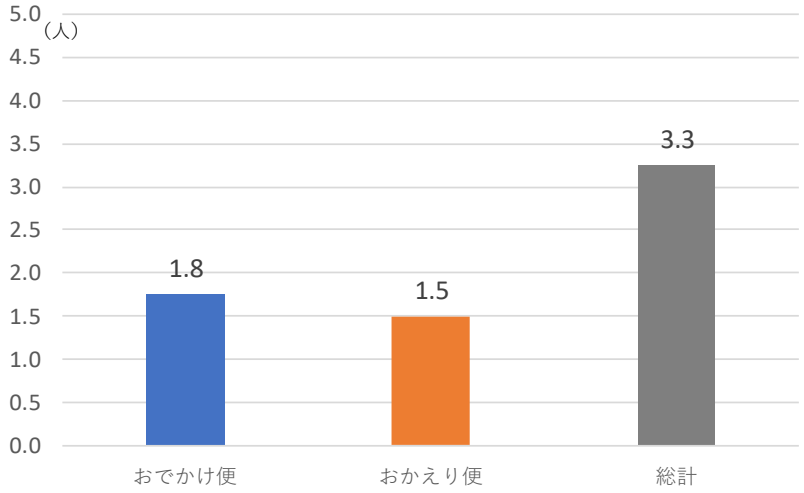
図表 93　デマンドタクシーの日別の乗車者数（平日）



③日別の利用者数（土曜）

土曜の乗車者数について着目すると、おでかけ便が 1.8 人、おかえり便が 1.5 人となっている。また、総計は 3.3 人となっている。

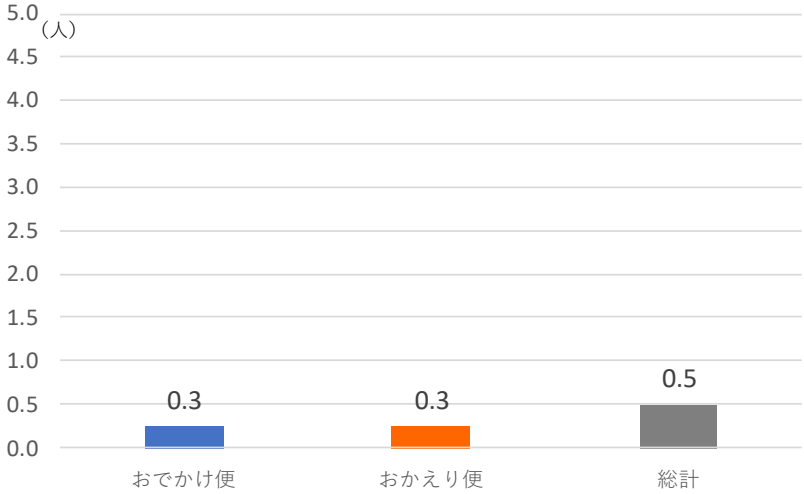
図表 94　デマンドタクシーの日別の乗車者数（土曜）



④日別の利用者数（日祝）

日祝の乗車者数について着目すると、おでかけ便が 0.3 人、おかえり便が 0.3 人となっている。また、総計は 0.5 人となっている。

図表 95　デマンドタクシーの日別の乗車者数（日祝）

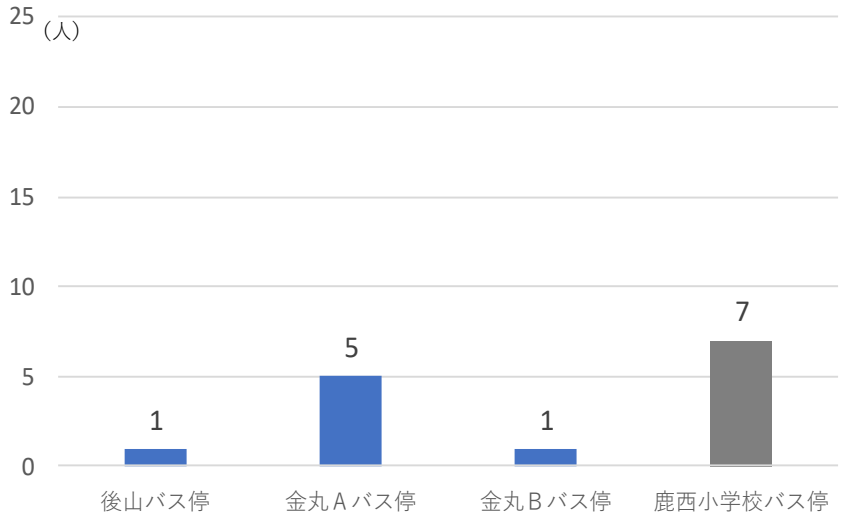


（１４）鹿西小学校のスクールバスの利用者数

①鹿西小学校のスクールバス（登校１便目　後山－鹿西小学校）

鹿西小学校のスクールバスの登校１便目では、後山バス停で１人、金丸Ａバス停で５人、金丸Ｂバス停で１人、計７人が鹿西小学校まで利用している。

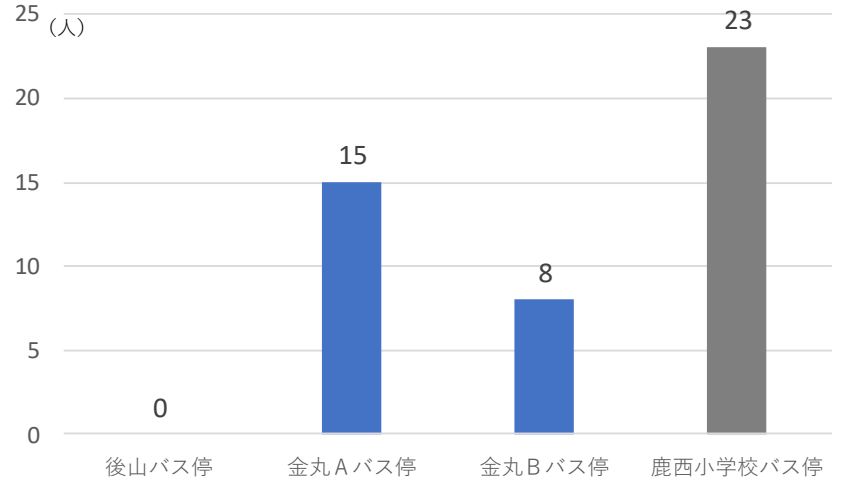
図表 96　鹿西小学校のスクールバス（登校１便目）



②鹿西小学校のスクールバス（登校２便目　後山－鹿西小学校）

鹿西小学校のスクールバスの登校２便目では、後山バス停では利用者なし、金丸Ａバス停で 15 人、金丸Ｂバス停で８人、計 23 人が鹿西小学校まで利用している。

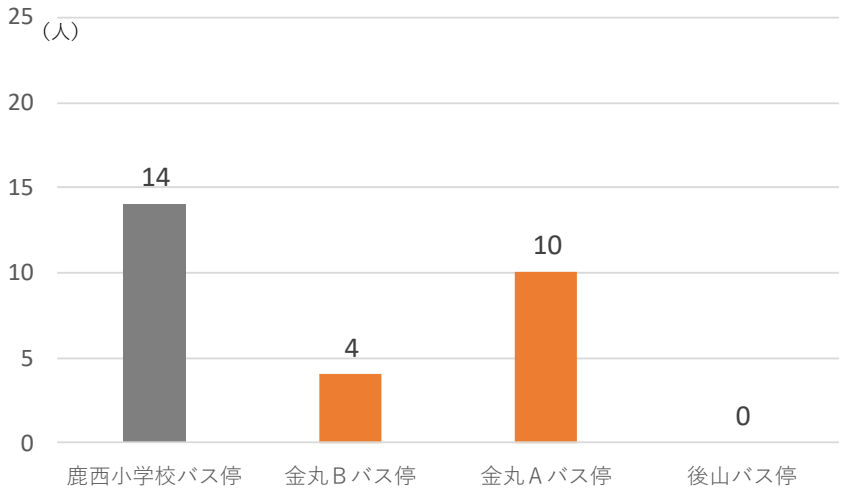
図表 97　鹿西小学校のスクールバス（登校２便目）



③鹿西小学校のスクールバス（下校１便目　鹿西小学校－後山）

鹿西小学校のスクールバスの下校 1 便目では、鹿西小学校で 14 人が乗車し、金丸 B バス停で 4 人、金丸 A バス停で 10 人が降車している。後山バス停での降車はなかった。

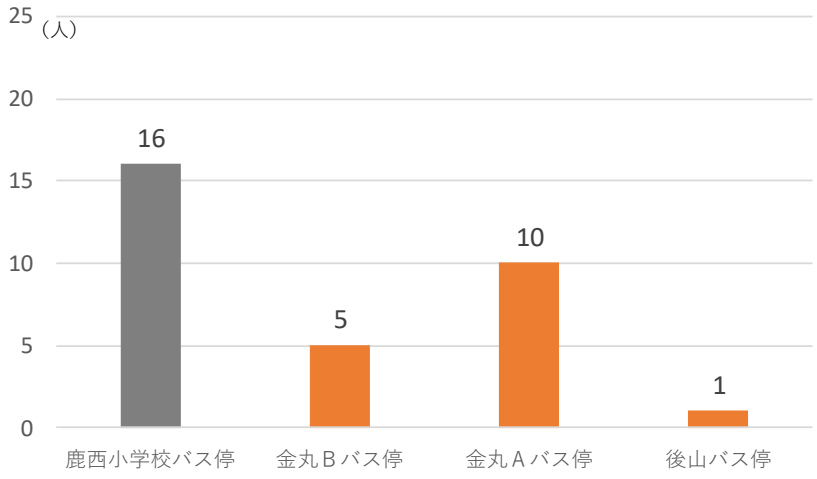
図表 98　鹿西小学校のスクールバス（下校 1 便目）



④鹿西小学校のスクールバス（下校２便目　鹿西小学校－後山）

鹿西小学校のスクールバスの下校 2 便目では、鹿西小学校で 16 人が乗車し、金丸 B バス停で 5 人、金丸 A バス停で 10 人、後山バス停で 1 人が降車している。

図表 99　鹿西小学校のスクールバス（下校 2 便目）

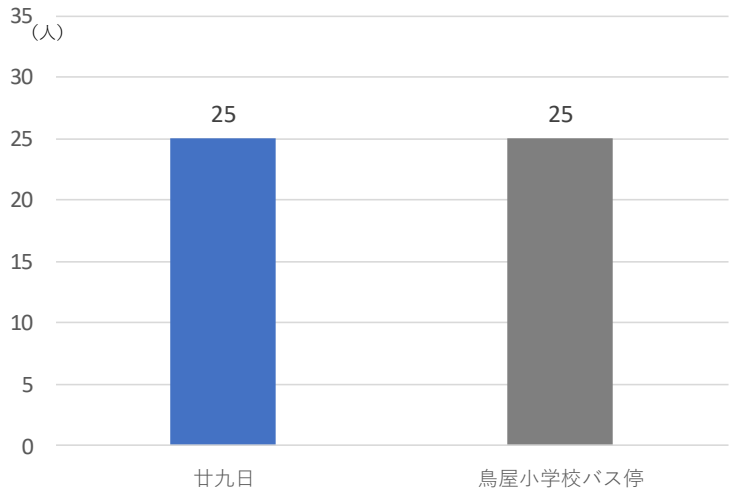


（１５）鳥屋小学校と中能登中学校のスクールバスの乗車人数

①鳥屋小学校のスクールバス（登校　廿九日－鳥屋小学校）

鳥屋小学校のスクールバス廿九日発便については、25 人が利用している。

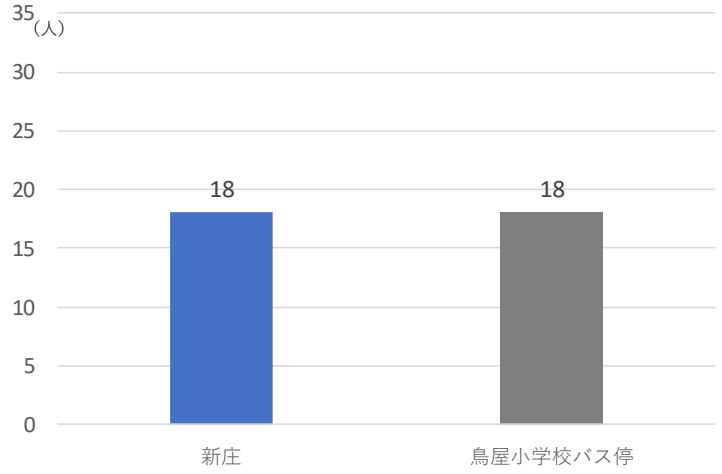
図表 100　鳥屋小学校のスクールバス（登校　廿九日－鳥屋小学校）



②鳥屋小学校のスクールバス（登校　新庄－鳥屋小学校）

鳥屋小学校のスクールバス新庄発鳥屋小学校行きの便については、18 人が利用している。

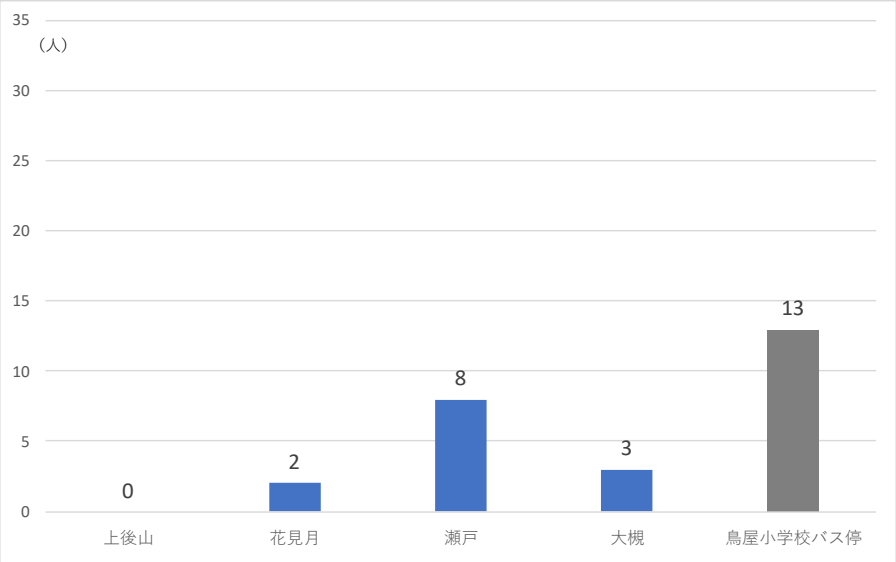
図表 101　鳥屋小学校のスクールバス（登校　新庄－鳥屋小学校）



③鳥屋小学校のスクールバス（登校　上後山－鳥屋小学校）

鳥屋小学校のスクールバス上後山発便では、花見月バス停で 2 人、瀬戸バス停で 8 人、大槻バス停で 3 人、計 13 人が鳥屋小学校まで利用している。上後山バス停での利用はない。

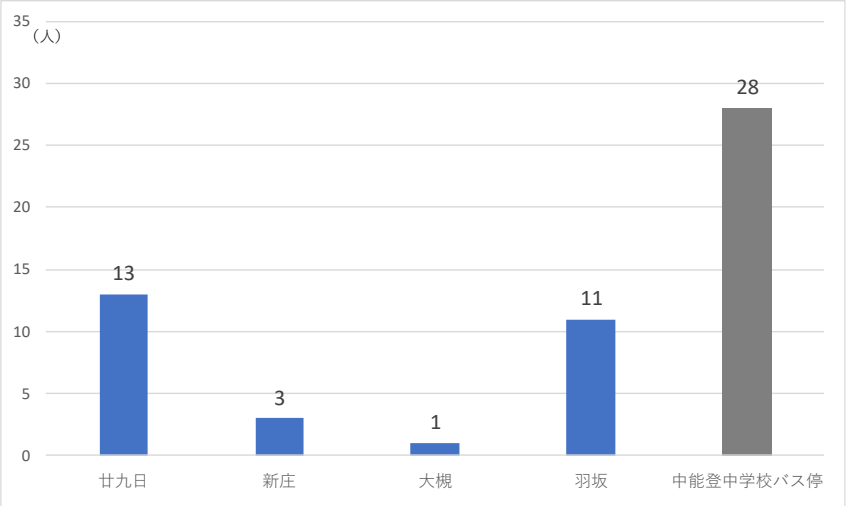
図表 102　鳥屋小学校のスクールバス（登校　上後山－鳥屋小学校）



④中能登中学校のスクールバス（登校　廿九日－中能登中学校）

中能登中学校のスクールバス廿九日発便では、廿九日バス停で 13 人、新庄バス停で 3 人、大槻バス停で 1 人、羽坂バス停で 11 人、計 28 人が中能登中学校まで利用している。

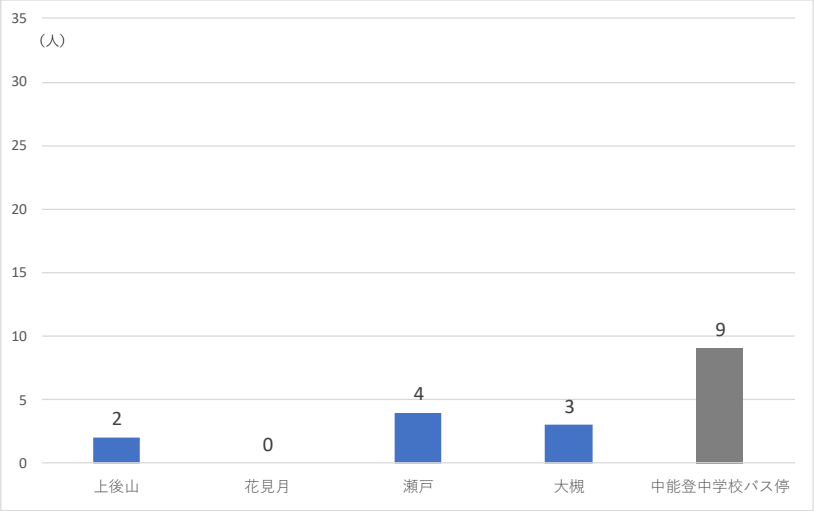
図表 103　中能登中学校のスクールバス（登校　廿九日－中能登中学校）



⑤中能登中学校のスクールバス（登校　上後山－中能登中学校）

中能登中学校のスクールバス上後山発便では、上後山バス停で 2 人、瀬戸バス停で 4 人、大槻バス停で 3 人、計 9 人が中能登中学校まで利用している。花見月バス停の利用はない。

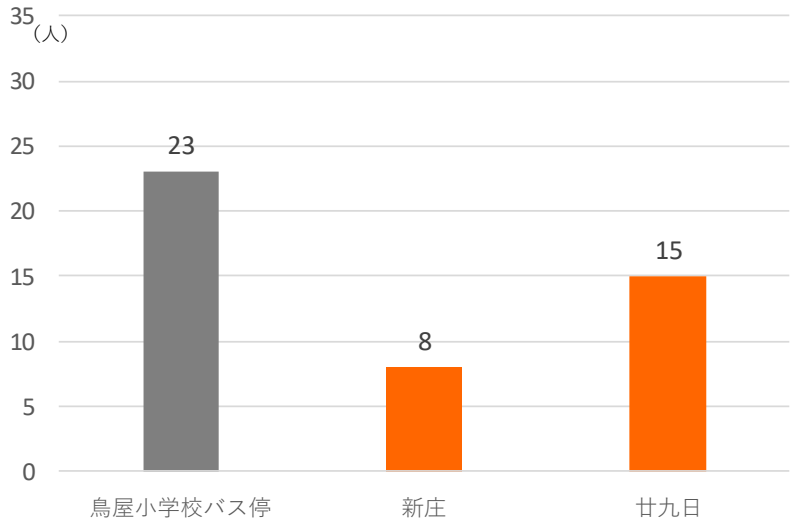
図表 104　中能登中学校のスクールバス（登校　上後山－中能登中学校）



⑥鳥屋小学校のスクールバス（下校１便目　廿九日－鳥屋小学校）

鳥屋小学校のスクールバス下校 1 便目については、鳥屋小学校バス停で 23 人が乗車し、新庄バス停で 8 人、廿九日バス停で 15 人が降車している。

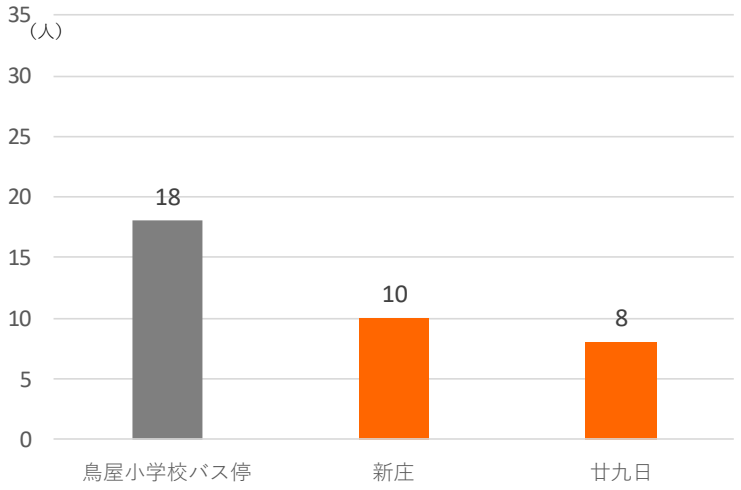
図表 105　鳥屋小学校のスクールバス（下校 1 便目）



⑦鳥屋小学校のスクールバス（下校 2 便目　廿九日－鳥屋小学校）

鳥屋小学校のスクールバス下校 2 便目については、鳥屋小学校バス停で 18 人が乗車し、新庄バス停で 10 人、廿九日バス停で 8 人が降車している。

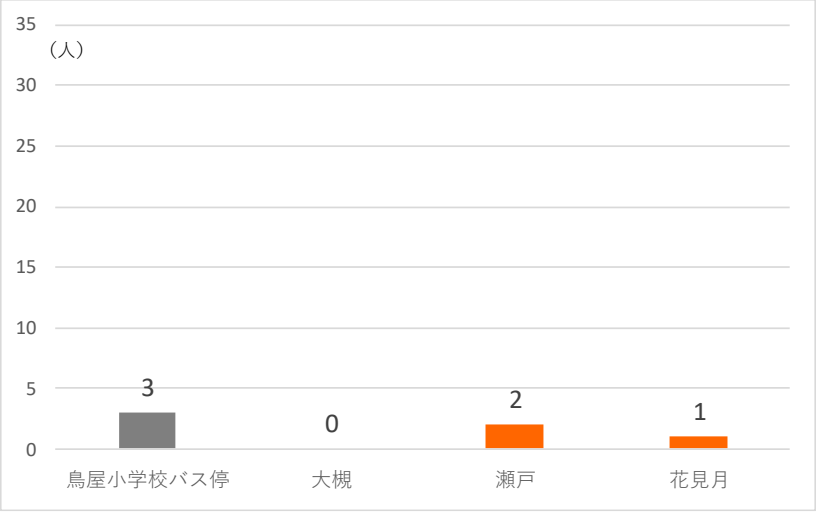
図表 106　鳥屋小学校のスクールバス（下校 2 便目）



⑧鳥屋小学校のスクールバス（下校１便目　花見－鳥屋小学校）

鳥屋小学校のスクールバス花見月バス停着便 1 便目については、鳥屋小学校バス停で 3 人が乗車し、瀬戸バス停で 2 人、花見月バス停で 1 人が降車している。大槻バス停の利用はない。

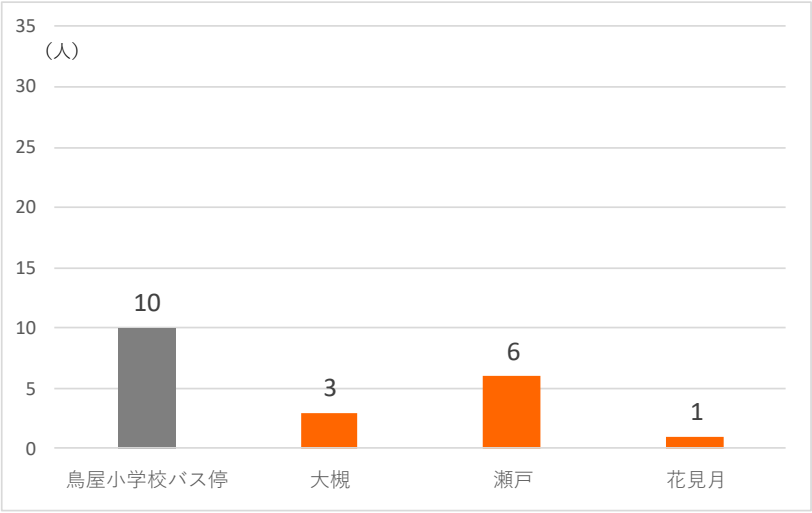
図表 107　鳥屋小学校のスクールバス（下校 1 便目）



⑨鳥屋小学校のスクールバス（下校 2 便目　花見－鳥屋小学校）

鳥屋小学校のスクールバス花見月バス停着便 2 便目については、鳥屋小学校バス停で 10 人が乗車し、大槻バス停で 3 人、瀬戸バス停で 6 人、花見月バス停で 1 人が降車している。

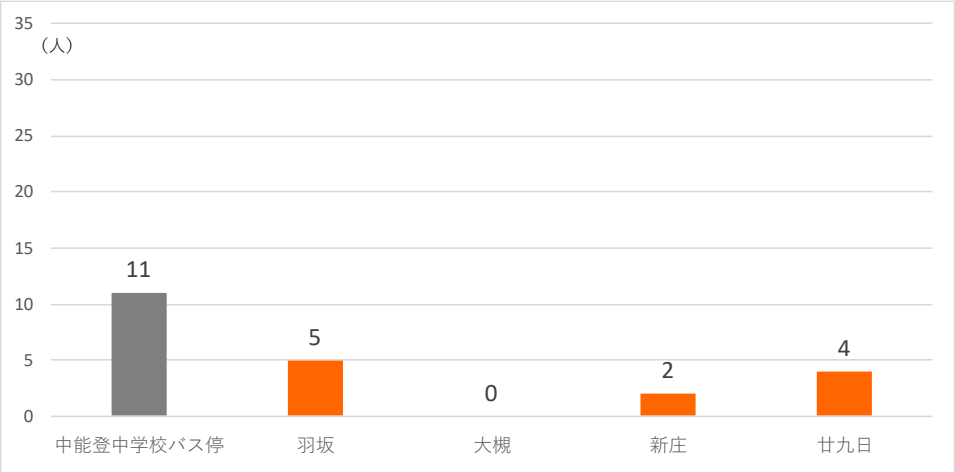
図表 108　鳥屋小学校のスクールバス（下校高 2 便目）



⑩中能登中学校のスクールバス（下校１便目　中能登中学校－廿九日）

中能登中学校のスクールバス下校 1 便目については、中能登中学校バス停で 11 人が乗車し、羽坂バス停で 5 人、新庄バス停で 2 人、廿九日バス停で 4 人が降車している。大槻バス停の利用はなかった。

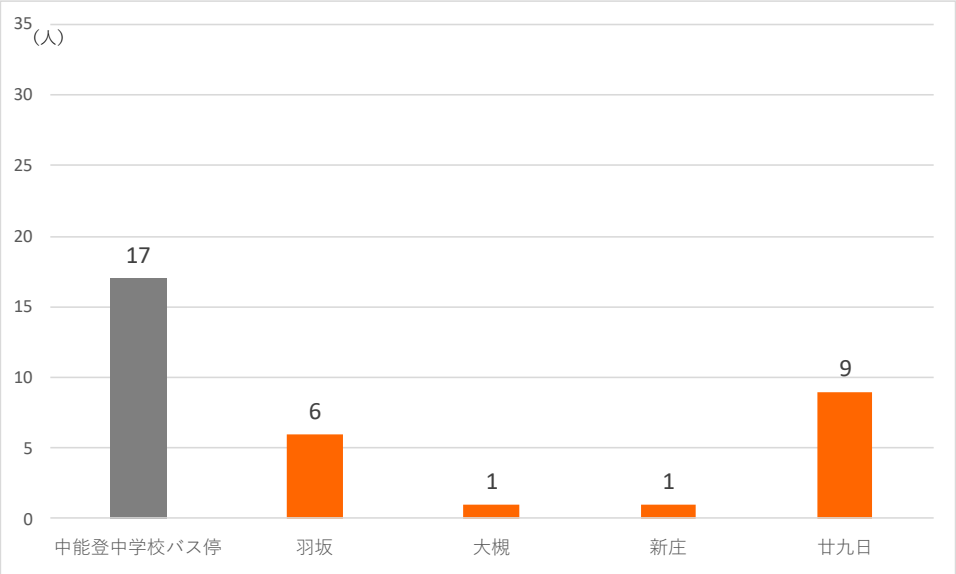
図表 109　中能登中学校のスクールバス（下校 1 便目）



⑪中能登中学校のスクールバス（下校２便目　中能登中学校－廿九日）

中能登中学校のスクールバス下校 2 便目については、中能登中学校バス停で 17 人が乗車し、羽坂バス停で 6 人、大槻バス停で 1 人、新庄バス停で 1 人、廿九日バス停で 9 人が降車している。

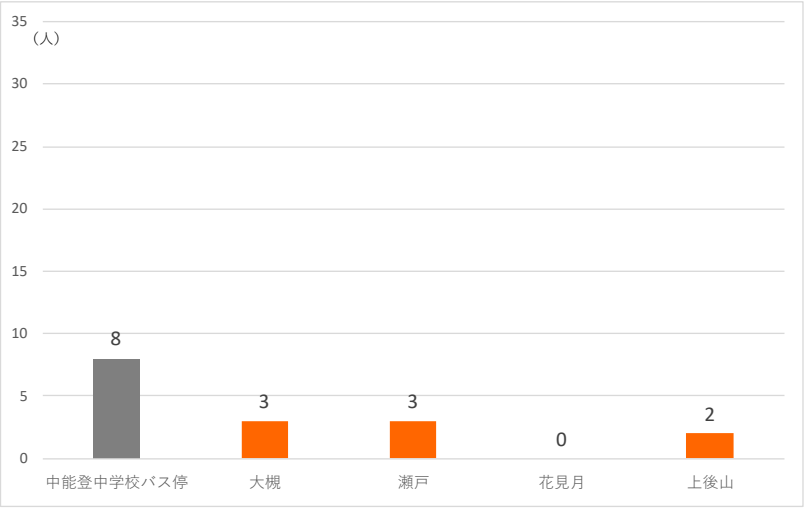
図表 110　中能登中学校のスクールバス（下校２便目）



⑫中能登中学校のスクールバス（下校１便目　中能登中学校－花見月）

中能登中学校のスクールバス下校１便目については、中能登中学校バス停で８人が乗車し、大槻バス停で３人、瀬戸バス停で３人、上後山バス停で２人が降車している。花見月バス停の利用はない。

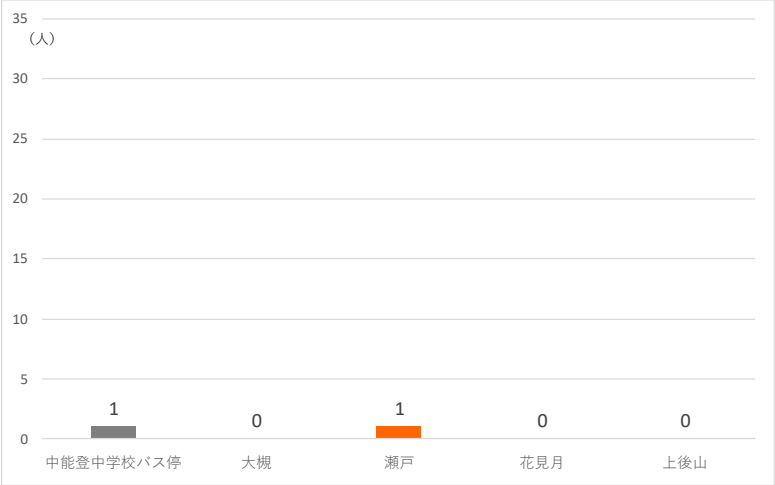
図表 111　中能登中学校のスクールバス（下校１便目）



⑬中能登中学校のスクールバス（下校２便目　中能登中学校－花見月）

中能登中学校のスクールバス下校２便目については、中能登中学校バス停で１人が乗車し、瀬戸バス停で降車している。大槻、花見月、上後山バス停の利用はない。

図表 112　中能登中学校のスクールバス（下校２便目）

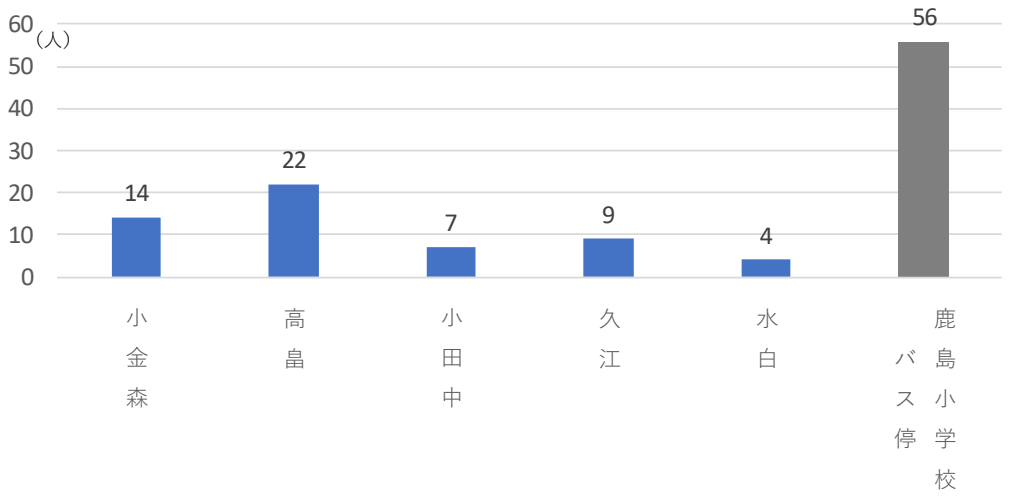


（１６）鹿島小学校と中能登中学校の路線バスの乗車人数

①鹿島小学校の路線バス（登校　小学 1～4 年生：小金森―鹿島小学校）

鹿島小学校の路線バス（登校　小学 1～4 年生：小金森―鹿島小学校）について着目すると、高畠が 22 人、小金森が 14 人の順に多く乗車し、鹿島小学校へ登校している。

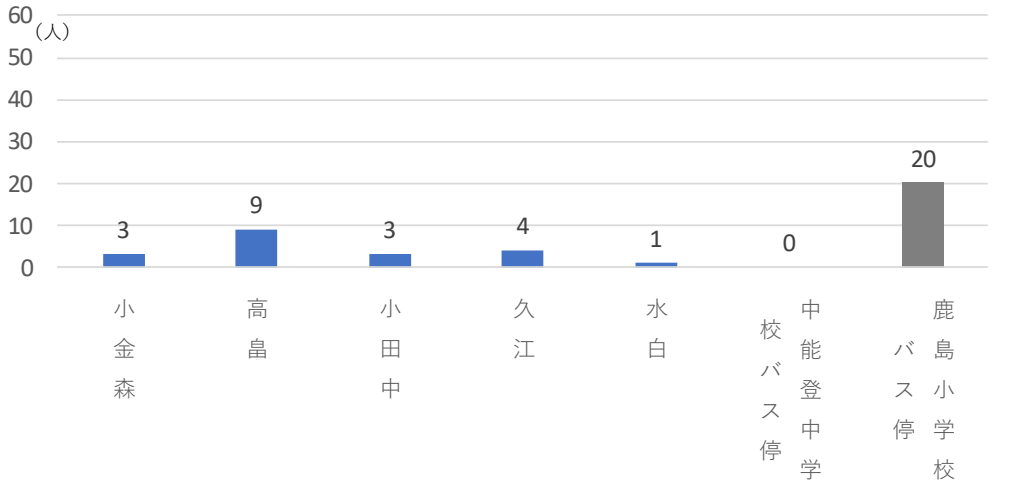
図表 113　鹿島小学校の路線バスについて（登校　小学 1～4 年生：小金森―鹿島小学校）



②鹿島小学校の路線バス（登校　小学 5～6 年生：小金森―鹿島小学校）

鹿島小学校の路線バス（登校　小学 5～6 年生：小金森―鹿島小学校）について着目すると、高畠が 9 人、久江が 4 人の順に多く乗車し、鹿島小学校へ登校している。

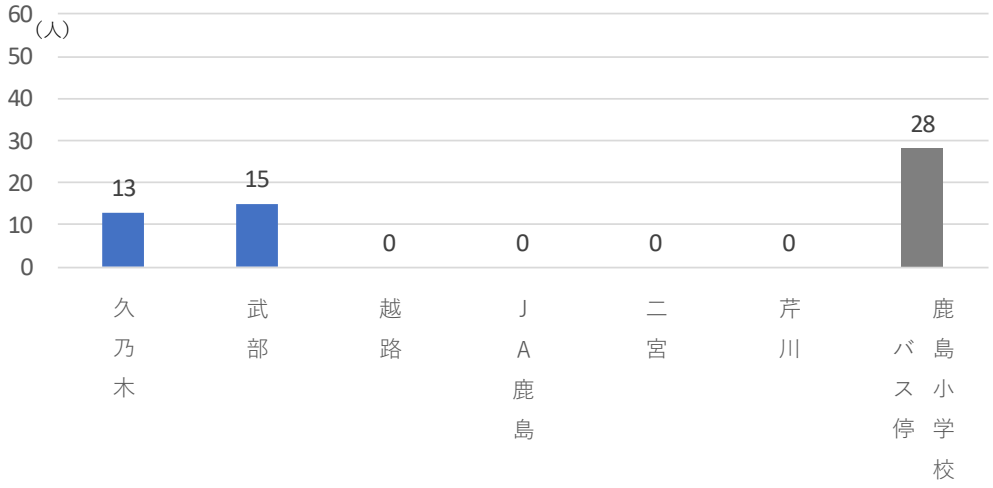
図表 114　鹿島小学校の路線バスについて（登校　小学 5～6 年生：小金森―鹿島小学校）



③鹿島小学校の路線バス（登校　久乃木―鹿島小学校）

鹿島小学校の路線バス（登校　久乃木―鹿島小学校）について着目すると、武部が 15 人、久乃木が 13 人乗車し、鹿島小学校へ登校している。

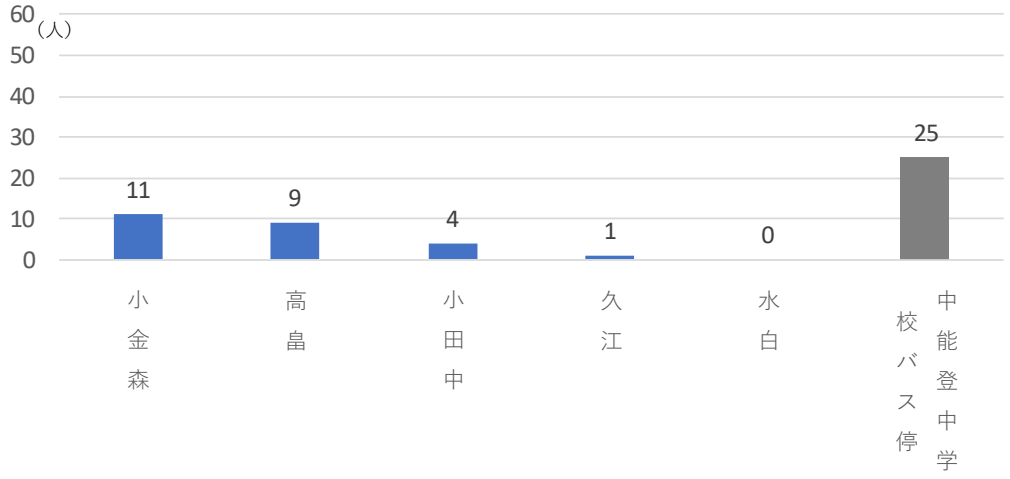
図表 115　鹿島小学校の路線バスについて（登校　久乃木―鹿島小学校）



④中能登中学校の路線バス（登校　小金森―中能登中学校）

中能登中学校の路線バス（登校　小金森―中能登中学校）について着目すると、小金森が 11 人、高畠が 9 人の順に乗車し、中能登中学校へ登校している。

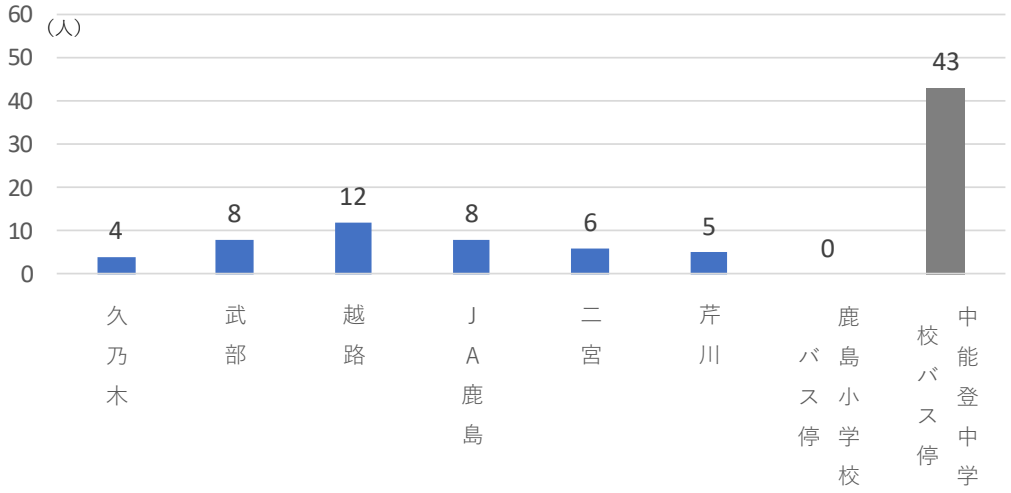
図表 116　鹿島小学校と中能登中学校の路線バスについて（登校　小金森―中能登中学校）



⑤中能登中学校の路線バス（登校　久乃木―中能登中学校）

中能登中学校の路線バス（登校　久乃木―中能登中学校）について着目すると、越路が 12 人、ＪＡ鹿島が 8 人の順に乗車し、中能登中学校へ登校している。

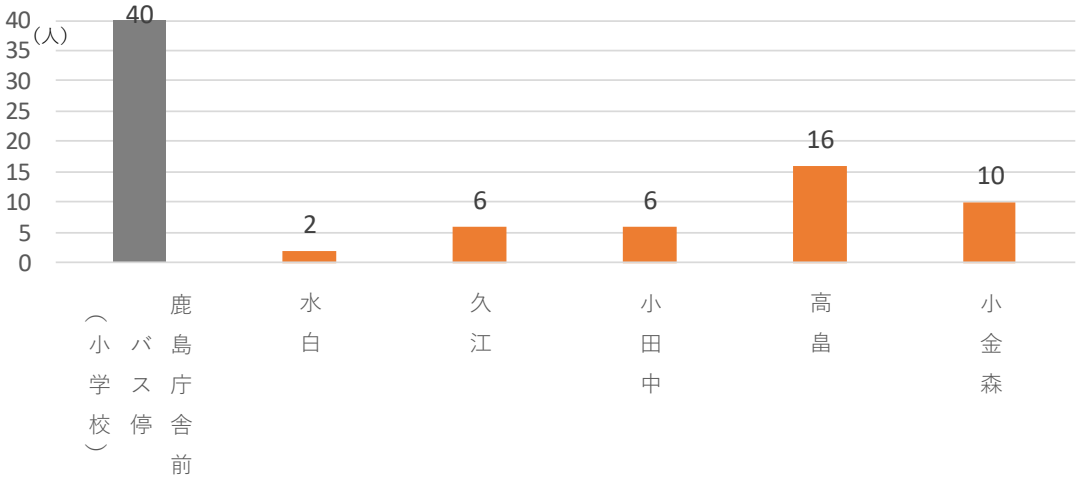
図表 117　鹿島小学校と中能登中学校の路線バスについて（登校　乃木―中能登中学校）



⑥鹿島小学校の路線バス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―小金森）

鹿島小学校の路線バス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―小金森）について着目すると、高畠が 16 人、小金森が 10 人の順に降車し、下校している。

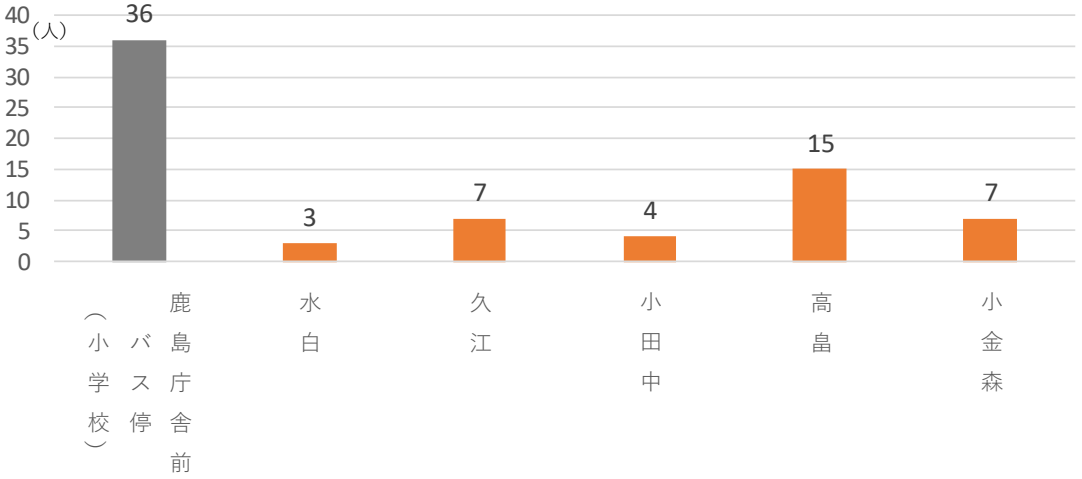
図表 118　鹿島小学校の路線バスについて（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―小金森）



⑦鹿島小学校の路線バス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―小金森）

鹿島小学校の路線バス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―小金森）について着目すると、高畠が 15 人、小金森と久江が 5 人の順に降車し、下校している。

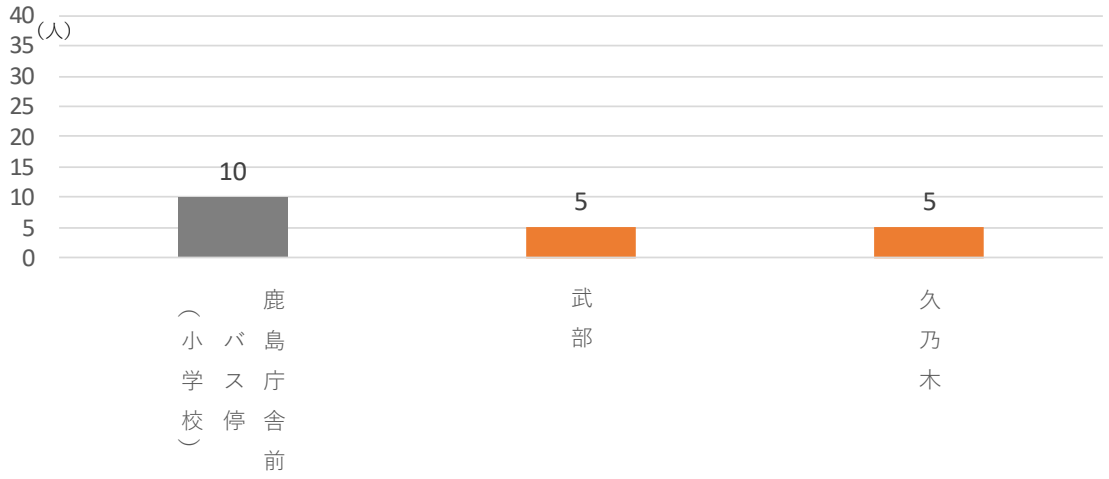
図表 119　鹿島小学校の路線バスについて（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―小金森）



⑧鹿島小学校の路線バス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―久乃木）

鹿島小学校の路線バス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―久乃木）について着目すると、武部が 5 人、久乃木が 5 人降車し、下校している。

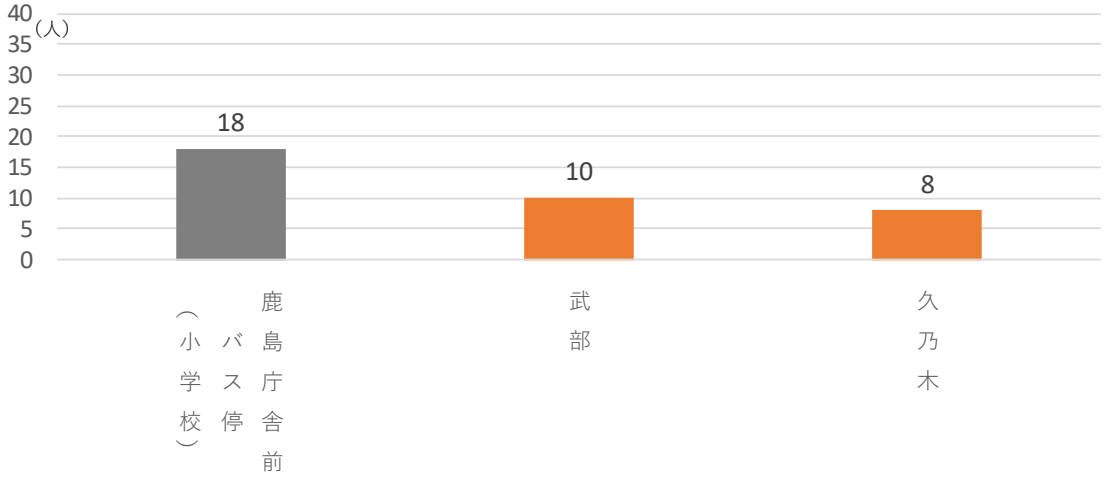
図表 120　鹿島小学校の路線バスについて（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―久乃木）



⑨鹿島小学校の路線バス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―久乃木）

鹿島小学校の路線バス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―久乃木）について着目すると、武部が 10 人、久乃木が 8 人降車し、下校している。

図表 121　鹿島小学校の路線バスについて（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―久乃木）

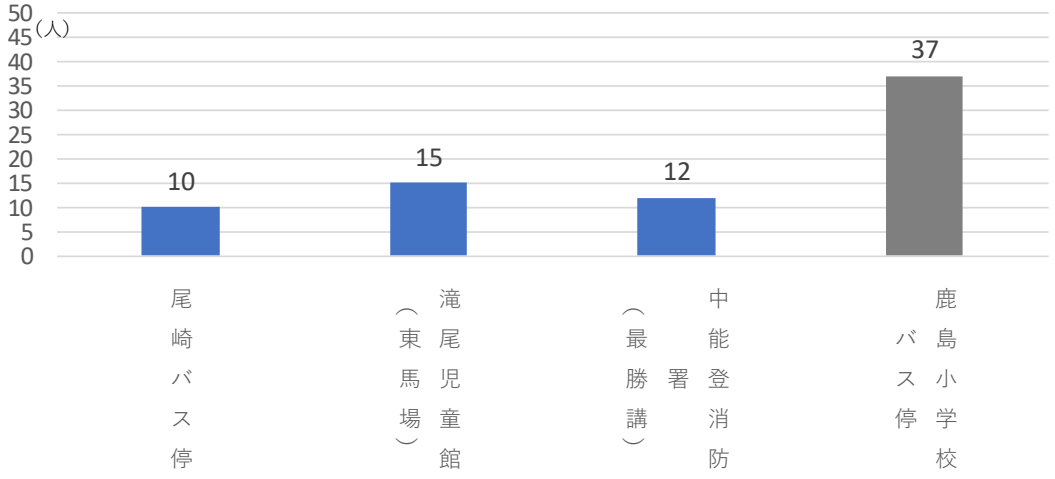


（１７）鹿島小学校と中能登中学校のスクールバスの利用者数

①鹿島小学校のスクールバス（登校　尾崎―鹿島小学校）

鹿島小学校のスクールバス（登校　尾崎―鹿島小学校）について着目すると、滝尾児童館が 15 人、中能登消防署が 12 人の順に乗車し、鹿島小学校へ登校している。

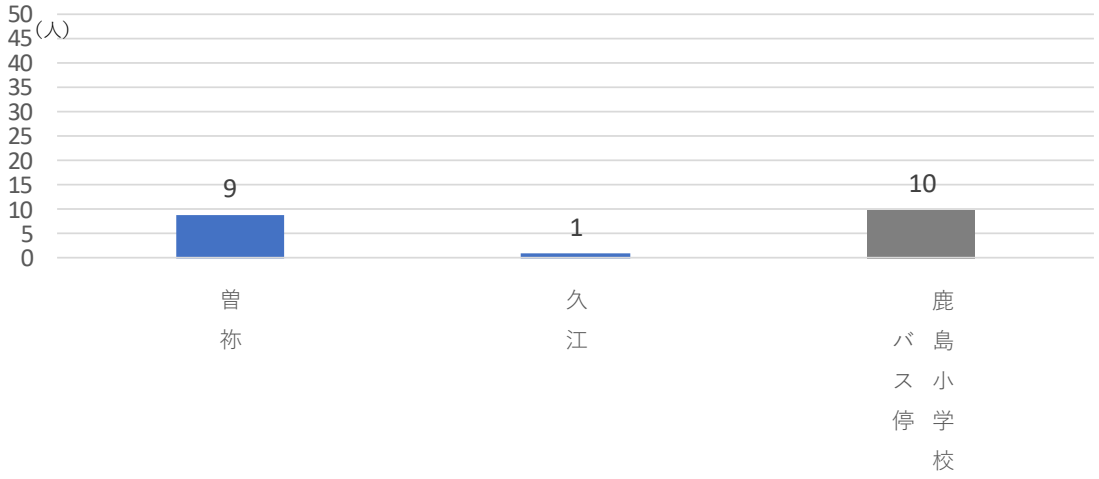
図表 122　鹿島小学校のスクールバスについて（登校　尾崎―鹿島小学校）



②鹿島小学校のスクールバス（登校　曽祢―鹿島小学校）

鹿島小学校のスクールバス（登校　曽祢―鹿島小学校）について着目すると、曽祢が 9 人、久江が 1 人乗車し、鹿島小学校へ登校している。

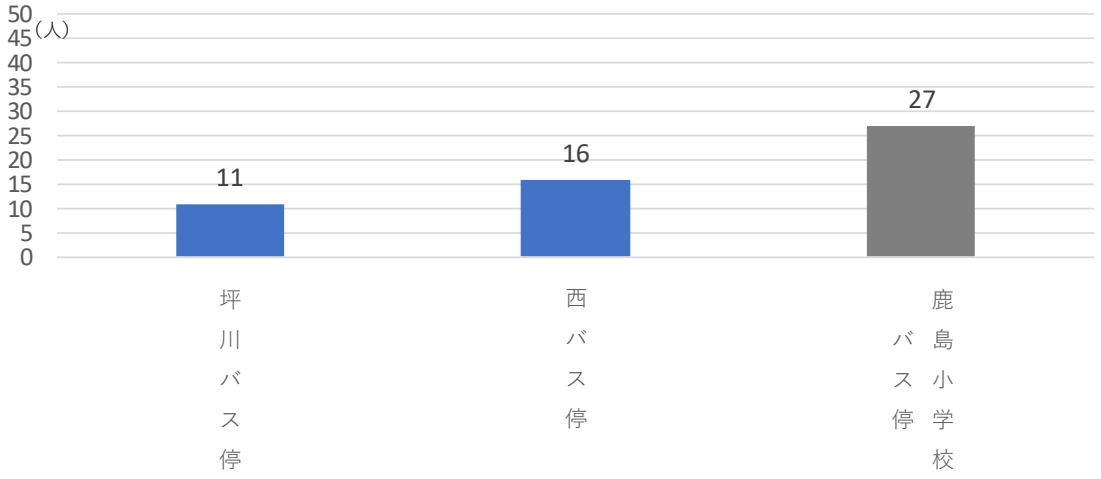
図表 123　鹿島小学校のスクールバスについて（登校　曽祢―鹿島小学校）



③鹿島小学校のスクールバス（登校　小学生：坪川―鹿島小学校）

鹿島小学校のスクールバス（登校　小学生：坪川―鹿島小学校）について着目すると、西が 16 人、坪川が 11 人乗車し、鹿島小学校へ登校している。

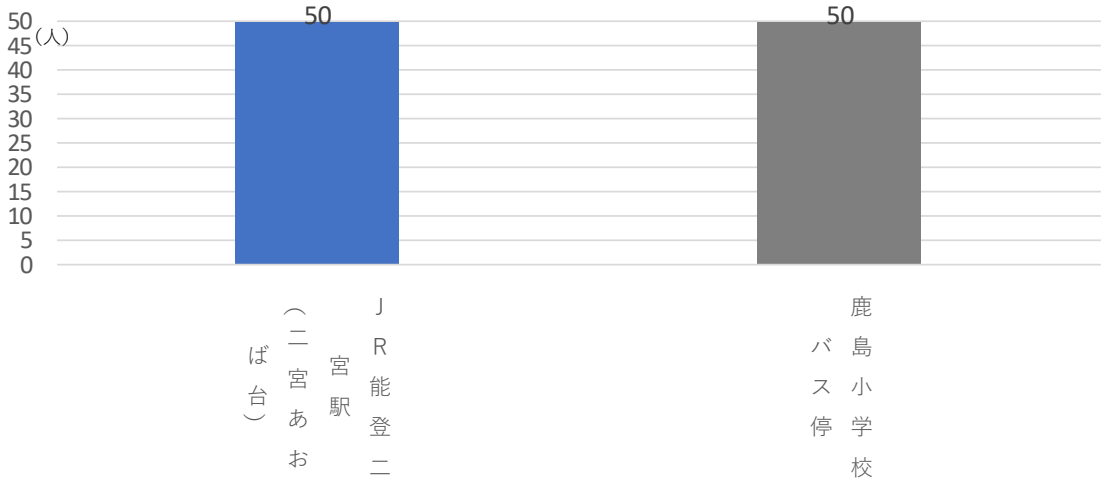
図表 124　鹿島小学校のスクールバスについて（登校　小学生：坪川―鹿島小学校）



④鹿島小学校のスクールバス（登校　ＪＲ能登二宮駅―鹿島小学校）

鹿島小学校のスクールバス（下校　ＪＲ能登二宮駅―鹿島小学校）について着目すると、ＪＲ能登二宮駅に 50 人乗車し、鹿島小学校へ登校している。

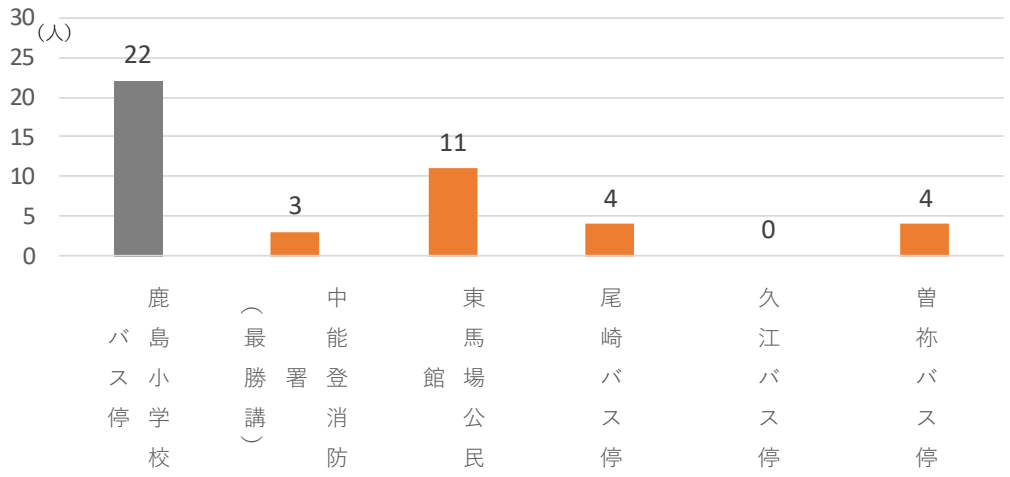
図表 125　鹿島小学校のスクールバスについて（登校　ＪＲ能登二宮駅―鹿島小学校）



⑤鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―曽祢）

鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―曽祢）について着目すると、東馬場公民館が 11 人、尾崎と曽祢が 4 人の順に降車し、下校している。

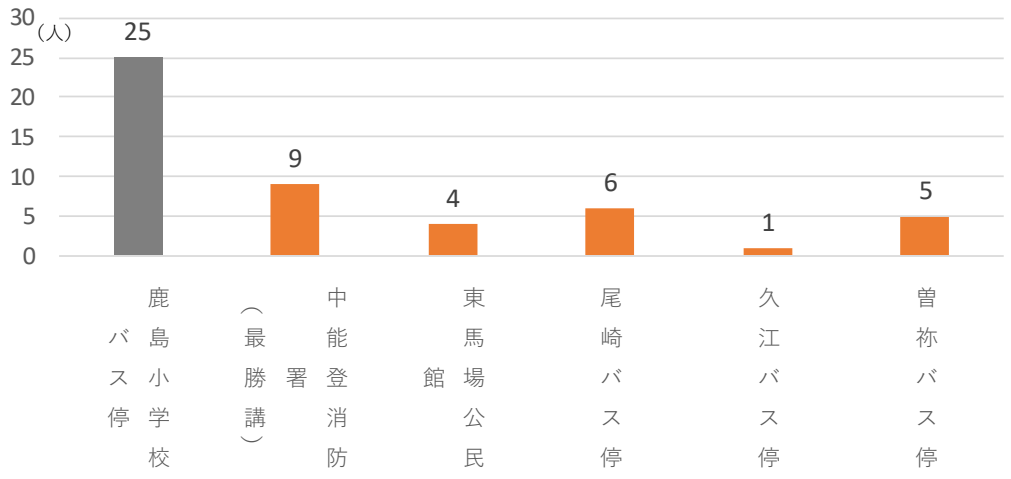
図表 126　鹿島小学校のスクールバスについて（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―曽祢）



⑥鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―曽祢）

鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―曽祢）について着目すると、中能登消防署が 9 人、尾崎が 6 人の順に降車し、下校している。

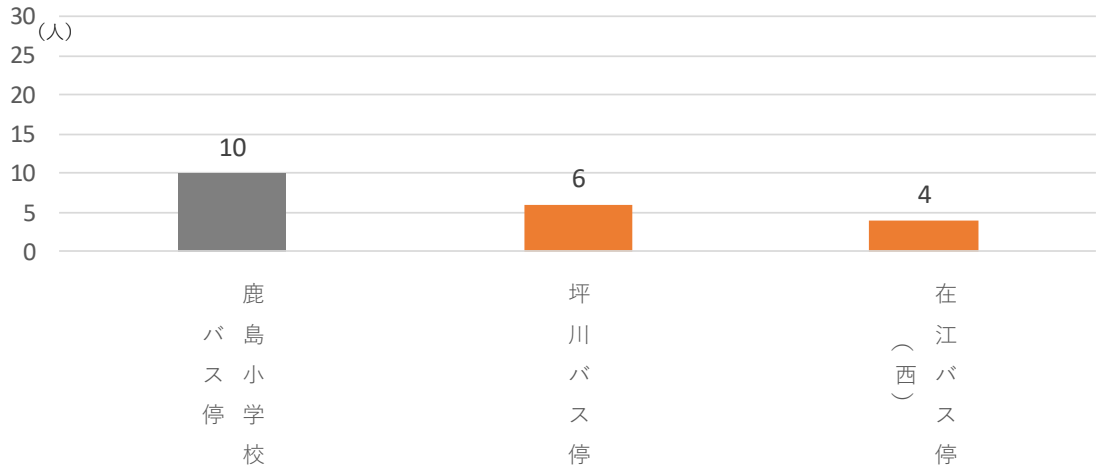
図表 127　鹿島小学校のスクールバスについて（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―曽祢）



⑦鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―在江）

鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―在江）について着目すると、坪川が 6 人、在江が 4 人降車し、下校している。

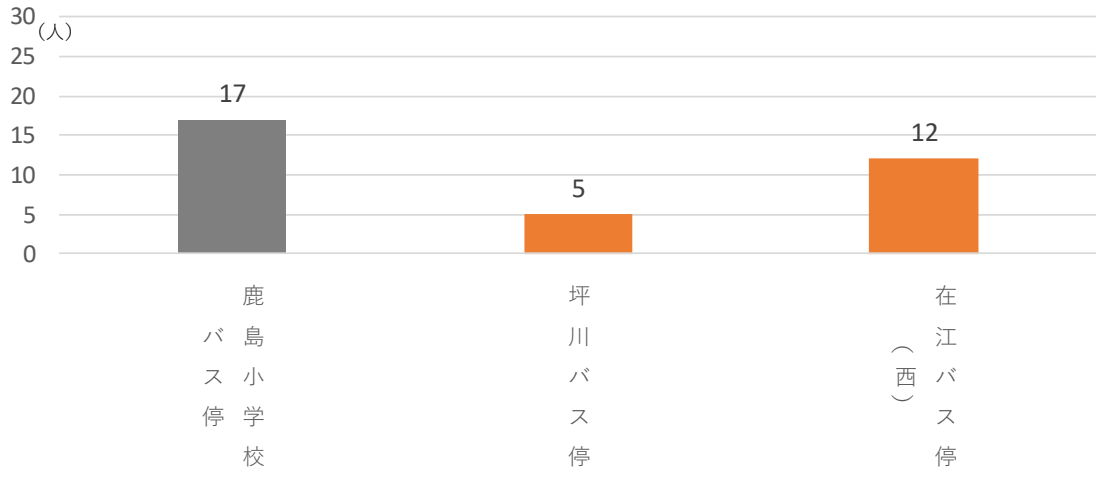
図表 128　鹿島小学校のスクールバスについて（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―在江）



⑧鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―在江）

鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―在江）について着目すると、在江が 12 人、坪川が 5 人降車し、下校している。

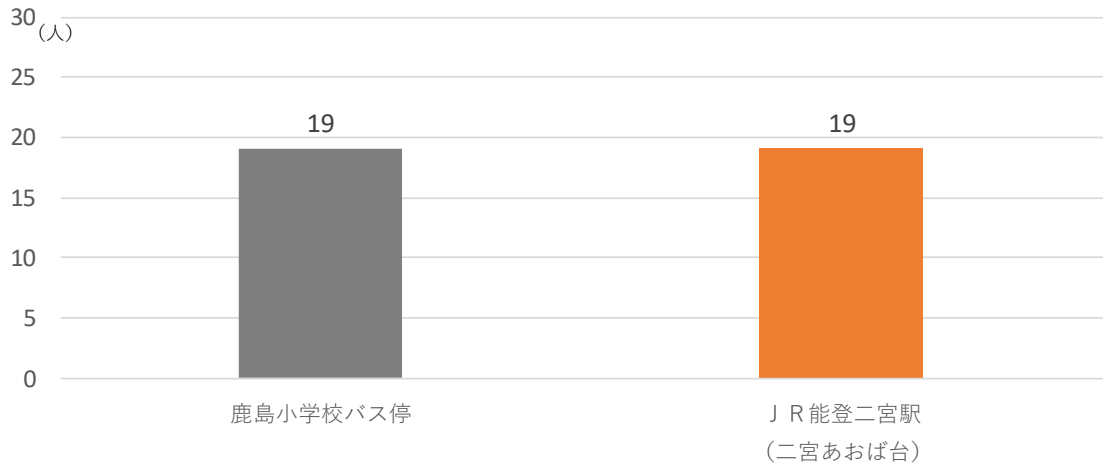
図表 129　鹿島小学校のスクールバスについて（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―在江）



⑨鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校-ＪＲ能登二宮駅）

鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―ＪＲ能登二宮駅）について着目すると、ＪＲ能登二宮駅が 19 人降車し、下校している。

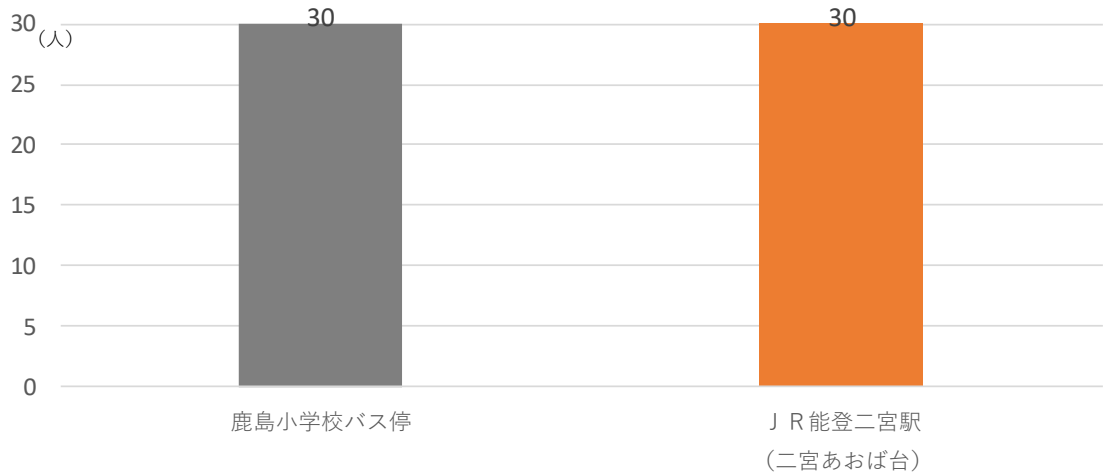
図表 130　鹿島小学校のスクールバスについて（下校　小学 1～3 年生：鹿島小学校―ＪＲ能登二宮駅）



⑩鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校-ＪＲ能登二宮駅）

鹿島小学校のスクールバス（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―ＪＲ能登二宮駅）について着目すると、ＪＲ能登二宮駅が 30 人降車し、下校している。

図表 131　鹿島小学校のスクールバスについて（下校　小学 4～6 年生：鹿島小学校―ＪＲ能登二宮駅）



３－３．ＧＩＳによる現況分析

（１）バス停別 300m 勢圏人口

図表 132　バス停別 300m 勢圏人口

・コミュニティバスのバス停から 300mの範囲内に町民の 8 割以上が含まれている。
（デマンドタクシーの運行地域のカバー率は 100%とした）

・JR 能登二宮駅南部にコミュニティバスのバス停が設置されていないため、旧鹿島地区はバス停の 300m圏内に含まれない世帯が他の地区に比べて多い。

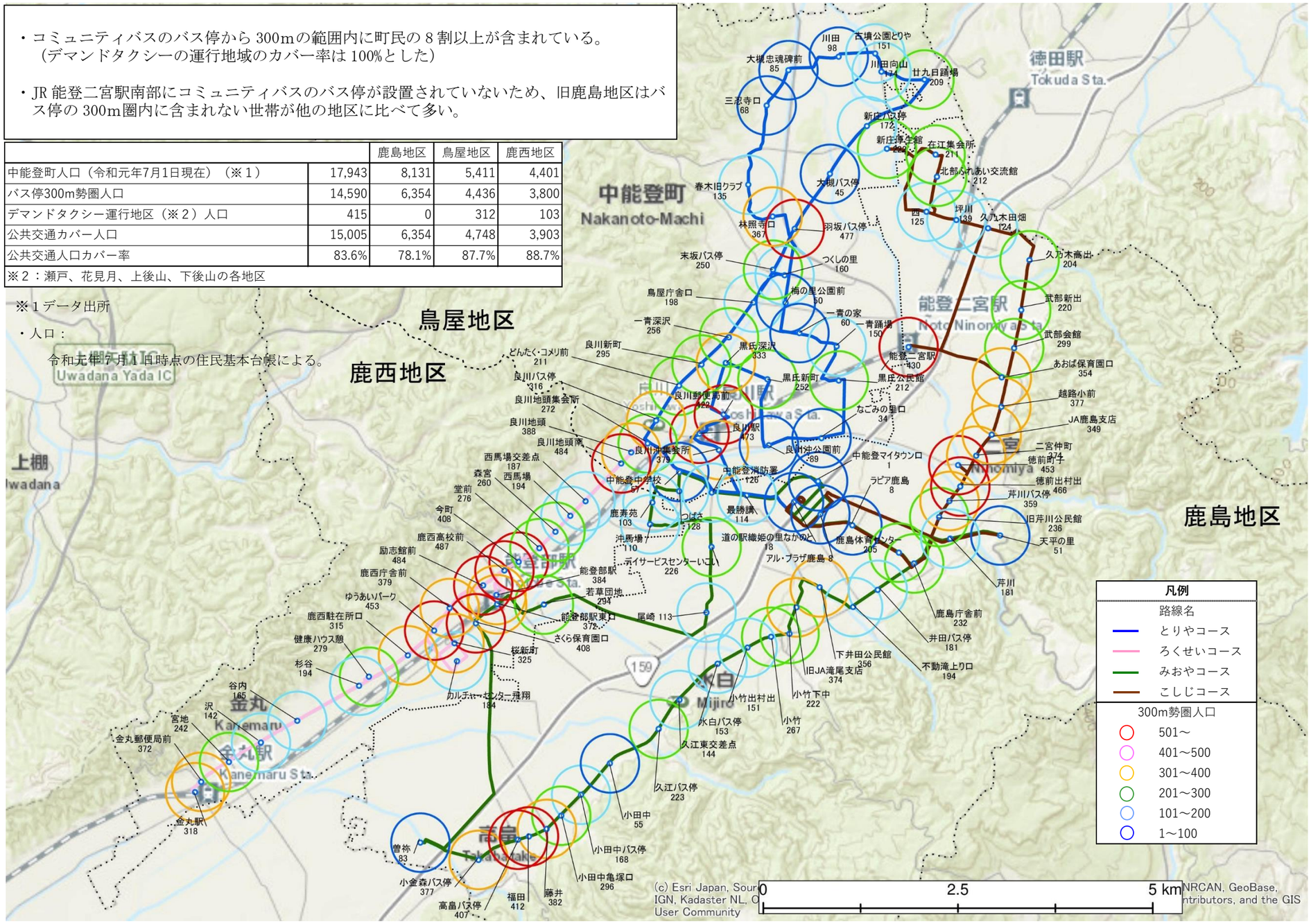
		鹿島地区	鳥屋地区	鹿西地区
中能登町人口（令和元年7月1日現在）（※１）	17,943	8,131	5,411	4,401
バス停300m勢圏人口	14,590	6,354	4,436	3,800
デマンドタクシー運行地区（※２）人口	415	0	312	103
公共交通カバー人口	15,005	6,354	4,748	3,903
公共交通人口カバー率	83.6%	78.1%	87.7%	88.7%

※２：瀬戸、花見月、上後山、下後山の各地区

※１データ出所

・人口：

令和元年７月１日時点の住民基本台帳による。



（２）バス停別の利用者数（平日）

図表 133　バス停別の利用者数（平日）

・平日の１日当たりの平均利用者数※を見ると、道の駅やアル・プラザ鹿島のような商業施設、天平の里のような温浴施設、つくしの里や健康ハウス憩のような福祉施設の利用が多い。

・特定の施設等以外のバス停については、町内全域で１日当たりの平均利用者数が１名以下のバス停が多い。

（３）バス停別の利用率（平日）

図表 134　バス停別の利用率（平日）

・平日の人口当たりの平均利用者率※を見ると、道の駅やアル・プラザ鹿島のような商業施設、天平の里のような温浴施設、つくしの里や健康ハウス憩のような福祉施設の利用が多い。それ以外の移設では、中能登中学校、曽祢の利用率が高い。また、鳥屋地区の北部や鹿島地区の北部でも利用者率が高い地区が多い。

（４）バス停別の利用者数（休日）

図表 135　バス停別の利用者数（休日）

・休日の１日当たりの平均利用者数※を見ると、道の駅やアル・プラザ鹿島のような商業施設、天平の里のような温浴施設の平日同様利用者数は多い。しかし、つくしの里や健康ハウス憩のような福祉施設は平日に比べて利用者数が減少している。

・特定の施設等以外のバス停については、町内全域で利用者数が少ないバス停が多い。

・平日に比べて、１日当たりの平均利用者数が１人以下であるバス停が多い。

※データ出所

・休日の１日当たりの平均利用者数：

平成 30 年度のバス停別利用者数を、休日の日数で除して算出。なお、利用者数は乗車人数と降車人数の合計を 2 で除した値。